

ユーザーツール

「ユーザーツール」利用マニュアル

2021/02/04 更新

目次

概略説明.....	5
ユーザーツールをご利用いただくにあたって.....	5
概要.....	5
ログイン方法.....	6
ログアウト方法.....	7
基本画面構成.....	8
契約情報画面.....	9
契約情報の画面構成.....	9
メールサービス.....	11
メールサービス画面構成.....	11
メールアカウント(mailbox)の作成.....	12
メールアカウント(mailbox)の停止.....	13
メールアカウント(mailbox)の有効化.....	14
メールアカウント(mailbox)の削除.....	15
mailbox アカウントの詳細/設定.....	16
アドレス変更.....	17
パスワード変更.....	19
メールボックス容量変更.....	21
メールフィルター.....	22
ウェブサービス.....	39
ウェブサービス画面構成.....	39
サブドメインを追加.....	41
サブドメインを削除.....	43
ドメインリスト（ドメイン並べ替え、表示切替）.....	44
ホスティング設定.....	45
ホスティングタイプを変更.....	47
ウェブサイトのステータス.....	50
サイトの説明.....	51
サイトの説明を編集.....	52
サイトの説明を削除.....	52
ウェブホスティングアクセス.....	53
FTP アクセス.....	55
FTP アカウント作成.....	56
追加 FTP アカウントのプロパティ変更.....	58
追加 FTP アカウントの削除.....	59
PHP 設定.....	60
Apache と nginx の設定.....	62
アプリケーション.....	65

対応アプリケーションの種類.....	66
アプリケーションのインストール.....	67
アプリケーションの削除.....	69
ファイルマネージャ.....	70
ファイルのアップロード.....	72
ファイルの作成.....	73
ディレクトリの作成.....	74
ファイルのコピー.....	75
ファイルの移動.....	76
ファイルの削除.....	77
ファイルを展開.....	78
アーカイブに追加.....	79
ファイルとディレクトリのサイズ計算.....	80
ファイルのタイムスタンプを変更.....	81
ファイルマネージャの設定.....	82
ウェブ統計.....	83
ウェブ統計の設定.....	83
ウェブ統計の確認.....	84
ウェブ統計 SSL/TLS	85
Whois 情報	86
SSL/TLS 証明書	87
SSL 証明書の追加	89
Let's Encrypt	96
Let's Encrypt のインストール.....	96
ウェブアプリケーションファイアウォール.....	100
特定のセキュリティルールをオフにする.....	102
パスワード保護ディレクトリ.....	104
保護ディレクトリの作成.....	105
保護ディレクトリの設定変更.....	107
保護ディレクトリのユーザアカウント作成.....	109
ウェブサイトコピー.....	111
ログ.....	114
ログを確認.....	114
バックアップマネージャ.....	117
バックアップを作成.....	119
バックアップファイルのアップロード.....	121
バックアップを復元.....	122
バックアップファイルの削除.....	126
バックアップのスケジュール.....	127
FTP ストレージ設定	129

データベース.....	131
データベースの画面構成.....	132
データベースの作成.....	133
データベースの削除.....	134
データベースにアクセスする.....	135
データベースをコピーする.....	136
データベースユーザーのアカウント管理.....	137
データベースユーザーのアカウント追加.....	139
スケジュール済みタスク.....	140
タスクを追加.....	141
タスクをキャンセル.....	143
スケジュール済みタスクの設定.....	143
WordPress.....	144
WordPress のインストール.....	146
WordPress の削除.....	150
リソース利用状況.....	152
統計情報の詳細を表示.....	153
付録1：MIME タイプのデフォルト設定.....	155

概略説明

本マニュアルは「ユーザーツール」の操作説明書となっております。

「ユーザーツール」ではメールやウェブ、メーリングリストの情報確認と設定変更が可能となっております。

ユーザーツールをご利用いただくにあたって

以下につきまして、予めご了承くださいますようお願い致します。

- ・ご利用されるブラウザによっては、画面の表示内容が異なる場合や正しく手続きが進められない場合がございます。
- ・ユーザーツール内に表示されているサービスであっても、一部ご提供していないサービスがございます。
- ・ユーザーツール内のコンテンツは随時追加、更新を行っていく予定でございますので、マニュアルと実際の画面表示が異なる場合がございます。

概要

サービス名	くくり
サブドメイン数	Web:10, Mail:なし
ディスク容量	200GB Web:100GB, Mail:100GB
メールボックス数	100 個

セッションタイム

「ユーザーツール」のセッション保持時間は『**30分**』となっております。

何も操作しない状態で30分以上経過すると、再びログイン画面が表示されます。

ログイン方法

(1) 下記の URL より、くくりマイページにログインします。

<https://ssl.hosting-link.ne.jp/kukulimember/login.asp>

(2) 「サーバー機能」内の『ユーザーツール』をクリックすることで、ユーザーツールにログインいただけます。

- ◆くくりマイページから経由しない場合や、セッションが切れている場合はログイン画面が開きますので、発行済みのユーザーツール専用の「ログイン ID」と「パスワード」を入力し、[ログインする]ボタンをクリックします。

くくりユーザーツール・ログイン画面

「ログインID」と「パスワード」を入力し、「ログインする」ボタンをクリックしてください。

ログインID: sample-domain.jp

パスワード:

ログインする

- ◆ログインに失敗した場合は下記のエラー画面が表示されます。
正しいユーザーツール専用の「ログイン ID」と「パスワード」を入力し、[ログインする]ボタンをクリックします。

くくりユーザーツール・ログイン画面

「ログインID」と「パスワード」を入力し、「ログインする」ボタンをクリックしてください。

ログインID: sample-domain.jp

パスワード:

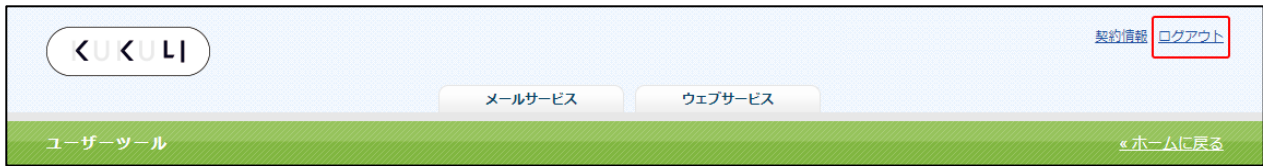
正しいユーザー名またはパスワードを入力してください。

ログインする

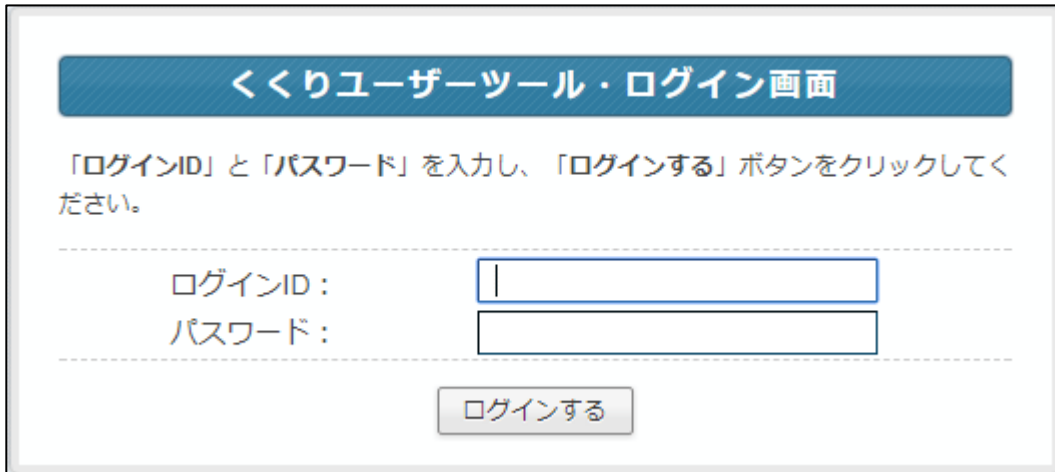
- ※ユーザーツール専用の「ログイン ID」は大文字と小文字を区別しませんが、「パスワード」は大文字と小文字を区別しますので、ご注意ください。
- ※ID、パスワードがご不明な場合はくくりマイページよりご確認ください。

ログアウト方法

(1) ユーザーツールからログアウトするには、画面右上の「ログアウト」をクリックします。



(2) ログアウトが完了すると、ログイン画面が表示されます。

A screenshot of the login screen. At the top, there is a blue header with the text 'くくりユーザーツール・ログイン画面' (Kukuri User Tool Login Screen). Below the header, there is a message: 「ログインID」と「パスワード」を入力し、「ログインする」ボタンをクリックしてください。 (Please enter your login ID and password, and click the 'Login' button.) Below this message, there are two input fields: 'ログインID:' (Login ID) and 'パスワード:' (Password). Below the input fields, there is a button labeled 'ログインする' (Login).

基本画面構成

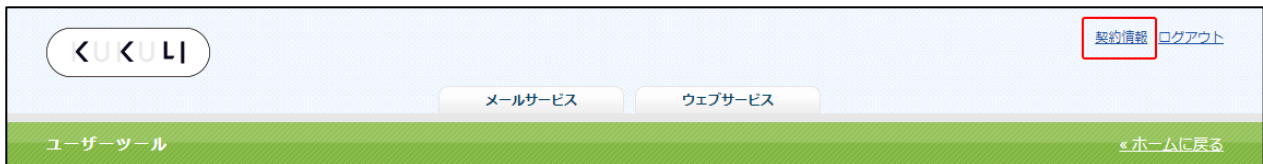
ユーザーツール画面は、以下の5つの部分から構成されています。



(1)	ロゴ表示エリア	サービス名が表示されます。 各サービスの設定画面でブランドロゴをクリックする事でホーム画面が表示されます。
(2)	契約情報	リソースとドメインの情報、契約者の基本情報、FTPの初期アカウントが表示されます。
	ログアウト	クリックするとユーザーツールからログアウトを行います。
(3)	各種サービスタブ	各サービスのアカウント管理画面の切替を行うタブです。 上図例では「メールサービス」「ウェブサービス」のタブが表示されています。
(4)	階層表示エリア	現在開いている画面の階層が表示されます。 【例】：メールアカウントの設定画面を開いている場合 「 ユーザーツール » メールサービス » アカウント詳細/設定 」 アンダーラインが付いている階層はリンクが張られていますので、1階層上にも簡単に移動することができます。
	ホームに戻る	ホームに戻るボタンです。 クリックする事で、「ホーム画面」が表示されます。
(5)	選択している各種サービスタブに応じた画面が表示されます。 ※上記は、タブを選択していない場合（トップ画面）の表示となります。	

契約情報画面

画面右上の「契約情報」のリンクから、利用中のリソースとドメイン情報、サービス名、ログイン ID を確認いただけます。



契約情報の画面構成

契約情報画面では、利用中のリソースとドメイン情報、サービス名、ログイン ID が表示されます。

リソースとドメイン情報

リソース	利用数	契約数	
ドメイン数	1	1	
ウェブサービスHDD容量	736KB	100GB	
メールサービスHDD容量	0B	100GB	
メールサービス	メールボックス	1	100
	エイリアス	0	0
	メーリングリスト	0	0

ドメイン名	登録日	操作
sample-domain.jp ⓘ	2017-10-01 17:02:25	主契約

契約者基本情報

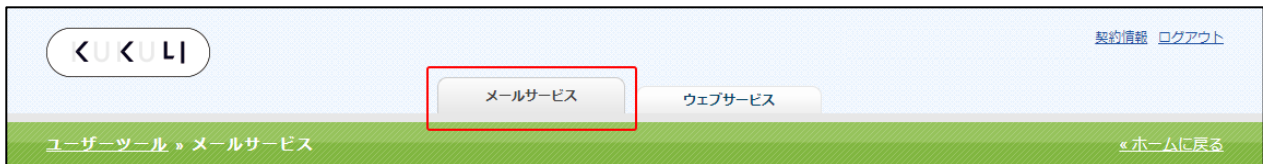
ご利用サービス名	<<リ
UserToolログインID	sample-domain.jp

(1)	リソース	契約上の最大サイズと現在の利用実績が表示されます。
	ドメイン数	契約上の最大数と現在の利用実績が表示されます。 サブドメインの数はここには集計されませんので、「ウェブサービス」タブ内でご確認下さい。
	ウェブサービス HDD 容量	契約上の最大容量と現在の利用実績が表示されます。 利用実績はリアルタイムではなく、日時集計されます。 契約容量を超過しますと、ウェブコンテンツのアップロードができなくなります。
	メールサービス HDD 容量	契約上の最大容量と現在の利用実績が表示されます。 契約容量を超過すると、登録されている全てのアカウント宛の新着メールが受け取れなくなりますので、ご注意下さい。 契約容量に余裕があっても、メールボックス単位の容量制限(初期値 1GB)に達した場合は、該当アカウント宛の新着メールが受け取れなくなりますのでご注意ください。
(2)	ご利用サービス名	ご利用のサービス名が表示されます。
	UserTool ログイン ID	ユーザーツールにログイン中のログイン ID が表示されます。

メールサービス

「メールサービス」タブをクリックする事で、メールサービスの設定画面が表示されます。

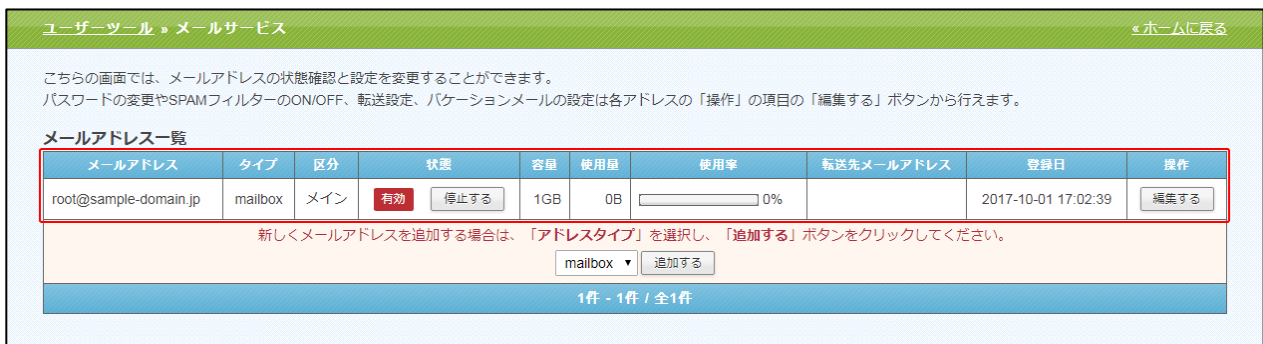
※くくりでは「alias」アカウントは提供していません。



メールサービス画面構成

メールサービス画面では、登録されているメールアドレスの一覧が表示されます。

※下図は、初期設定の mailbox(root アカウント)が 1 つだけ設定されている状態のものになります。



メールアドレス	現在登録されているメールアドレス(メールアカウント)が表示されます。複数登録済みの場合は、複数行表示されます。
タイプ	メールアドレスのタイプが表示されます。 「mailbox」、「alias」の2種類があります。 ※くくりでは「alias」アカウントは提供していません。
区分	「メイン」と「追加」の2種類があります。 メイン：最初に割り当てられたメールアカウント(root アカウント) 追加：追加設定したメールアカウント ※メインのアドレスは削除する事が出来ません。
状態	「有効」と「停止中」の2種類があります。 「停止中」に変更する事によって、一時的にメールアカウントを凍結する事ができます。(この時メールボックスデータや Webmail のアドレス帳は保持されます)
容量	メールボックスの割り当て容量が表示されます。 初期設定は 1GB ですが、詳細設定画面から変更する事が出来ます。
使用量	現在のメールボックスの使用量が表示されます。
使用率	現在のメールボックスの使用率が%で表示されます。
転送先メールアドレス	alias アカウントの転送先アドレスが表示されます。 ※くくりでは「alias」アカウントは提供していません。
登録日	アカウントの登録日時が表示されます。
操作	[編集する] ボタンを押すと、メールアカウントの設定の確認や変更画面が表示されます。

メールアカウント(mailbox)の作成

(1) メールアドレスの一覧画面下部にある、[追加する]ボタンをクリックします。

ユーザーツール > メールサービス ◀ ホームに戻る

こちらの画面では、メールアドレスの状態確認と設定を変更することができます。
パスワードの変更やSPAMフィルターのON/OFF、転送設定、バケーションメールの設定は各アドレスの「操作」の項目の「編集する」ボタンから行えます。

メールアドレス一覧

メールアドレス	タイプ	区分	状態	容量	使用量	使用率	転送先メールアドレス	登録日	操作
root@sample-domain.jp	mailbox	メイン	有効 <input type="button" value="停止する"/>	1GB	0B	<input type="text" value="0%"/>		2017-10-01 17:02:39	<input type="button" value="編集する"/>

新しくメールアドレスを追加する場合は、「アドレスタイプ」を選択し、「追加する」ボタンをクリックしてください。

mailbox ▼

1件 - 1件 / 全1件

(2) 必要事項を入力し、[登録する]ボタンをクリックします。

※初期パスワードは手動入力する事もできますが、[自動発行する]ボタンを使い、ランダムな文字列を設定される事をお勧め致します。

ユーザーツール > メールサービス > メールアドレス追加登録 ◀ ホームに戻る

メールアドレス @ sample-domain.jp ▼
3~64文字の半角英数字、記号（ハイフン「-」、アンダーバー「_」、ドット「.」）で入力してください。
英字は小文字で入力してください。

初期パスワード
6~128文字の半角英数字、記号（「!」、「@」、「\$」、「%」、「&」、「*」、「/」、「:」、「;」、「<=」）で
入力してください。
英字の大文字と小文字は区別されます。

初期パスワード (確認)

状態

項目	入力内容
メールアドレス	任意のアドレスを入力します。 ※3~64文字の半角英数小文字、記号（ハイフン「-」、アンダーバー「_」、ドット「.」）で入力してください。
初期パスワード	パスワードを入力します。任意のパスワードを使いたい場合は自動発行ボタンをクリックして作成してください。
初期パスワード (確認)	確認のため、もう一度パスワードを入力してください。
状態	プルダウンで有効を選択します。

メールアカウント(mailbox)の停止

(1) 停止したいメールアドレスの[停止する]ボタンをクリックします。

※停止状態のメールアドレスにメールを送信すると、送信されてきたメールは「user unknown」として送信者に差し戻されるようになりますが、有効状態の時に受信した過去のメールデータはメールボックスに保持されます。

ユーザーツール » メールサービス ◀ ホームに戻る

こちらの画面では、メールアドレスの状態確認と設定を変更することができます。
パスワードの変更やSPAMフィルターのON/OFF、転送設定、バケーションメールの設定は各アドレスの「操作」の項目の「編集する」ボタンから行えます。

メールアドレス一覧

メールアドレス	タイプ	区分	状態	容量	使用量	使用率	転送先メールアドレス	登録日	操作
root@sample-domain.jp	mailbox	メイン	有効 <input type="button" value="停止する"/>	1GB	0B	<input type="text" value="0%"/>		2017-10-01 17:02:39	<input type="button" value="編集する"/>
sample@sample-domain.jp	mailbox	追加	有効 <input type="button" value="停止する"/>	1GB	0B	<input type="text" value="0%"/>		2017-11-28 17:14:59	<input type="button" value="編集する"/>

新しくメールアドレスを追加する場合は、「アドレスタイプ」を選択し、「追加する」ボタンをクリックしてください。

1件 - 2件 / 全2件

(2) [停止する]ボタンを押すと確認メッセージが表示されますので、停止を続行する場合は[OK]ボタンを、停止を取りやめる場合は[キャンセル]ボタンをクリックします。

✕

kukulitool.linkclub.jp の内容:

停止してもよろしいでしょうか?

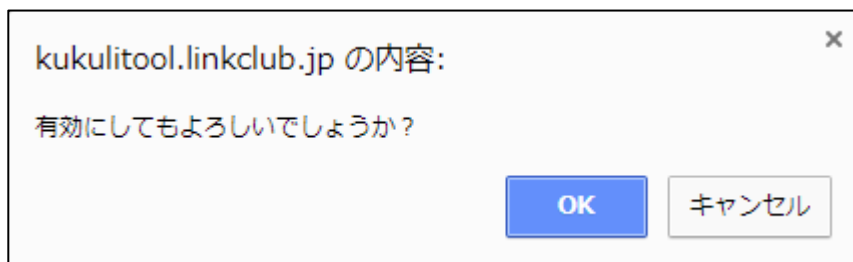
メールアカウント(mailbox)の有効化

(1) 停止していたメールアカウントを再度有効化したい場合は、メールアドレスの[有効にする]ボタンをクリックします。



メールアドレス	タイプ	区分	状態	容量	使用量	使用率	転送先メールアドレス	登録日	操作
root@sample-domain.jp	mailbox	メイン	有効	1GB	0B	0%		2017-10-01 17:02:39	編集する
sample@sample-domain.jp	mailbox	追加	停止	1GB	0B	0%		2017-11-28 17:14:59	削除する

(2) [有効にする]ボタンを押すと確認メッセージが表示されますので、有効化を続行する場合は[OK]ボタンを、有効化を取りやめる場合は[キャンセル]ボタンをクリックします。



kukulitool.linkclub.jp の内容:

有効にしてもよろしいでしょうか?

OK キャンセル

メールアカウント(mailbox)の削除

※メールアカウントを削除する場合は、一度停止状態にしてから削除する必要があります。

(1) 削除したいメールアカウントの[停止する]ボタンをクリックします。

ユーザーツール » メールサービス ◀ ホームに戻る

こちらの画面では、メールアドレスの状態確認と設定を変更することができます。
パスワードの変更やSPAMフィルターのON/OFF、転送設定、パケージメールの設定は各アドレスの「操作」の項目の「編集する」ボタンから行えます。

メールアドレス一覧

メールアドレス	タイプ	区分	状態	容量	使用量	使用率	転送先メールアドレス	登録日	操作
root@sample-domain.jp	mailbox	メイン	有効 <input type="button" value="停止する"/>	1GB	0B	<input type="text" value="0%"/>		2017-10-01 17:02:39	<input type="button" value="編集する"/>
sample@sample-domain.jp	mailbox	追加	有効 <input type="button" value="停止する"/>	1GB	0B	<input type="text" value="0%"/>		2017-11-28 17:14:59	<input type="button" value="編集する"/>

新しくメールアドレスを追加する場合は、「アドレスタイプ」を選択し、「追加する」ボタンをクリックしてください。

mailbox

1件 - 2件 / 全2件

(2) 確認メッセージが表示されますので、[OK]ボタンを押し、アカウントを停止します。

kukulitool.linkclub.jp の内容: ×

停止してもよろしいでしょうか?

(3) 続いて、停止状態となっているメールアカウントの[削除する]ボタンをクリックします。

ユーザーツール » メールサービス ◀ ホームに戻る

こちらの画面では、メールアドレスの状態確認と設定を変更することができます。
パスワードの変更やSPAMフィルターのON/OFF、転送設定、パケージメールの設定は各アドレスの「操作」の項目の「編集する」ボタンから行えます。

メールアドレス一覧

メールアドレス	タイプ	区分	状態	容量	使用量	使用率	転送先メールアドレス	登録日	操作
root@sample-domain.jp	mailbox	メイン	有効 <input type="button" value="停止する"/>	1GB	0B	<input type="text" value="0%"/>		2017-10-01 17:02:39	<input type="button" value="編集する"/>
sample@sample-domain.jp	mailbox	追加	停止 <input type="button" value="有効にする"/>	1GB	0B	<input type="text" value="0%"/>		2017-11-28 17:14:59	<input type="button" value="削除する"/>

新しくメールアドレスを追加する場合は、「アドレスタイプ」を選択し、「追加する」ボタンをクリックしてください。

mailbox

1件 - 2件 / 全2件

(4) 確認メッセージが表示されますので、削除を続行する場合は[OK]ボタンを、削除を取りやめる場合は[キャンセル]ボタンをクリックします。

kukulitool.linkclub.jp の内容: ×

削除してもよろしいでしょうか?

mailbox アカウントの詳細/設定

(1) 設定の確認や変更を行いたいメールアドレスの[編集する]ボタンをクリックします。

メールアドレス	タイプ	区分	状態	容量	使用量	使用率	転送先メールアドレス	登録日	操作
root@sample-domain.jp	mailbox	メイン	有効 <input type="button" value="停止する"/>	1GB	0B	<input type="text" value="0"/> 0%		2017-10-01 17:02:39	<input type="button" value="編集する"/>

(2) 「アカウント詳細/設定」画面は、以下の5つの部分から構成されています。

ユーザーツール » メールサービス » アカウント詳細/設定 ◀ ホームに戻る

(1)

メールアドレス	root@sample-domain.jp	アドレス変更	<input type="text" value=""/> @ sample-domain.jp <input type="button" value="変更する"/> <small>3~64文字の半角英数字、記号（ハイフン「-」、アンダーバー「_」、ドット「.」）で入力してください。英字は小文字で入力してください。</small>
タイプ	mailbox	パスワード	<input type="password" value=""/> <input type="button" value="初期化"/> <input type="button" value="変更"/> <small>6~128文字の半角英数字、記号（「!」、「@」、「#」、「\$」、「%」、「&」、「*」、「^」、「_」、「{」、「 」、「/」）で入力してください。英字の大文字と小文字は区別されます。</small>
区分	メイン	初期パスワード
メールボックス容量	<input type="text" value="1"/> GB <input type="button" value="変更する"/> <small>設定可能な最大容量は100GBです。メールボックス容量を実際の使用量以下に設定すると、新着メールが受信出来なくなりますのでご注意ください。</small>	フィルタータイプ	高機能フィルター
使用量/使用率	0B <input type="text" value="0"/> 0%		
メール数	0通		

(3)

迷惑メールフィルター ON OFF

(4)

ユーザーフィルター 現在は何も設定されていません。

(1)	現在の操作対象のメールアドレスが表示されます。 「アドレス変更」の項目で、メールアドレスの変更(リネーム)が行えます。
(2)	メールボックスの利用状況、メールボックス容量、フィルタータイプ、メールの使用量などが表示されます。 「パスワード」の項目で、パスワードの変更が行えます。 「メールボックス容量」の項目で、メールボックス容量を変更できます。 フィルタータイプには、「高機能フィルター」と表示されます。
(3)	迷惑メールフィルターの設定項目です。 ONにする事でフィルター強度、ブラックリスト、ホワイトリストの設定項目が表示されます。
(4)	ユーザーフィルターの設定項目です。 ユーザーフィルターでは受信メールの仕分けルールを任意の条件で設定する事が可能です。 [新規フィルターの追加]ボタンを押すと、設定画面が表示されます。

16/168

アドレス変更

アドレス変更機能で、メールアドレス(mailbox アカウント)をリネームする事ができます。

- (1)アカウント詳細/設定画面の、「アドレス変更」の入力欄に新しいメールアドレスを入力し、**[変更する]**ボタンをクリックします。

ユーザーツール » メールサービス » アカウント詳細/設定 ◀ ホームに戻る

メールアドレス	root@sample-domain.jp	アドレス変更	<input type="text" value="new"/> @ sample-domain.jp <input type="button" value="変更する"/> <small>3～64文字の半角英数字、記号（ハイフン「-」、アンダーバー「_」、ドット「.」）で入力してください。英字は小文字で入力してください。</small>
タイプ	mailbox	パスワード	<input type="password" value="....."/> <input type="button" value="初期化"/> <input type="button" value="変更"/> <small>6～128文字の半角英数字、記号（「!」、「-」、「_」、「@」、「\$」、「;」、「:」、「^」、「{」、「}」、「/」）で入力してください。英字の大文字と小文字は区別されます。</small>
区分	メイン	初期パスワード
メールボックス容量	<input type="text" value="1"/> GB <input type="button" value="変更する"/> <small>設定可能な最大容量は100GBです。メールボックス容量を実際の使用量以下に設定すると、新着メールが受信出来なくなりますのでご注意ください。</small>	フィルタータイプ	高機能フィルター
使用量/使用率	0B <input type="text" value="0%"/>		
メール数	0通		

迷惑メールフィルター ON OFF

ユーザーフィルター 現在は何も設定されていません。

- (2)確認メッセージが表示されます。

変更する場合は**[OK]**、変更をやめる場合は**[キャンセル]**ボタンをクリックします。

kukulitool.linkclub.jp の内容: ×

アドレスを変更してもよろしいですか?

- (3)変更が完了すると、「メールアドレス」欄に変更後のメールアドレスが表示されます。

メールアドレス	<input type="text" value="new@sample-domain.jp"/>	アドレス変更	<input type="text" value="new"/> @ sample-domain.jp <input type="button" value="変更する"/> <small>3～64文字の半角英数字、記号（ハイフン「-」、アンダーバー「_」、ドット「.」）で入力してください。英字は小文字で入力してください。</small>
---------	---	--------	---

■アドレス変更失敗ケース1：既に同じメールアドレスが存在している

既に同じメールアドレスが存在している場合は、下図のメッセージが表示されます。
別のメールアドレスを再入力して、[変更する]ボタンを押してください。

以下の入力エラーを修正してください。

- 「root@sample-domain.jp」がすでに存在しています。

■アドレス変更失敗ケース2：新しいメールアドレスが2文字以下

新しいメールアドレスが短すぎる(2文字以下)場合は、下図のメッセージが表示されます。
3文字以上でメールアドレスを再入力して、[変更する]ボタンを押してください。

以下の入力エラーを修正してください。

- メールアドレスが短過ぎます(3文字以上で入力してください)。

■アドレス変更失敗ケース3：新しいメールアドレスに非対応文字を使用

新しいアドレスに不適切な文字列を使用した場合は、下図のメッセージが表示されます。
使用できない文字を入力していないかを確認し、再入力します。

※メールアドレスで利用出来る文字は半角小文字の「a~z」、「0~9」、「_(アンダーバー)」、「-(ハイフン)」、「.(ドット)」、となっております。

以下の入力エラーを修正してください。

- メールアドレスは、半角英数小文字で適切な文字列を入力してください。

パスワード変更

パスワード変更機能で、パスワードの変更と初期化が行えます。

- (1) アカウント詳細/設定画面の、「パスワード」の入力欄に新しいパスワードを入力し、[変更]ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'アカウント詳細/設定' (Account Details/Settings) page. The 'パスワード' (Password) field is highlighted with a red box. The page includes various settings such as email address, mailbox type, and storage capacity.

メールアドレス	root@sample-domain.jp	アドレス変更	<input type="text" value=""/> @ sample-domain.jp <input type="button" value="変更する"/> 3～64文字の半角英数字、記号（ハイフン「-」、アンダーバー「_」、ドット「.」）で入力してください。 英字は小文字で入力してください。
タイプ	mailbox	パスワード	<input type="password" value="....."/> <input type="button" value="初期化"/> <input type="button" value="変更"/> 6～128文字の半角英数字、記号（「.」、「-」、「_」、「@」、「\$」、「;」、「:」、「^」、「{」、「}」、「/」）で入力してください。 英字の大文字と小文字は区別されます。
区分	メイン	初期パスワード
メールボックス容量	<input type="text" value="1"/> GB <input type="button" value="変更する"/> <small>設定可能な最大容量は100GBです。メールボックス容量を実際の使用量以下に設定すると、新着メールが受信出来なくなりますのでご注意ください。</small>	フィルタータイプ	高機能フィルター
使用量/使用率	0B <input type="text" value="0"/> %		
メール数	0通		

迷惑メールフィルター ON OFF

ユーザーフィルター 現在は何も設定されていません。

- (2) 確認メッセージが表示されます。

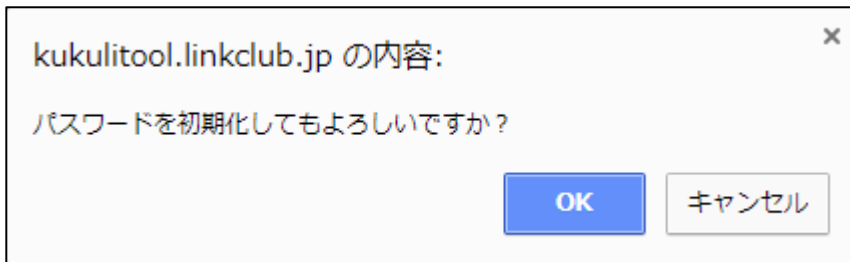
変更する場合は[OK]、変更をやめる場合は[キャンセル]ボタンをクリックします。

The dialog box has a title bar with a close button (X). The text inside reads: 'kukulitool.linkclub.jp の内容: パスワードを変更してもよろしいですか?' (Content of kukulitool.linkclub.jp: Do you want to change the password?). There are two buttons: 'OK' and 'キャンセル' (Cancel).

【ご注意】

容易に想像のつくパスワード（「123456」や「abcdefg」、「password」、アカウント名と同じもの等）を設定されますと、メールアドレスパスワードが第三者に特定され、お客様のメールアドレスが悪用される恐れがございますので、英字(大文字、小文字)、数字を組み合わせた8文字以上のパスワードを設定していただくことを推奨しております。

- ★[初期化]ボタンを押した際には、入力欄の内容に関わらず、初期設定のパスワードに変更されます。その際には、下図のような確認メッセージが表示されます。



■パスワード変更失敗ケース1：新しいパスワードが5文字以下

新しいパスワードが短過ぎる（5文字以下）場合は、下図のメッセージが表示されます。6文字以上で正しいパスワードを再入力して、[変更]ボタンを押してください。

以下の入力エラーを修正してください。

- パスワードが短過ぎます(6文字以上で入力してください)。

■パスワード変更失敗ケース2：新しいパスワードに非対応文字を使用

新しいパスワードに不適切な文字列を入力した場合は、下図のメッセージが表示されます。使用できない文字を入力していないかを確認し、正しいパスワードを再入力します。

※パスワードで利用出来る文字は、半角、a~z、A~Z、0~9、_、-、\$、@、:、;、^、{、}、/、です。

以下の入力エラーを修正してください。

- パスワードは、半角英数字で適切な文字列を入力してください。

■パスワード変更失敗ケース3：新しいパスワードがメールアドレスと同じ文字列

パスワードがメールアドレスと同じ場合は、下図のメッセージが表示されます。メールアドレスとは異なるパスワードを入力し、[変更]ボタンを押してください。

以下の入力エラーを修正してください。

- 新しいパスワードは、アカウントと同じ文字列で設定できません。

メールボックス容量変更

メールボックス容量変更機能で、メールボックスの容量変更が行えます。

(1) アカウント詳細/設定画面の、「メールボックス容量」の入力欄に数値と単位を入力し、[変更する] ボタンをクリックします。

※ここで設定可能な最大値は、メール容量 100GB からその他のメールアカウントに設定されているメールボックス容量を差し引いた値となります。

ユーザーツール » メールサービス » アカウント詳細/設定 ◀ ホームに戻る

メールアドレス	root@sample-domain.jp	アドレス変更	<input type="text" value="root@sample-domain.jp"/> @ sample-domain.jp <input type="button" value="変更する"/> 3～64文字の半角英数字、記号（ハイフン「-」、アンダーバー「_」、ドット「.」）で入力してください。英字は小文字で入力してください。
タイプ	mailbox	パスワード	<input type="password" value="....."/> <input type="button" value="初期化"/> <input type="button" value="変更"/> 6～128文字の半角英数字、記号（「!」、「@」、「#」、「\$」、「%」、「&」、「*」、「^」、「_」、「~」、「/」）で入力してください。英字の大文字と小文字は区別されます。
区分	メイン	初期パスワード
メールボックス容量	<input type="text" value="1"/> <input type="button" value="GB"/> <input type="button" value="変更する"/> 設定可能な最大容量は100GBです。メールボックス容量を実際の使用量以下に設定すると、新着メールが受信出来なくなりますのでご注意ください。	フィルタータイプ	高機能フィルター
使用量/使用率	0B <input type="text" value="0"/> 0%		
メール数	0通		

迷惑メールフィルター ON OFF

ユーザーフィルター 現在は何も設定されていません。

(2) 確認メッセージが表示されます。

変更する場合は[OK]、変更をやめる場合は[キャンセル]ボタンをクリックします。

kukulitool.linkclub.jp の内容: ✕

メールボックス容量を変更してもよろしいでしょうか?

メールフィルター

メールフィルターには、「迷惑メールフィルター」と「ユーザーフィルター」の2つがあります。

迷惑メールフィルターは、メールヘッダに挿入された「X-Spam-Status」のスコア値によってメールを迷惑メールフォルダに自動で移動する機能になります。

※X-Spam-Status ヘッダにつきましては、[SPAMの判定基準について]をご参照ください。

※迷惑メールフィルターの初期設定は「OFF」が設定されます。

※迷惑メールフォルダへ格納されたメールはメールソフトにはダウンロードされません。

迷惑メールフォルダ内のメールは、Webmail もしくは IMAP 接続で確認していただく必要があります。

また、迷惑メールフォルダ内のメールは受信から 30 日後に削除される仕様となっております。

ユーザーツール > メールサービス > アカウント詳細/設定
◀ ホームに戻る

メールアドレス	root@sample-domain.jp	アドレス変更	<input type="text" value=""/> @ sample-domain.jp <input type="button" value="変更する"/> <small>3～64文字の半角英数字、記号（ハイフン「-」、アンダーバー「_」、ドット「.」）で入力してください。英字は小文字で入力してください。</small>
タイプ	mailbox	パスワード	<input type="password" value=""/> <input type="button" value="初期化"/> <input type="button" value="変更"/> <small>6～128文字の半角英数字、記号（「!」、「@」、「\$」、「%」、「&」、「*」、「^」、「_」、「~」）で入力してください。英字の大文字と小文字は区別されます。</small>
区分	メイン	初期パスワード
メールボックス容量	<input type="text" value="1"/> GB <input type="button" value="変更する"/> <small>設定可能な最大容量は100GBです。メールボックス容量を実際の使用量以下に設定すると、新着メールが受信出来なくなりますのでご注意ください。</small>	フィルタータイプ	高機能フィルター
使用量/使用率	0B <input type="text" value="0"/> 0%		
メール数	0通		

迷惑メールフィルター ON OFF

フィルター強度

フィルター強度は15段階で設定することができます。通常は8～12の範囲内での調整を推奨します。

【設定参考値】
 1～7：弱い（あきらかな迷惑メールを対象とします）
 8～12：普通（推奨設定値）
 13～15：強い（通常のメールが対象となる可能性も高くなります）

ブラックリスト 下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフォルダへ隔離されます。

ホワイトリスト 下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフィルターやブラックリストより優先して、通常メールとして処理されます。

ユーザーフィルター 現在は何も設定されていません。

迷惑メールフィルター	フィルター強度設定(15 段階)やブラックリスト、ホワイトリストの設定が可能です。
ユーザーフィルター	受信したメールの送信者や件名、サイズなど詳細な条件を指定し、転送、バケーションメールの他に移動、コピー、破棄、削除など多彩な処理が設定可能です。 また、複合条件や処理を行う時間を設定する事も可能となっております。

迷惑メールフィルターの ON/OFF

- (1) 設定を変更するには、迷惑メールフィルターの項目の ON(OFF) にチェックを入れ、画面最下部にある [保存する] ボタンをクリックします。

迷惑メールフィルター ON OFF

フィルター強度

1 9 15

フィルター強度は15段階で設定することができます。
通常は8~12の範囲内での調整を推奨します。

【設定参考値】
1~7：弱い（あまらかな迷惑メールを対象とします）
8~12：普通（推奨設定値）
13~15：強い（通常のメールが対象となる可能性も高くなります）

ブラックリスト 下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフォルダへ隔離されます。

新規条件の追加

ホワイトリスト 下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフィルターやブラックリストより優先して、通常メールとして処理されます。

新規条件の追加

ユーザーフィルター 現在は何も設定されていません。

新規フィルターの追加

保存する キャンセル

- (2) 設定が完了すると、設定した旨のメッセージが表示されます。

ユーザーツール > メールサービス ホームに戻る

◎ メールアカウント(root@sample-domain.jp)を変更しました。

こちらの画面では、メールアドレスの状態確認と設定を変更することができます。
パスワードの変更やSPAMフィルターのON/OFF、転送設定、パケージメールの設定は各アドレスの「操作」の項目の「編集する」ボタンから行えます。

メールアドレス一覧

メールアドレス	タイプ	区分	状態	容量	使用量	使用率	転送先メールアドレス	登録日	操作
root@sample-domain.jp	mailbox	メイン	有効	1GB	0B	0%		2017-10-01 17:02:39	編集する

新しくメールアドレスを追加する場合は、「アドレスタイプ」を選択し、「追加する」ボタンをクリックしてください。

mailbox ▼ 追加する

1件 - 1件 / 全1件

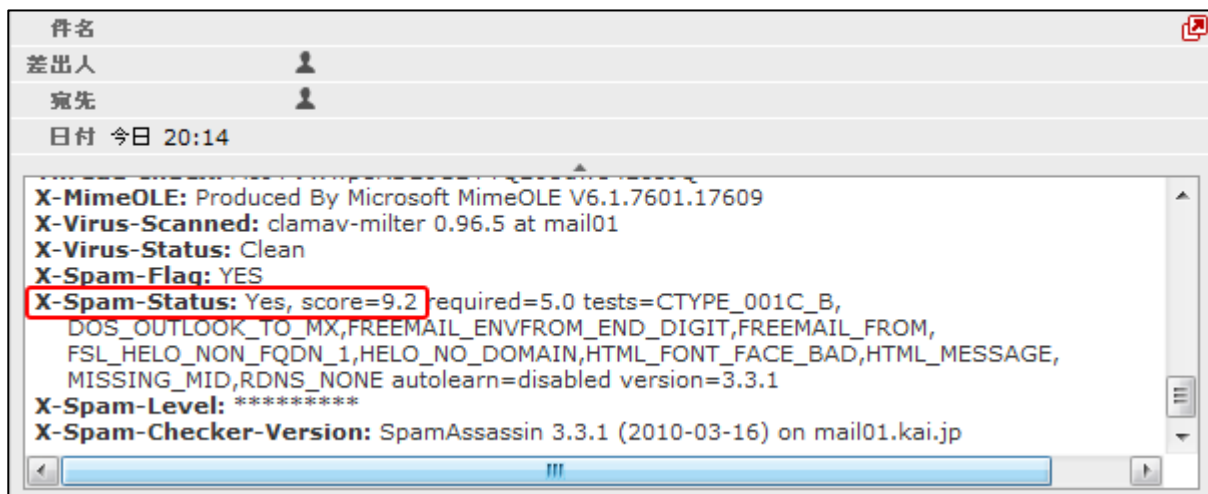
迷惑メールフィルター

迷惑メールフィルターが OFF の場合、且つユーザーフィルターが設定されていない場合は、全てのメールが「受信トレイ」に格納されます。

迷惑メールフィルターが ON の場合、迷惑メールフィルターの強度設定(15 段階)、ブラックリスト/ホワイトリストの作成が可能となっており、下記の条件に合致したメールが SPAM 判定され、迷惑メールフォルダに格納されます。

- ・メールヘッダの「X-Spam-Status」の score が設定したフィルター強度以上の場合。
- ・ブラックリストに設定されている条件に合致している場合。

※ホワイトリスト/ブラックリストの詳細説明は「アカウント設定情報の確認と設定変更>mailbox アカウント設定>ブラックリスト/ホワイトリスト」をご参照ください。



SPAM の判定基準について

本機能では二次フィルターに実装している SpamAssassin にて SPAM 判定を行っています。

SpamAssassin が SPAM 判定基準としている要素はメールヘッダから確認が可能です。

X-Spam-Status	<p>メール内の SPAM 要素を Score として数字で表示します。</p> <pre>X-Spam-Status: Yes, score=9.2 required=5.0 tests=CTYPE_001C_B, DOS_OUTLOOK_TO_MX,FREEMAIL_ENVFROM_END_DIGIT,FREEMAIL_FROM, FSL_HELO_NON_FQDN_1,HELO_NO_DOMAIN,HTML_FONT_FACE_BAD,HTML_MESSAGE, MISSING_MID,RDNS_NONE autolearn=disabled version=3.3.1</pre> <p>上記例では Score は 9.2 という事になります。 Score 以降の記述は、加点要素が記載されています。</p>
X-Spam-Level	<p>X-Spam-Status の Score が 1.0 以上の場合に表示されます。</p> <pre>X-Spam-Level: *****</pre> <p>Score の数字は『*』を使って 1 単位ずつ表示されます。 例) score=3.9 の時には「***」星 3 つ、score=5.1 の時には「*****」星 5 つ ※迷惑メールフィルター利用時にはこのヘッダ情報を元に、迷惑メールフォルダにフィルタリングされます。</p>

フィルター強度の設定

強度は、最弱(X-Spam-Status の Score が 15 以上)～最強(1 以上)の 15 段階で調整可能です。
設定強度以上の Score のメールを受信した場合に迷惑メールフォルダにメールが格納されます。

(1) 迷惑メールフィルターの項目の ON にチェックを入れます。

迷惑メールフィルター ON OFF

フィルター強度

フィルター強度は15段階で設定することができます。
通常は8～12の範囲内での調整を推奨します。

【設定参考値】
1～7：弱い（あきらかな迷惑メールを対象とします）
8～12：普通（推奨設定値）
13～15：強い（通常のメールが対象となる可能性も高くなります）

ブラックリスト 下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフォルダへ隔離されます。
新規条件の追加

ホワイトリスト 下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフィルターやブラックリストより優先して、通常メールとして処理され
ず。
新規条件の追加

(2) フィルター強度欄内のスライダーを任意の場所にドラッグして調整します。

1 (弱)～15(強)の 15 段階で設定が可能です。スライダーに現在の強度が表示されます。

フィルター強度

1 が最弱設定

15 が最強設定

フィルター強度は15段階で設定することができます。
通常は8～12の範囲内での調整を推奨します。

【設定参考値】
1～7：弱い（あきらかな迷惑メールを対象とします）
8～12：普通（推奨設定値）
13～15：強い（通常のメールが対象となる可能性も高くなります）

※高めの強度を設定された場合、通常のメールも SPAM として判定される可能性がある為、ご注意ください。
あわせてホワイトリスト機能も設定していただく事をお勧めします。

(3) 設定後、画面最下部にある[保存する]ボタンをクリックします。

迷惑メールフィルター ON OFF

フィルター強度

フィルター強度は15段階で設定することができます。
通常は8～12の範囲内での調整を推奨します。

【設定参考値】
1～7：弱い（あきらかな迷惑メールを対象とします）
8～12：普通（推奨設定値）
13～15：強い（通常のメールが対象となる可能性も高くなります）

ブラックリスト 下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフォルダへ隔離されます。
新規条件の追加

ホワイトリスト 下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフィルターやブラックリストより優先して、通常メールとして処理され
ず。
新規条件の追加

ユーザーフィルター 現在は何も設定されていません。
新規フィルターの追加

保存する キャンセル

ブラックリスト/ホワイトリスト

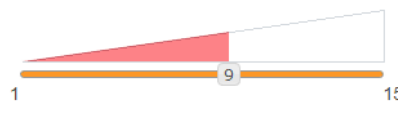
それぞれ、受信拒否 / 許可の設定を行う機能になります。

ブラックリストに登録した条件に合致するメールは迷惑メールフォルダへ、

ホワイトリストに登録した条件に合致するメールは受信トレイフォルダに移動します。

※ブラックリストとホワイトリストで重複した条件が設定されている場合は、

ホワイトリストのルールが優先されます。

迷惑メールフィルター <input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF		
フィルター強度		フィルター強度は15段階で設定することができます。 通常は8~12の範囲内での調整を推奨します。 【設定参考値】 1~7 : 弱い (あきらかな迷惑メールを対象とします) 8~12 : 普通 (推奨設定値) 13~15 : 強い (通常のメールが対象となる可能性も高くなります)
ブラックリスト	下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフォルダへ隔離されます。 <input type="button" value="新規条件の追加"/>	
ホワイトリスト	下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフィルターやブラックリストより優先して、通常メールとして処理されます。 <input type="button" value="新規条件の追加"/>	
ユーザーフィルター	現在は何も設定されていません。 <input type="button" value="新規フィルターの追加"/>	
<input type="button" value="保存する"/> <input type="button" value="キャンセル"/>		

ブラックリスト/ホワイトリストの設定方法

(1) 迷惑メールフィルターの項目の ON にチェックを入れ、

ブラックリスト、またはホワイトリストの項目にある、[新規条件の追加] ボタンをクリックします。

迷惑メールフィルター ON OFF

フィルター強度

フィルター強度は15段階で設定することができます。
通常は8~12の範囲内での調整を推奨します。

【設定参考値】
1~7：弱い（あきらかな迷惑メールを対象とします）
8~12：普通（推奨設定値）
13~15：強い（通常のメールが対象となる可能性も高くなります）

ブラックリスト 下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフォルダへ隔離されます。

新規条件の追加

ホワイトリスト 下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフィルターやブラックリストより優先して、通常メールとして処理されます。

新規条件の追加

ユーザーフィルター 現在は何も設定されていません。

新規フィルターの追加

保存する キャンセル

(2) 設定画面で条件を設定します。新しく条件を追加するには、[新規条件の追加] ボタン、

条件を削除する場合は、[条件の削除] ボタンをクリックします。

ブラックリスト 下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフォルダへ隔離されます。

送信者(from)が

送信者(from)が
受信者(to, cc)が
件名(subject)が
本文(body)が
メールヘッダー(header)が
メールサイズが

を含む

を含む
を含まない
と一致する
と一致しない
存在する
存在しない

条件の削除

新規条件の追加

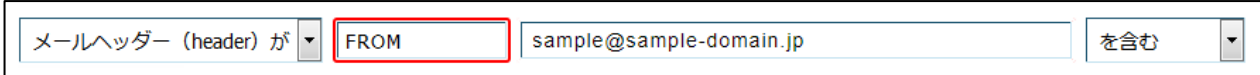
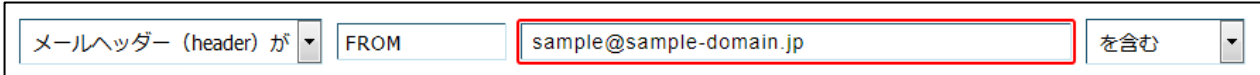
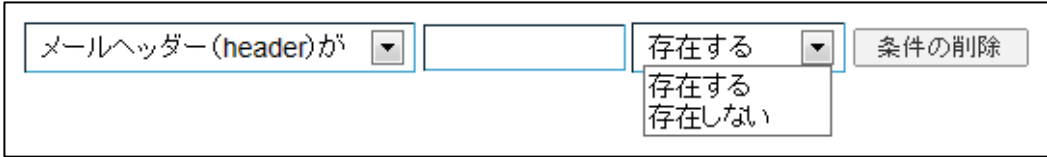
条件の設定画面は選択したメニューにより、3つのパターンに変化します。

◆パターン1：「送信者(from)、受信者(to、cc)、件名(Subject)、本文(body)が」を選択した場合

(1)	(2)	(3)	条件の削除
<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> 送信者(from)が 送信者(from)が 受信者(to、cc)が 件名(subject)が 本文(body)が </div>		<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> を含む を含む を含まない と一致する と一致しない 存在する 存在しない </div>	

(1)	送信者(from)が	条件にメールの送信者(from)を指定する場合に選択します。
	受信者(to、cc)が	条件にメールの受信者(to、cc)を指定する場合に選択します。
	件名(subject)が	条件にメールの件名(Subject)を指定する場合に選択します。
	本文(body)が	条件にメール本文(body)を指定する場合に選択します。
(2)	条件となる、メールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)を入力します。	
(3)	を含む	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が含まれている場合に動作します。 ※含む/含まないは、部分一致を意味します。
	を含まない	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が含まれていない場合に動作します。
	と一致する	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が一致する場合に動作します。 ※一致する/しない設定は、条件の完全一致を意味します。 例えば、『Fromが』『sample@ sample-domain. jp』『と一致する』という設定をしても、実際に送られて来たメールヘッダのFromが、『"送信者名"<sample@ sample-domain. jp >』となっている場合には、一致とは判定されない為、フィルター設定は動作しません。
	と一致しない	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が一致しない場合に動作します。
	存在する	(1)で選択したヘッダが存在する場合に動作します。 この時(2)の入力欄は非表示になります。 ※存在する/しないは、header情報の有無を確認する項目となります。 例)「From:」「To:」「Cc:」「Subject:」のヘッダが存在するかしないかを判断します。 ※上記(1)の項目にて『本文 (body)』を選択しても、メールヘッダに『body:』というヘッダがそもそも存在しない為、設定しても動作いたしません。
	存在しない	(1)で選択したヘッダが存在しない場合に動作します。

◆パターン2：「メールヘッダー(header)が」を選択した場合。

(1)	メールヘッダー(header)が	条件にメールヘッダー(header)を指定する場合に選択します。
(2)		<p>条件となる、header を入力します。header はメール画面から確認できます。</p> <p>【入力例】From(送信者)が、sample@ sample-domain. jp を含む場合 この場合は「From」と入力します。</p> 
(3)		<p>(2)で入力した header の詳細条件を入力します。</p> <p>【入力例】From(差出人)が、sample@ sample-domain. jp を含む場合 この場合は「sample@ sample-domain. jp」と入力します。</p> 
(4)	を含む	(2)と(3)で入力した、header 情報が含まれている場合に動作します。 ※含む/含まないは、部分一致を意味します。
	を含まない	(2)と(3)で入力した header 情報が含まれていない場合に動作します。
	と一致する	(2)と(3)で入力した header 情報が一致する場合に動作します。 ※一致する/しないは、完全一致を意味します。
	と一致しない	(2)と(3)で入力した header 情報のいずれかが一致しない場合に動作します。
	存在する	<p>入力した header 情報が存在する場合に動作します。</p> <p>※存在する/しないは、header 情報の有無を確認する項目となります。</p> <p>例)「X-Mailer:」「Message-Id:」「Content-Type:」等のヘッダが存在するかどうかを判断します。 ※こちらの項目を選択した際には項目が変化します。</p> 
	存在しない	入力した header 情報が存在しない場合に動作します。

◆パターン3：「メールサイズが」を選択した場合。

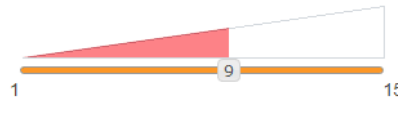
(1)	メールサイズが	条件にメールサイズを指定する場合に選択します。
(2)	(3)で選択する単位に応じた数値を入力します。	
(3)	メールサイズの単位を選択します。 バイト～GB、設定した数値以上 / 以下の設定が行えます。	

(3) 設定後、画面最下部にある[保存する]ボタンをクリックします。

ユーザーフィルター設定

ユーザーフィルター設定では、任意の仕分けルールと処理内容でフィルター設定が可能です。受信したメールの送信者や件名、サイズなど複合的な条件を元に、転送、バケーションメールの他にメールの移動、コピー、破棄、削除など複数の処理が設定可能です。

※迷惑メールフィルターを通過していない(SPAM 判定された)メールはユーザーフィルターが適用されません。

迷惑メールフィルター	<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF
フィルター強度	 <p>フィルター強度は15段階で設定することができます。 通常は8~12の範囲内での調整を推奨します。</p> <p>【設定参考値】 1~7 : 弱い (あきらかな迷惑メールを対象とします) 8~12 : 普通 (推奨設定値) 13~15 : 強い (通常のメールが対象となる可能性も高くなります)</p>
ブラックリスト	下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフォルダへ隔離されます。
	<input type="button" value="新規条件の追加"/>
ホワイトリスト	下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフィルターやブラックリストより優先して、通常メールとして処理されます。
	<input type="button" value="新規条件の追加"/>
ユーザーフィルター	現在は何も設定されていません。
	<input type="button" value="新規フィルターの追加"/>
<input type="button" value="保存する"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

新規フィルターの追加

- (1) ユーザーフィルター項目にある、[新規フィルターの追加] ボタンをクリックします。
ユーザーフィルターの新規作成画面が表示されます。

ユーザーフィルター 現在は何も設定されていません。

新規フィルターの追加

ユーザーツール » メールサービス » アカウント詳細/設定 [ホームに戻る](#)

ユーザーフィルターの新規作成

フィルターの名前

ルールの適用条件 以下のルールのいずれかに一致 以下のルールの全てに一致 全てのメールに適用

送信者 (from) が を含む

新規条件の追加

ルールの適用時間 常時 時間指定 時台 ~ 時台までの間 (終了時刻は開始時刻より大きい数字を設定して下さい。)

※ [9]時台~[17]時台と設定した場合は、9時00分00秒~17時59分59秒までが対象時間となります。
※ 21時台~8時台と言う様な日付をまったく時間指定をしたい場合は、21時~23時のフィルタと0時~8時のフィルタを2つ設定して下さい。

実行する処理の内容 上記の適用条件と適用時間に合致したメールの処理内容を設定します。

次のフォルダにメールを移動する

新規条件の追加

- (2) フィルターの名前欄に、任意のフィルター名を入力します。

フィルターの名前

- (3) ルールの適用条件を設定します。新しく条件を追加するには、[新規条件の追加]、または[追加]ボタン、設定した条件を削除する場合は、[削除]ボタンをクリックします。

(1)	以下のルールのいずれかに一致	設定した条件のいずれかに一致した場合に、処理が実行されます。(or 条件の指定になります)
	以下のルールの全てに一致	設定した条件の全てに一致した場合に、処理が実行されます。(and 条件の指定になります)
	全てのメールに適用	全てのメールで処理が実行されます。 (こちらを選択すると、適用条件設定項目が非表示となり、受信した全てのメールに処理が適用されます。)
(2)	適用条件設定項目はブラックリスト/ホワイトリストと同じ仕様となります。 設定の詳細については[ブラックリスト/ホワイトリスト]をご参照ください。	

- (4) 設定したルールの適用時間を設定します。

「常時」または「時間指定」にチェックを入れて0～23 時の間で時間を指定します。

※時間指定の場合は、終了時刻を開始時刻より大きい数字で設定してください。

※ [9]時台～[17]時台と設定した場合は、9時00分00秒～17時59分59秒までが対象時間となります。

※ 21 時台～8 時台と言う様な日付をまたぐ時間指定をしたい場合は、21 時～23 時のフィルターと 0 時～8 時のフィルターを 2 つ設定して下さい。

- (5) 実行する処理の内容を設定します。処理の設定は、複数設定する事が可能となっております。

新しく条件を追加するには、[新規条件の追加]、または[追加]ボタン、設定した条件を削除する場合は、[削除]ボタンをクリックします。

実行する処理の内容画面は、選択したメニューにより、5つのパターンに変化します。

◆パターン1：次のフォルダにメールを移動する、次のフォルダにメールをコピーする

(1)	次のフォルダにメールを移動する	条件に該当したメールを指定したフォルダに移動します。
	次のフォルダにメールをコピーする	条件に該当したメールを指定したフォルダにコピーします。
(2)	<p>選択したフォルダに(1)で設定した処理が実行されます。</p> <p>※初期フォルダは、ウェブメールにログインした際に自動作成されます。</p> <p>※初期フォルダには「受信トレイ」「下書き」「送信済みアイテム」「迷惑メール」「ごみ箱」「保存フォルダ」の6つのフォルダがありますが、自分で作成したフォルダがある場合はこの一覧に表示されます。</p>	

◆パターン2：次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残さない / 残す)

(1)	次のアドレスにメールを転送する (転送後サーバーに残さない)	<p>条件に該当したメールを転送します。</p> <p>転送したメールはサーバーから削除します。</p> <p>※転送したメールはごみ箱には入らず、サーバーから削除されますのでご注意ください。</p>
	次のアドレスにメールを転送する (転送後サーバーに残す)	<p>条件に該当したメールを転送します。</p> <p>転送したメールをサーバーに残す設定です</p>
(2)	転送するメールの送り先のメールアドレスを入力します。	

◆パターン3：メールを破棄する

(1)	(2)	
<input type="text" value="メールを破棄する"/>		<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="削除"/>

(1)	メールを破棄する	条件に該当したメールはサーバーから削除され、サーバーから差出人に送信不能の旨のメッセージが送信されます。 ※メールはごみ箱には入らず、サーバーから削除されますのでご注意ください。
(2)	差出人に対して送信するメッセージを入力します。未入力でも問題ありません。 【差出人に送信されるメールのサンプル】 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>件名 Rejected: 送信テスト</p> <p>差出人 Mail Delivery Subsystem</p> <p>宛先 [redacted]</p> <p>日付 今日 13:58</p> </div> <p>Your message to <[redacted]> was automatically rejected:</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 5px 0; color: red;"> <p>この部分に、(2)に入力したメッセージが表示されます。</p> </div>	
※自動送信されるメールのFromは「Mail Delivery Subsystem <postmaster@linkclub.jp>」となります。		

◆パターン4：バケーションメールを送信する



バケーションメールを送信する (1)

本文 (2)

件名

受信者

root@example.com

返送禁止期間 日

(1)	バケーションメールを送信する	条件に該当したメールにバケーションメールを送信します。 バケーションメールは、休暇中などのメール返信が出来ない 期間に、設定したメッセージを自動返信する機能です。
(2)	本文	自動返信するメールの本文を入力します。
	件名	自動返信するメールの件名を入力します。 ※件名は半角 70 文字、全角 15 文字以内の入力制限があります。
	受信者	メールアドレスを入力します。 入力したメールアドレス宛てのメールを受信した際にバケ ーションメールが送信されます。
	返送禁止期間	1 度送った相手に再送を行わないよう期間を設定します。 1~90 日の間で半角の数字を入力します。

◆パターン5：メールを削除する、ルール評価を停止する

<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> メールを削除する メールを削除する ルール評価を停止する </div>	<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="削除"/>
--	---

メールを削除する	<p>条件に該当したメールをサーバーから削除します。</p> <p>※メールはごみ箱には入らず、サーバーから削除されますのでご注意ください。</p>												
ルール評価を停止する	<p>※複数のフィルター設定がある場合、上から順に適用されますが、ルール評価の停止ルールに合致したメールには、それ以下のフィルターの設定は実行されなくなります。</p> <p>【設定例】</p> <p>下図のようにユーザーフィルターを3つ設定している場合にユーザーフィルター2で『ルール評価を停止する』を設定していると以後のユーザーフィルター3が実行されなくなります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="color: red; text-align: center;">ユーザーフィルター2に『ルール評価を停止する』設定がある状態。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #4F81BD; color: white;"> <th>フィルター名</th> <th>フィルターの編集/削除</th> <th>フィルターの適用順の変更</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ユーザーフィルター1</td> <td style="text-align: center;"><input type="button" value="編集する"/> <input type="button" value="削除する"/></td> <td style="text-align: center;"> <input type="button" value="優先度を上げる"/> <input type="button" value="優先度を下げる"/> </td> </tr> <tr style="border: 2px solid red;"> <td>ユーザーフィルター2</td> <td style="text-align: center;"><input type="button" value="編集する"/> <input type="button" value="削除する"/></td> <td style="text-align: center;"> <input type="button" value="優先度を上げる"/> <input type="button" value="優先度を下げる"/> </td> </tr> <tr style="background-color: #e0e0e0;"> <td>ユーザーフィルター3</td> <td style="text-align: center;"><input type="button" value="編集する"/> <input type="button" value="削除する"/></td> <td style="text-align: center;"> <input type="button" value="優先度を上げる"/> <input type="button" value="優先度を下げる"/> </td> </tr> </tbody> </table> <p style="color: blue; text-align: center;">『ルール評価の停止』のフィルター設定以下はフィルター設定が実行されません。</p> </div>	フィルター名	フィルターの編集/削除	フィルターの適用順の変更	ユーザーフィルター1	<input type="button" value="編集する"/> <input type="button" value="削除する"/>	<input type="button" value="優先度を上げる"/> <input type="button" value="優先度を下げる"/>	ユーザーフィルター2	<input type="button" value="編集する"/> <input type="button" value="削除する"/>	<input type="button" value="優先度を上げる"/> <input type="button" value="優先度を下げる"/>	ユーザーフィルター3	<input type="button" value="編集する"/> <input type="button" value="削除する"/>	<input type="button" value="優先度を上げる"/> <input type="button" value="優先度を下げる"/>
フィルター名	フィルターの編集/削除	フィルターの適用順の変更											
ユーザーフィルター1	<input type="button" value="編集する"/> <input type="button" value="削除する"/>	<input type="button" value="優先度を上げる"/> <input type="button" value="優先度を下げる"/>											
ユーザーフィルター2	<input type="button" value="編集する"/> <input type="button" value="削除する"/>	<input type="button" value="優先度を上げる"/> <input type="button" value="優先度を下げる"/>											
ユーザーフィルター3	<input type="button" value="編集する"/> <input type="button" value="削除する"/>	<input type="button" value="優先度を上げる"/> <input type="button" value="優先度を下げる"/>											

(6) 設定後、画面最下部にある[保存する]ボタンをクリックします。

ユーザーツール > メールサービス > アカウント詳細/設定 < ホームに戻る

ユーザーフィルターの新規作成

フィルターの名前

ルールの適用条件 以下のルールのいずれかに一致 以下のルールの全てに一致 全てのメールに適用

送信者 (from) が と一致する

ルールの適用時間 常時 時間指定 時台 ~ 時台までの間 (終了時刻は開始時刻より大きい数字を設定して下さい。)

※ [9時台~17時台と設定した場合は、9時00分00秒~17時59分59秒までが対象時間となります。
 ※ 21時台~8時台と言う様な日付をまったく時間指定をした場合は、21時~23時のフィルタと0時~8時のフィルタを2つ設定して下さい。

実行する処理の内容 上記の適用条件と適用時間に合致したメールの処理内容を設定します。

次のフォルダにメールを移動する

ユーザーフィルターの適用順の変更

ユーザーフィルターは、上から順番に適用されます。

優先順位は、ユーザーフィルター画面右端の「優先度を上げる」、「優先度を下げる」で操作します。

優先度を上げる場合は、該当フィルター名の「優先度を上げる」、

下げる場合は、該当フィルター名の「優先度を下げる」をクリックします。

※『ルール評価を停止する』が設定されていると、そのフィルター以下の設定は適用されませんのでご注意ください。

設定後、画面最下部にある**[保存する]**ボタンをクリックします。

フィルター名	フィルターの編集/削除	フィルターの適用順の変更
ユーザーフィルター1	編集する 削除する	↑ 優先度を上げる ↓ 優先度を下げる
ユーザーフィルター2	編集する 削除する	↑ 優先度を上げる ↓ 優先度を下げる
ユーザーフィルター3	編集する 削除する	↑ 優先度を上げる ↓ 優先度を下げる

新規フィルターの追加

ユーザーフィルターの編集と削除

設定したフィルター設定を編集したい場合は、該当フィルターの**[編集する]**ボタンをクリックします。

不要なフィルター設定を削除したい場合は、該当のフィルターの**[削除する]**ボタンをクリックし、画面最下部にある**[保存する]**ボタンをクリックします。

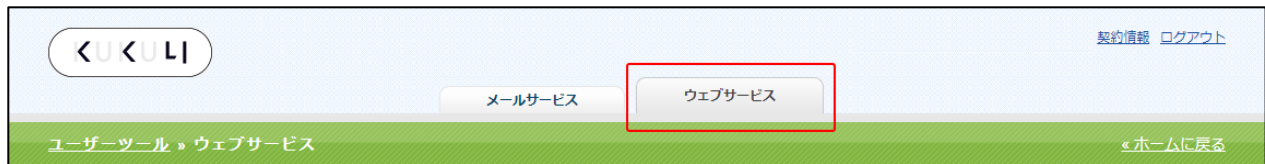
※**[保存する]**ボタンをクリックしないと、削除されませんのでご注意ください。

フィルター名	フィルターの編集/削除	フィルターの適用順の変更
ユーザーフィルター1	編集する 削除する	↑ 優先度を上げる ↓ 優先度を下げる
ユーザーフィルター2	編集する 削除する	↑ 優先度を上げる ↓ 優先度を下げる
ユーザーフィルター3	編集する 削除する	↑ 優先度を上げる ↓ 優先度を下げる

新規フィルターの追加

ウェブサービス



「ウェブサービス」タブをクリックする事で、ウェブサイトの設定、管理を行うための画面が表示されます。



ウェブサービス画面構成

ウェブサービス画面では、設定変更可能な「ウェブサイト一覧」が表示されます。

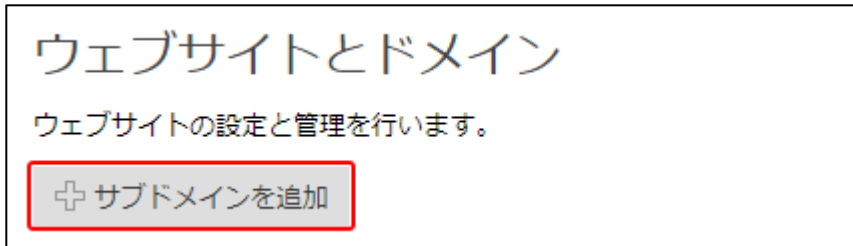


(1)	<p>サブドメインの追加や、表示内容の設定項目です。</p> <p>[サブドメインを追加]：サブドメインの追加が行えます。</p> <p>[ドメインリスト設定] ：ドメインの並び替えや表示モードの変更が行えます。</p>
(2)	<p>設定されたドメイン名が表示されます。</p> <p>※クリックする事によってサーバー管理エリアの表示/非表示を切り替え可能です。</p>
(3)	<p>ファイルマネージャへのアクセス、IP アドレス、システムユーザ名確認と下記操作が行えます。</p> <p>[ウェブサイト]：ファイルマネージャへアクセスできます。</p> <p>[ホスティング設定]：ホスティングタイプ、セキュリティ、スクリプティング、および統計の設定が行えます。</p> <p>[開く]：ウェブサイトを表示して確認することができます。</p> <p>[プレビュー]：DNS の設定前など、ウェブサイトが非公開の状態でも、プレビュー表示することができます。</p> <p>[一時停止]：一時的にウェブサイトの公開を停止し、「503 エラー」の表示にすることができます。(HTTP の場合) 一時停止をクリックすると(2)のドメイン名横に「一時停止」と表示され、[一時停止]が[アクティブ化]に切り替わります。再公開する場合はアクティブ化をクリックします。</p> <p>[無効化]：ウェブサイトの公開を停止し、FTP クライアントとファイルマネージャ以外での使用を不可にできます。</p> <p>[説明]：ドメインに対して、メモを設定することができます。この説明は「ウェブサイトとドメイン」画面でのみ表示されます。</p>
(4)	<p>ドメインの状況に合わせたコンテンツを自動で表示します。</p> <p>初期状態ですと、上図のように初期情報が表示されます。</p> <p>初期表示の情報を右上の  印で閉じると、表示が切り替わります。</p>
(5)	<p>サーバー管理エリア：ウェブサーバの各種設定を行えます。</p> <p>[閉じる/展開]：サーバー管理エリアの表示/非表示を切り替えます。</p>
(6)	<p>[バックアップマネージャ]：対象のコンテンツごとにバックアップを行うことができます。</p> <p>[データベース]：使用するデータベースの作成と削除を行えます。</p> <p>[スケジュール済みタスク]：スケジュール済みタスク (crontab) の表示、管理を行えます。</p> <p>[WordPress]：インストール済みの WordPress が表示されます。</p>
(7)	<p>リソースの利用状況が表示されます。</p> <p>[詳細な統計情報を表示]：より詳細なレポートが表示されます。</p> <p>※タイトル部分をクリックする事によって表示/非表示を切り替え可能です。</p>

サブドメインを追加

設定されている契約ドメインに対するサブドメインを作成することができます。

(1) [サブドメインを追加] ボタンをクリックします。



(2) 「サブドメインを追加」画面は、以下の構成になります。

ユーザーツール > ウェブサービス << ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン

サブドメインを追加

サブドメインは、ウェブサイトの別のセクション用のインターネットアドレスです。メインドメイン名とプレフィックスを使用します。例えば、ドメインが domain.com の場合、サブドメインは store.domain.com 等になります。また、名前の代わりに「*」記号を入力して、ワイルドカードサブドメインを作成することもできます。サイト訪問者は、ブラウザにどのようなサブドメイン名を入力しても、このサブドメインにリダイレクトされます。

サブドメイン名 *

ワイルドカードサブドメインを作成するには「*」を入力してください。

ホスティング設定

ドキュメントルート *

ウェブサイトのホームディレクトリへのパス

Secure with an SSL/TLS Certificate

Secure the domain with Let's Encrypt

Let's Encrypt is a certificate authority (CA) that allows you to create a free SSL/TLS certificate for your domain. The certificate will be renewed automatically every month. By clicking the "Ok" button you acknowledge that you have read and agree to the [Let's Encrypt Terms of Service](#).

* 必須フィールド

サブドメイン名	<p>追加したいサブドメイン名を入力します。</p> <p>※契約ドメイン「sample-domain.jp」の場合、「sample01.sample-domain.jp」のような、「sample-domain.jp」の直前に入るドメインを区分けする文字列「sample01」を指します。</p>
ドキュメントルート	<p>サブドメイン名を入力することで、サブドメインで使用するウェブサイトのホームディレクトリへのパスが自動で挿入されます。</p>
Secure with an SSL/TLS Certificate	<p>【ご注意】こちらの項目はご利用いただけません。</p> <p>※サブドメインに Let's Encrypt をインストールされたい場合は、別途サブドメインの[Let's Encrypt]からインストールを行ってください。</p>

サブドメインの設定が正しく行われると、「ウェブサイトとドメイン」画面に下記のように表示されます。

✔ **情報:** サブドメインを作成しました ウェブサイト設定は 10 分以内に適用されます。

追加したサブドメインの設定画面は、「ウェブサイトとドメイン」画面下部に表示されます。

The image shows two screenshots of a web management interface. The top screenshot is for 'sample-domain.jp' and the bottom screenshot is for 'sample01.sample-domain.jp'. Both screenshots show a similar layout with various management options and a sidebar on the right.

sample-domain.jp

ウェブサイト: httpdocs/ IP アドレス: 219.118.68.254 システムユーザ: sample-domain

ホスティング設定 開く プレビュー 一時停止 無効化 説明

ファイルマネージャ データベース WordPress Install

データベースを追加
または 既存のデータベースを選択

↑ 閉じる

ウェブホスティングアクセス FTP アクセス ホスティング設定

Let's Encrypt PHP 設定 PHP バージョン: 7.1.9 Apache と nginx の設定

アプリケーション ファイルマネージャ ウェブ統計

ウェブ統計 SSL/TLS Whois 情報 SSL/TLS 証明書

ウェブアプリケーションファイアウォール パスワード保護ディレクトリ ウェブサイトコピー

ログ

sample01.sample-domain.jp

ウェブサイト: sample01.sample-domain.jp/ IP アドレス: 219.118.68.254 システムユーザ: sample-domain

ホスティング設定 開く プレビュー 一時停止 無効化 説明

ファイルマネージャ データベース WordPress Install

データベースを追加
または 既存のデータベースを選択

↑ 閉じる

ウェブホスティングアクセス FTP アクセス ホスティング設定

リソース利用状況

ディスクスペース: 0%

100 GB 中、7.3 MB 使用

トラフィック: 0%

無制限中、11.7 MB/月 使用

詳細な統計情報を表示

サブドメインを削除

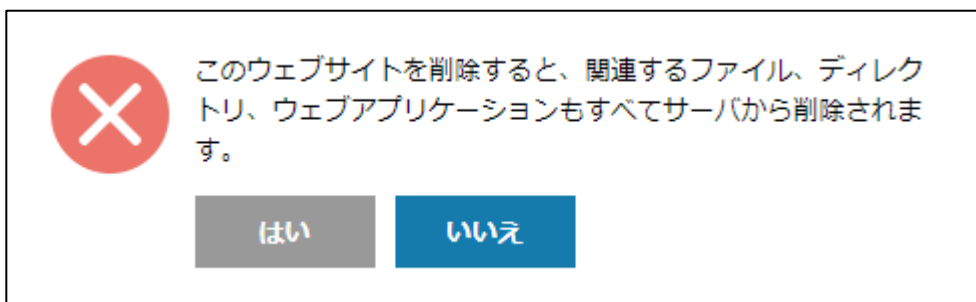
(1) [サブドメインを削除]をクリックします。



The screenshot shows the cPanel interface for the domain sample01.sample-domain.jp. At the top, it displays the website URL, IP address (219.118.68.254), and system user (sample-domain). Below this, there are several utility buttons: ホスティング設定, 開く, プレビュー, 一時停止, 無効化, and 説明. The main area is divided into sections: 'ファイルマネージャ' (File Manager), 'データベース' (Database) with a 'データベースを追加' (Add Database) button and a link to '既存のデータベースを選択' (Select Existing Database), and 'WordPress Install'. A grid of icons for various tools is shown below, including 'ウェブホスティングアクセス', 'FTP アクセス', 'ホスティング設定', 'Let's Encrypt', 'PHP 設定' (PHP version: 7.1.9), 'Apache と nginx の設定', 'アプリケーション', 'ファイルマネージャ', 'ウェブ統計', 'ウェブ統計 SSL/TLS', 'Whois 情報', 'SSL/TLS 証明書', 'ウェブアプリケーションファイアウォール', 'パスワード保護ディレクトリ', 'ウェブサイトコピー', and 'ログ'. The 'サブドメインを削除' button is highlighted with a red box.

(2) 確認メッセージが表示されます。

削除する場合は[はい]、削除をやめる場合は[いいえ]ボタンをクリックします。



The confirmation dialog box features a red circle with a white 'X' icon on the left. The text reads: 'このウェブサイトを削除すると、関連するファイル、ディレクトリ、ウェブアプリケーションもすべてサーバから削除されます。' (Deleting this website will delete all related files, directories, and web applications from the server). At the bottom, there are two buttons: a grey 'はい' (Yes) button and a blue 'いいえ' (No) button.

サブドメインの削除が正しく行われると、下記のように表示されます。

※完全に削除されるまで時間がかかる場合があります。



A green notification bar with a checkmark icon and the text: '情報: サブドメインは削除されました。' (Information: Subdomain has been deleted.)

ドメインリスト（ドメイン並び替え、表示切替）

「ドメインリスト」で設定ドメインの並び替えや表示モードの変更が行えます。

The screenshot shows the 'ユーザーツール > ウェブサービス' interface. The main content area displays two domain entries: 'sample-domain.jp' and 'sample01.sample-domain.jp'. For each domain, there are options for '並び替え:' (Sort by), '名前順: A→Z' (Ascending), and '名前順: Z→A' (Descending). A red box highlights the '並び替え:' dropdown menu for the first domain. The interface also includes various management tools like 'バックアップマネージャ', 'データベース', 'スケジュール済みタスク', 'WordPress', and 'リソース利用状況' (Resource Usage) on the right side.

並び替え	設定されているドメインの順序を設定できます。 ドメイン名を昇順[A→Z]、または降順[Z→A]での並び替えを行えます。
------	--

下記のように、契約環境下でサブドメインが複数設定されている場合は、親ドメインを優先項目としてサブドメインがソートされます。

[A→Z]順の時のソート例	[Z→A]順の時のソート例
a-sample.com sub1.a-sample.com sub2.a-sample.com	a-sample.com sub2.a-sample.com sub1.a-sample.com

ホスティング設定

ホスティングタイプ、セキュリティ、スクリプティング、および統計設定が行えます。

- (1) [ホスティング設定]をクリックします

The screenshot displays the 'User Tools' web service interface for a domain named 'sample-domain.jp'. The page title is 'ウェブサイトとドメイン' (Website and Domain). Below the title, there is a section for 'sample-domain.jp' with details: 'ウェブサイト: httpdocs/' (Website: httpdocs/), 'IP アドレス: 219.118.68.254' (IP Address: 219.118.68.254), and 'システムユーザ: sample-domain' (System User: sample-domain). A red box highlights the 'ホスティング設定' (Hosting Settings) button in the top navigation bar. Below this, there are several management options: 'ファイルマネージャ' (File Manager), 'データベース' (Database), 'データベースを追加' (Add Database), and 'WordPress Install'. A grid of icons for various services is shown below, with 'ホスティング設定' (Hosting Settings) also highlighted with a red box. Other icons include 'ウェブホスティングアクセス', 'FTP アクセス', 'Let's Encrypt', 'PHP 設定', 'Apache と nginx の設定', 'アプリケーション', 'ファイルマネージャ', 'ウェブ統計', 'ウェブ統計 SSL/TLS', 'Whois 情報', 'SSL/TLS 証明書', 'ウェブアプリケーションファイアウォール', 'パスワード保護ディレクトリ', 'ウェブサイトコピー', and 'ログ'. On the right side, there is a 'リソース利用状況' (Resource Usage) section showing 'ディスクスペース: 0%' (Disk Space: 0%), '100 GB 中、114.1 MB 使用' (100 GB total, 114.1 MB used), and 'トラフィック: 0%' (Traffic: 0%).

※画面上部の「ホスティング設定」からも、同様の操作が可能です。

(2) 「ホスティング設定画面」は、以下の3つの部分から構成されています。

The screenshot shows the 'sample-domain.jp' hosting settings page. It is divided into three main sections:

- (1) Basic Settings:** Includes options for 'ホスティングタイプ' (Website), 'ドキュメントルート*' (httpdocs), and '優先ドメイン*' (sample-domain.jp).
- (2) Security:** Includes options for 'SSL/TLS サポート' and 'SEO に対応する HTTP から HTTPS への恒久的 301 リダイレクト'.
- (3) Web Scripting and Statistics:** Includes options for 'SSI サポート', 'PHP サポート' (7.1.9), 'CGI サポート', and 'FastCGI サポート'.

At the bottom, there are buttons for 'OK', '適用する', and 'キャンセル', along with a note '* 必須フィールド'.

(1)	<p>ウェブサイトの基本設定が行えます。</p> <p>[ドキュメントルート]:ウェブコンテンツを置くディレクトリとなります。※変更することも可能ですが、変更されないことをおすすめ致します。変更されますと、変更されたディレクトリ内に置かれたウェブコンテンツしか表示されなくなりますので、変更される際はご注意ください。</p> <p>※サブドメインの場合はホスティングタイプを変更できます。</p>
(2)	<p>インストールされている SSL/TLS 証明書の設定(サイトへの関連付け)が行えます。</p> <p>※ウェブサイトとドメイン画面の「SSL/TLS 証明書」または「Let's Encrypt」から証明書を設定、インストールされてからしか設定ができませんので、まずはそちらからお手続きください。</p>
(3)	<ul style="list-style-type: none"> • [SSI サポート][PHP サポート][CGI サポート][FastCGI サポート] : 実行可能なプログラミング言語、またはスクリプティング言語の設定が行えます。 <p>※利用するプログラミング言語、またはスクリプティング言語のチェックボックスにチェックをいれてください。すべてのチェックボックスにチェックを入れていただければすべてご利用いただけるようになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [ウェブ統計] : 「Webalizer」と「Awstats」からお選びいただけます。ウェブ統計へのアクセスにパスワード認証をかける場合は、チェックボックスにチェックを入れてください。

ホスティングタイプを変更

ホスティングタイプ（ウェブサイトホスティング、転送、ホスティングなし）では、ウェブサイトの動作を設定できます。

※デフォルトのホスティングタイプは [ウェブサイトホスティング] タイプとなります。

ホスティングタイプを変更する場合、**[変更]**をクリックします。

ユーザーツール » ウェブサービス « ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン > sample01.sample-domain.jp

sample01.sample-domain.jp ... のホスティング設定

ウェブサイトホスティングの設定を行い、サイトで使用可能な機能を選択します。

ドメイン名 * .sample-domain.jp
ウェブサイトのドメイン名（例：example.com）。

ホスティングタイプ **ウェブサイト [変更]**

ウェブサイトのステータス アクティブ [変更]

ドキュメントルート *
ウェブサイトのホームディレクトリへのパス

◆ホスティングタイプ「ウェブサイトホスティング」

ウェブサイトを物理的にサーバー上に設置する設定になります。

「ウェブサイトホスティング」を選択すると以下の画面となり、ドキュメントルートを指定出来ます。

ユーザーツール » ウェブサービス « ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン > sample01.sample-domain.jp > ホスティング設定

ホスティングタイプを変更

このサーバでウェブサイトをホスティングするか（ウェブサイトホスティング）、別のサイトへのウェブ転送をセットアップするか（転送）、このドメイン名でメールボックスを持つためにドメイン DNS ゾーンを使用するか（ホスティングなし）を選択できます。

ホスティングタイプ **ウェブサイトホスティング ▼**

ホスティング設定

ドキュメントルート *
ウェブサイトのホームディレクトリへのパス

* 必須フィールド

ドキュメントルート	サイトのすべてのファイルとサブディレクトリを格納しているディレクトリの場所です。デフォルトディレクトリの「httpdocs」を使用することも、他のディレクトリを指定することもできます。
-----------	--

◆ホスティングタイプ「転送」

ドメイン名転送(リダイレクト)によって1つ、または複数の登録済みのドメイン名が物理的に同じウェブサイトを示すようにすることができます。これにより、ブラウザで指定する URL から別の URL のサイトに訪問者を自動的にリダイレクトすることができます。

「転送」を選択すると以下の画面となります。

ユーザーツール » ウェブサービス ◀ ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン sample01.sample-domain.jp ホスティング設定

ホスティングタイプを変更

このサーバでウェブサイトホスティングするか(ウェブサイトホスティング)、別のサイトへのウェブ転送をセットアップするか(転送)、このドメイン名でメールボックスを持つためにドメイン DNS ゾーンを使用するか(ホスティングなし)を選択できます。

ホスティングタイプ 転送 ▼

転送設定

転送先アドレス*

ターゲットウェブサイトの URL

転送タイプ

- 恒久的に移動 (コード 301)
ウェブサイト訪問者を別のサイトへリダイレクトし、リダイレクト先アドレスを訪問者に表示します。このようなリダイレクトによって、サイトの検索エンジンランキングを維持することができます。
- 一時的に移動 (コード 302)
検索エンジンに一時サイトをインデックスさせたくない時に、ウェブサイト訪問者を一時サイトコピーへリダイレクトします。
- フレーム転送
ウェブサイトの訪問者を他のサイトへリダイレクトしますが、転送先のアドレスは表示しません。そのため、訪問者は転送されていることを把握できません。

* 必須フィールド

OK 適用する キャンセル

転送先アドレス	リダイレクトさせたいウェブサイトの URL を指定することができます。
転送タイプ	<p>どのくらいの期間リダイレクトさせるかに応じて、リダイレクトの転送タイプを選択出来ます。HTTP リクエストされた際の応答コードを制御し、恒久的な移設なのか、一時的な移設なのか、HTML framset を使った転送なのかを選択可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 恒久的に移動 (コード 301) : ウェブサイト訪問者を別のサイトへリダイレクトし、リダイレクト先アドレスを訪問者に表示します。検索エンジンはサイトが引っ越されたと判断し、リダイレクト先の URL とコンテンツを表示するようになります。 ・ 一時的に移動 (コード 302) : ウェブサイトのメンテナンス中など一時的に別のサイトへリダイレクトしたい時に使用します。検索エンジンは現在の状況が一時的な状態であると判断し、設定ドメインの URL とリダイレクト先のコンテンツを表示するようになります。 ・ フレーム転送 : HTML framset を使い、転送先アドレスのサイトのコンテンツを表示します。ウェブサイトの訪問者に表示されている URL は転送元ドメインの URL になります。

◆ホスティングタイプ「ウェブホスティングなし」

ウェブサービスを無効にすることができます。

「ウェブホスティングなし」を選択すると以下の画面となります。

The screenshot shows a web interface for configuring hosting settings. At the top, there is a green header with the text 'ユーザーツール » ウェブサービス' and a link 'ホームに戻る'. Below the header, there is a breadcrumb trail: 'ウェブサイトとドメイン' > 'sample01.sample-domain.jp' > 'ホスティング設定'. The main heading is 'ホスティングタイプを変更'. Below this, there is a paragraph of text: 'このサーバでウェブサイトホスティングするか（ウェブサイトホスティング）、別のサイトへのウェブ転送をセットアップするか（転送）、このドメイン名でメールボックスを持つためにドメイン DNS ソーンを使用するか（ホスティングなし）を選択できます。'. Underneath, there is a label 'ホスティングタイプ' followed by a dropdown menu currently showing 'ウェブホスティングなし'. At the bottom left, there is a note '* 必須フィールド'. At the bottom right, there are three buttons: 'OK', '適用する', and 'キャンセル'.

ウェブサイトのステータス

「ウェブサイトのステータス」を無効、一時停止、アクティブに設定ができます。ウェブサイトのステータスを変更する場合、[変更]をクリックします。

ユーザーツール » ウェブサービス « ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン > sample01.sample-domain.jp

sample01.sample-domain.jp ... のホスティング設定

ウェブサイトホスティングの設定を行い、サイトで使用可能な機能を選択します。

ドメイン名* .sample-domain.jp
ウェブサイトのドメイン名 (例: example.com)。

ホスティングタイプ [\[変更\]](#)

ウェブサイトのステータス **アクティブ** [\[変更\]](#)

ドキュメントルート*
ウェブサイトのホームディレクトリへのパス

「ウェブサイトステータスを変更」画面は、以下の構成になります。

ユーザーツール » ウェブサービス « ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン > sample01.sample-domain.jp > ホスティング設定

ウェブサイトステータスを変更

ウェブサイトのステータス

- 無効 (従来の「一時停止」)
今後、このウェブサイトはこのサーバ上でホスティングされなくなり、FTP クライアントとファイルマネージャ以外では使用不可となります。訪問者にはウェブサーバのデフォルトページが表示されます。メールサービスは使用できなくなります。
- 一時停止
訪問者は、検索エンジンフレンドリーな HTTP コード 503 でカスタムエラードキュメントページにリダイレクトされますが、ウェブサイトはサーバ上に残されます。このメールサービスは今後も使用できます。
- アクティブ**
ウェブサイトは通常どおりに機能します。

* 必須フィールド

ウェブサイトのステータス	<ul style="list-style-type: none"> ・無効：ウェブサイトの公開を停止し、FTP クライアントとファイルマネージャ以外では使用不可となります。ウェブサイト訪問者には「リクエストされたサイトは存在していません。設定直後の場合は、10分ほどお待ち頂いてからご確認下さい。」と表示されます。 ・一時停止：ウェブサイトの公開を停止し、「503 エラー」を表示します。 ・アクティブ：ウェブサイトは通常どおりに機能します。
--------------	--

また、本機能はウェブサービストップ画面からも設定変更することが可能です。

sample-domain.jp

ウェブサイト: httpdocs/ IP アドレス: 219.118.68.254 システムユーザ: sample-domain

ホスティング設定 開く プレビュー [説明](#)

サイトの説明

サイトに説明（メモ）を追加することができます。この説明は、「ウェブサイトとドメイン」画面でサイトの一覧に表示され外部には公開されません。作成後、説明の編集や削除も行うことができます。

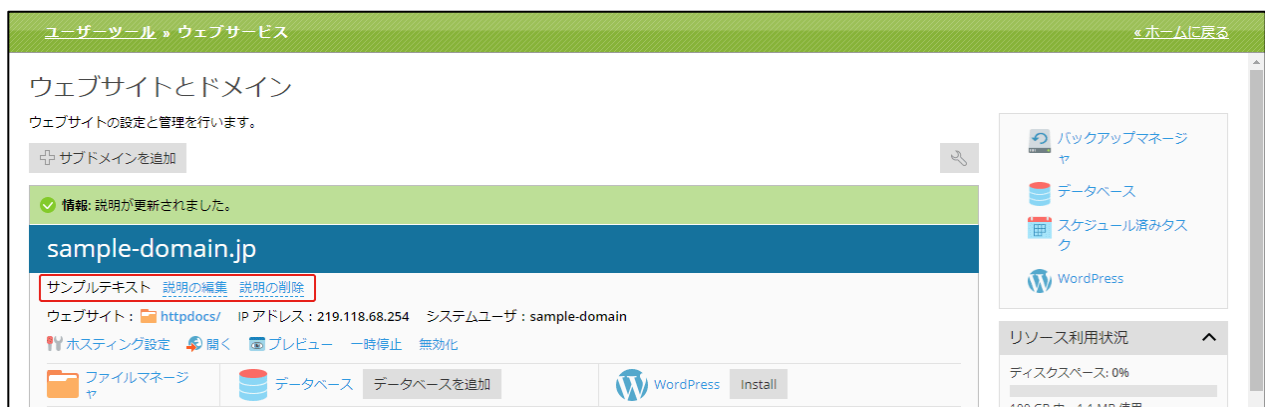
(1) サイトの説明を追加するには、サイト名の下に[説明]をクリックします。



(2) テキストボックスに説明を入力し、[OK]をクリックします。
作成をやめる場合は[キャンセル]をクリックします。

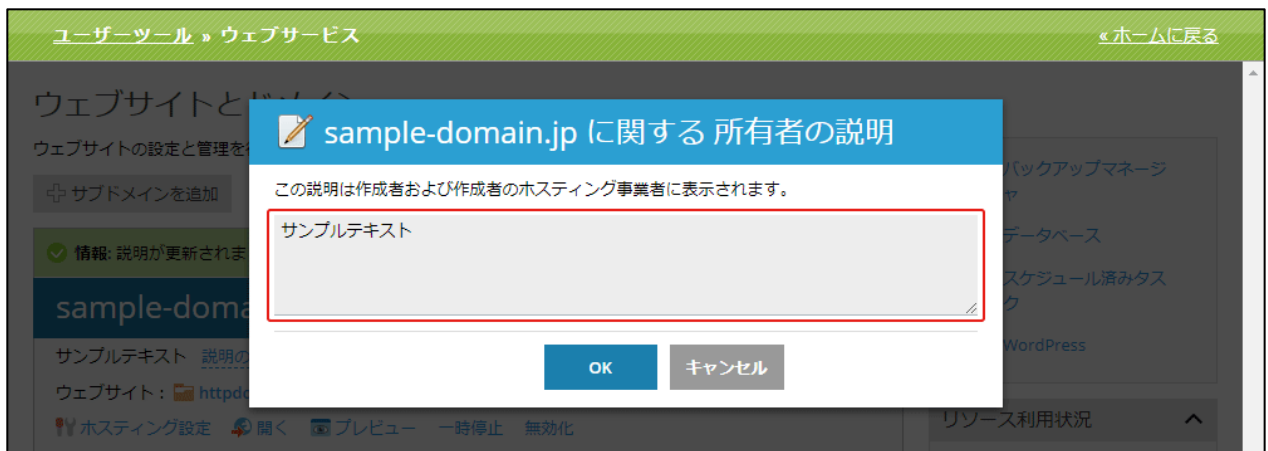


(2) 登録が完了すると、サイトの説明、および [説明の編集]、[説明の削除] が追加されます。



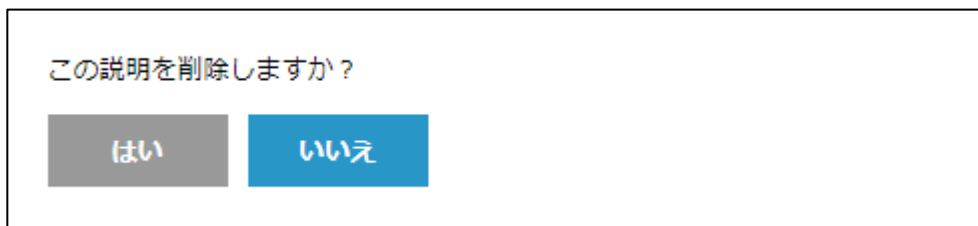
サイトの説明を編集

- (1) 説明の編集を行う場合は、**【説明の編集】** をクリックして編集します。
- (2) テキストボックスの内容を編集し、変更する場合は**【OK】**、変更をやめる場合は**【キャンセル】**をクリックします。



サイトの説明を削除

- (1) 説明を削除する場合は **【説明の削除】** をクリックします。
- (2) 確認メッセージが表示されます。
削除する場合は**【はい】**、削除をやめる場合は**【いいえ】**をクリックします。



ウェブホスティングアクセス

FTP、SSH 接続、アクセス解析（AWstats 等）のユーザー認証等に使用するための、ユーザー名の確認や、パスワードの変更等が行えます。

(1) [ウェブホスティングアクセス]をクリックします。

The screenshot displays the 'ユーザーツール > ウェブサービス' (User Tools > Web Services) page. The main heading is 'ウェブサイトとドメイン' (Websites and Domains) with the subtext 'ウェブサイトの設定と管理を行います。' (Configure and manage websites). A 'サブドメインを追加' (Add subdomain) button is visible. The selected domain is 'sample-domain.jp'. Below this, there are links for 'ウェブサイト' (Website), 'ホスティング設定' (Hosting settings), '開く' (Open), 'プレビュー' (Preview), '一時停止' (Suspend), '無効化' (Deactivate), and '説明' (Help). A row of tools includes 'ファイルマネージャ' (File manager), 'データベース' (Database), 'データベースを追加' (Add database), and 'WordPress Install'. A '閉じる' (Close) button is also present. The main content area features a grid of icons for various services: 'ウェブホスティングアクセス' (highlighted with a red box), 'FTP アクセス', 'ホスティング設定', 'Let's Encrypt', 'PHP 設定' (PHP version: 7.1.9), 'Apache と nginx の設定', 'アプリケーション', 'ファイルマネージャ', 'ウェブ統計', 'ウェブ統計 SSL/TLS', 'Whois 情報', 'SSL/TLS 証明書', 'ウェブアプリケーションファイアウォール', 'パスワード保護ディレクトリ', 'ウェブサイトコピー', and 'ログ'. On the right side, there are panels for 'バックアップマネージャ' (Backup manager), 'データベース', 'スケジュール済みタスク', 'WordPress', and 'リソース利用状況' (Resource usage) showing disk space (0% used) and traffic (0% used).

(2) [ウェブホスティングアクセス]画面は、以下の3つの部分から構成されています。

ユーザーツール » ウェブサービス < ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン > sample-domain.jp

sample-domain.jp のウェブホスティングアクセス

契約に関連付けられた IP アドレスを参照したり、システムユーザアカウントのユーザ名とパスワードを変更できます。

IP アドレス (1)

IP アドレス 219.118.68.254

システムユーザ (2)

FTP または ファイルマネージャを使用して契約内のファイルとフォルダを管理するためのシステムユーザを指定します。このシステムユーザは、SSH 経由 (Linux) または RDP 経由 (Windows) で Plesk にアクセスする際にも使用されます (必要なパーミッションが付与されている必要があります)。

ユーザ名 * sample-domain

パスワード

パスワードの確認

SSH 経由のサーバアクセス /bin/bash (chrooted) ▼

システムユーザのクレデンシャルを使用して SSH 経由でサーバにアクセスします。

ディスクスペースのハードクォータ (3)

ディスクスペースのハードクォータとは、使用可能なディスクスペースの上限です。ハードクォータが設定されている場合、割り当てられたディスクスペースを使い切ると、ファイル操作ができなくなります。

ディスクスペースのハードクォータ 1024 MB

これらの設定を適用するウェブサイト

以下のウェブサイトが現在のシステムユーザと紐付けられています。このページでウェブホスティングアクセス設定を変更すると、これらすべてのウェブサイトにも適用されます。

sample01.sample-domain.jp
sample-domain.jp

* 必須フィールド

(1)	<p>ご利用いただいているウェブサーバの IP アドレスが表示されます。</p> <p>※メールサーバーは別 IP アドレスとなります。</p>
(2)	<p>「ユーザ名」：ご契約に1つ割り当てられているシステムユーザ名を表示します。</p> <p>※本ホスティングサービスでは、お客様のサイトの CGI や PHP、タスクスケジュール、ウェブ統計の認証などはこのシステムユーザの権限で実行されます。</p> <p>※ユーザー名は変更できません。</p> <p>「パスワード」：新しいパスワードを入力します。</p> <p>※特殊文字 (!、@、#、\$、%、^、&、*、?、_、~ など) を2つ以上使用しますとパスワードのセキュリティを強化できます。</p> <p>[生成]：パスワードを自動で生成します。</p> <p>[表示]：入力したパスワードを表示したい時に使用します。</p> <p>「パスワードの確認」：確認のためにもう一度パスワードを入力します。</p> <p>「SSH 経由のサーバアクセス」：SSH 接続の可否を選択できます。</p> <p>[Forbidden]：SSH 接続を許可しません。</p> <p>[bin/bush(chrooted)]：SSH 接続を許可します。</p>
(3)	<p>このシステムユーザに紐付けられたすべてのドメインを表示します。</p> <p>※このページでウェブホスティングアクセス設定を変更すると、表示されているすべてのドメインに適用されます。</p>

FTP アクセス

FTP アカウントの新規作成や削除など、FTP アカウントを管理する画面です。

他のユーザーと共同作業を行う、他のユーザーにサブドメイン使用させる場合など、個別の FTP アカウントを作成することができます。

(1) [FTP アクセス]をクリックします。

The screenshot displays the 'ユーザーツール >> ウェブサービス' (User Tools >> Web Services) interface. The main heading is 'ウェブサイトとドメイン' (Website and Domain). Below this, there's a sub-heading 'ウェブサイトの設定と管理を行います。' (Configure and manage your website). A button 'サブドメインを追加' (Add subdomain) is visible. The main content area is for 'sample-domain.jp'. It shows website details: 'ウェブサイト: httpdocs/ IPアドレス: 219.118.68.254 システムユーザ: sample-domain'. There are several action buttons: 'ホスティング設定', '開く', 'プレビュー', '一時停止', '無効化', '説明'. Below these are icons for 'ファイルマネージャ', 'データベース', 'データベースを追加', and 'WordPress Install'. A '閉じる' (Close) button is also present. The main content area is divided into a grid of service tiles. The 'FTP アクセス' tile is highlighted with a red box. Other tiles include 'ウェブホスティングアクセス', 'Let's Encrypt', 'アプリケーション', 'ウェブ統計 SSL/TLS', 'ウェブアプリケーションファイアウォール', 'ログ', 'PHP 設定', 'ファイルマネージャ', 'Whois 情報', 'パスワード保護ディレクトリ', 'ホスティング設定', 'Apache と nginx の設定', 'ウェブ統計', 'SSL/TLS 証明書', and 'ウェブサイトコピー'. On the right sidebar, there's a 'リソース利用状況' (Resource Usage) section showing 'ディスクスペース: 0%' (Disk space: 0%) and '100 GB 中、114.1 MB 使用' (114.1 MB used of 100 GB), and 'トラフィック: 0%' (Traffic: 0%) and '無制限 中、0 MB/月 使用' (Unlimited, 0 MB/month used). A link '詳細な統計情報を表示' (Show detailed statistics) is also present.

(2) 「FTP アクセス」画面は、以下の3つの部分から構成されています。


(1)	<p>[FTP アカウントを追加] : 追加の FTP アカウントを作成できます。</p> <p>[削除] : 不要な FTP アカウントを削除できます。</p> <p>※契約のメイン FTP アカウント (システムユーザ) は削除できません。</p>
(2)	設定された FTP アカウントを検索できます。
(3)	<p>設定された FTP アカウントを表示します。</p> <p>「T」: FTP アカウントの種類を示すアイコンです。</p> <p>「契約オーナーの FTP アカウント」か「追加 FTP アカウント」かを区別出来ます。</p> <p>「名前」: FTP アカウント名が表示されます。クリックすると、該当 FTP アカウントの設定画面へ遷移します。</p> <p>「ホーム」: FTP アカウントのホームディレクトリを表示します。</p>

FTP アカウント作成

(1) 「FTP アクセス」画面で、[FTP アカウントを追加]をクリックします。

(2) 「FTP アカウントを追加」 画面は以下の構成となります。

The screenshot shows the 'Add FTP Account' form within the 'ユーザーツール > ウェブサービス' section. The breadcrumb trail is 'ウェブサイトとドメイン > sample-domain.jp > FTP アカウント'. The form title is '追加 FTP アカウントを追加'. Below the title is a brief instruction: '自社のウェブサイトで他のユーザと共同作業したり、他のユーザにサブドメインをホスティングする場合、他のユーザのために個別の FTP アカウントを作成すると便利です。' The form is divided into a '全般' (General) section, which is highlighted with a red box. This section contains four required fields: 'FTP アカウント名 *', 'ホームディレクトリ *' (with a folder icon), '新規パスワード *' (with '生成' and '表示' buttons), and 'パスワードの確認 *'. At the bottom of the form are 'OK' and 'キャンセル' buttons, and a note '* 必須フィールド'.

FTP アカウント名	任意の FTP アカウント名を入力します。
ホームディレクトリ	作成する FTP アカウントで接続可能なトップディレクトリを「  」をクリックして選択できます。 ※複数フォルダの選択はできません。
新規パスワード	パスワードを入力します。 [生成]：パスワードを自動で生成します。 [表示]：入力したパスワードを表示したい時に使用します。
パスワードの確認	確認のため、もう一度パスワードを入力してください。

※FTP アカウントが正常に作成されると下記のように表示されます。

The screenshot shows the 'sample-domain.jp の FTP アカウント' page. At the top, there is a green message box with a checkmark icon and the text: '情報: 追加 FTP アカウントが正常に作成されました。' Below this, the page title is 'sample-domain.jp の FTP アカウント'. There is a sub-header 'FTP アカウントを新規作成または管理します。' and two buttons: 'FTP アカウントを追加' and '削除'. A search bar is also present. The main content area shows a list of FTP accounts. The first entry is 'sample01' with the home directory '/sample01.sample-domain.jp', which is highlighted with a red box. The page indicates '全 2 件' items and 'ページあたりのエントリ数: 10 25 100 すべて'.

追加 FTP アカウントのプロパティ変更

FTP アカウント名、ホームディレクトリ、パスワードの変更が行えます。

※契約メインの FTP アカウントの場合は、「ウェブホスティングアクセス」画面と同様の画面となります。

(1) 「FTP アクセス」画面の FTP アカウント一覧から必要な FTP アカウント名をクリックします。

ユーザーツール » ウェブサービス ◀ ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン > sample-domain.jp

sample-domain.jp の FTP アカウント

✓ 情報: 追加 FTP アカウントが正常に作成されました。

FTP アカウントを新規作成または管理します。

全 2 件 ページあたりのエントリ数: 10 25 100 すべて

<input type="checkbox"/>	T 名前 ▲	ホーム
<input type="checkbox"/>	sample-domain	/
<input type="checkbox"/>	sample01	/sample01.sample-domain.jp

全 2 件 ページあたりのエントリ数: 10 25 100 すべて

(2) FTP アカウントの設定画面へ遷移します。
必要な変更を行い、**[OK]**をクリックします。

ユーザーツール » ウェブサービス ◀ ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン > sample-domain.jp > FTP アカウント

sample01

自社のウェブサイトで他のユーザと共同作業したり、他のユーザにサブドメインをホスティングする場合、他のユーザのために個別の FTP アカウントを作成すると便利です。

全般

FTP アカウント名 *

ホームディレクトリ *

新規パスワード

パスワードの確認

* 必須フィールド

追加 FTP アカウントの削除

不要になった FTP アカウントを削除できます。

- (1) 「FTP アクセス」画面の FTP アカウント一覧から、削除したい FTP アカウント名にチェックを入れて、**[削除]**をクリックします。**※契約のメイン FTP アカウントは削除できません。**

ユーザーツール » ウェブサービス « ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン sample-domain.jp

sample-domain.jp の FTP アカウント

FTP アカウントを新規作成または管理します。

全 2 件 ページあたりのエントリ数: 10 25 100 すべて

<input type="checkbox"/>	T	名前 ^	ホーム
<input type="checkbox"/>		sample-domain	/
<input checked="" type="checkbox"/>		sample01	/sample01.sample-domain.jp

全 2 件 ページあたりのエントリ数: 10 25 100 すべて

- (2) 確認メッセージが表示されます。
削除する場合は**[はい]**、削除をやめる場合は**[いいえ]**をクリックします。

選択した FTP アカウントを削除しますか？

PHP 設定

ウェブサイトの PHP 構成が表示されます。

- (1) [PHP 設定] をクリックします。

The screenshot displays the 'ユーザーツール > ウェブサービス' (User Tools > Web Services) interface. The main heading is 'ウェブサイトとドメイン' (Website and Domain) for 'sample-domain.jp'. Below the heading, there are navigation options: 'サブドメインを追加' (Add Subdomain), 'ウェブサイト: httpdocs/' (Website: httpdocs/), 'IP アドレス: 219.118.68.254' (IP Address: 219.118.68.254), and 'システムユーザ: sample-domain' (System User: sample-domain). A row of icons includes 'ホスティング設定' (Hosting Settings), '開く' (Open), 'プレビュー' (Preview), '一時停止' (Pause), '無効化' (Disable), and '説明' (Help). Below this, there are buttons for 'ファイルマネージャ' (File Manager), 'データベース' (Database), 'データベースを追加' (Add Database), and 'WordPress Install'. A grid of service icons is shown, with 'PHP 設定' (PHP Settings) highlighted by a red box. The 'PHP 設定' icon shows 'PHP バージョン: 7.1.9'. Other icons include 'ウェブホスティングアクセス', 'FTP アクセス', 'ホスティング設定', 'Let's Encrypt', 'Apache と nginx の設定', 'アプリケーション', 'ファイルマネージャ', 'ウェブ統計', 'ウェブ統計 SSL/TLS', 'Whois 情報', 'SSL/TLS 証明書', 'ウェブアプリケーションファイアウォール', 'パスワード保護ディレクトリ', 'ウェブサイトコピー', and 'ログ'. On the right side, there is a 'リソース利用状況' (Resource Usage) section showing 'ディスクスペース: 0%' (Disk Space: 0%), '100 GB 中、114.1 MB 使用' (100 GB total, 114.1 MB used), and 'トラフィック: 0%' (Traffic: 0%).

(2) [PHP 設定]画面は、以下の 2 つの部分から構成されています。

ユーザーツール » ウェブサービス
« ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン sample-domain.jp

sample-domain.jp ... の PHP 設定

このページには、ウェブサイトの PHP 構成が表示されます。これらの設定はウェブサイトに固有であり、契約の他のウェブサイトには影響を与えません。ホスティング事業者から該当するパーミッションが付与されていれば、PHP 構成を変更することができます。カスタム PHP 構成を使用することによって、PHP スクリプトによるシステムリソースの消費を抑えたり、特定のウェブアプリケーションの要件に対応することなどができます。パラメータの値をデフォルトに設定すると、PHP はサーバ全体の PHP 構成からパラメータ値を使用します。

パラメータ値には以下のプレースホルダを使用できます。

- {DOCR00T}：ウェブサイトのドキュメントルートディレクトリ。現在の値は /var/www/vhosts/sample-domain.jp/httpdocs です。HTTPS ドキュメントルートディレクトリは http と同じです。
- {WEBSpaceROOT}：契約のプライマリウェブサイトのドキュメントルートディレクトリ。
- {TMP}：一時ファイルを保存するディレクトリ。

PHP サポート (PHP バージョン 7.1.9 ▼, PHP の実行タイプ FastCGI アプリケーション ▼) phpinfo() ページを表示

以下は、ウェブサイトの PHP 構成の詳細です。ホスティング事業者から該当するパーミッションが付与されていれば、PHP 構成を変更することができます。

(1)

最も適切な PHP 設定を選択する方法について

パフォーマンス設定

memory_limit	256M
max_execution_time	60
max_input_time	60 (デフォルト)
post_max_size	128M
upload_max_filesize	128M
opcache.enable	on (デフォルト)

共通設定

include_path ? ../opt/plesk/php/7.1/share/pear (デフォルト) ▼
スクリプトがファイルを探すディレクトリのリスト (システムの PATH 変数と同じフォーマットにします)。ディレクトリを区切るには、Linux ではコロン (:)、Windows ではセミコロン (;) を使用します。

session.save_path ? /var/lib/php/sessions (デフォルト) ▼
PHP セッションファイルを保存するディレクトリです。

mail.force_extra_parameters ? ▼
mail() 関数の追加パラメータです。

open_basedir ? {WEBSpaceROOT}{/}{TMP}{/}{/var/www} ▼ [デフォルトにリセット](#)
PHP スクリプトからアクセスできるファイルを、指定したディレクトリ内のファイルに限定します。ディレクトリを区切るには、Linux ではコロン (:)、Windows ではセミコロン (;) を使用します。

error_reporting ? E_ALL & ~E_NOTICE ▼ [デフォルトにリセット](#)
エラーレポートのレベルを指定します。

display_errors ? off (デフォルト) ▼
エラーを出力に含めるかどうかを決定します。

log_errors ? on (デフォルト) ▼
PHP エラーをログに記録するかどうかを指定します。

allow_url_fopen ? on (デフォルト) ▼
PHP ファイル関数を使用してリモートロケーションから FTP または HTTP 経由でデータを取得することを許可します。


file_uploads ? on (デフォルト) ▼
HTTP 経由のファイルアップロードを許可します。

short_open_tag ? off (デフォルト) ▼
PHP タグの短縮型 (<?>) を許可します。

(2)

* 必須フィールド

OK
適用する
キャンセル

(1)	<p>「PHP サポート」: PHP サポートを有効にする場合にチェックを入れます。</p> <p>「PHP バージョン」: 利用する PHP バージョンを選択します。</p> <p>※設定した PHP バージョンと利用する PHP アプリケーションのバージョンが異なる場合、正しく機能しない場合があります。</p> <p>「PHP の実行タイプ」: FastCGI アプリケーション/FPM アプリケーションから選択します。</p> <p>※詳しい知識がない場合は、デフォルトの「Fast CGI アプリケーション」をご利用下さい。</p> <p>[ phpinfo() ページを表示] : 現在構成されている PHP 環境の詳細な設定情報を表示します。</p> <p>[最も適切な PHP 設定を選択する方法について] : 別サイトにある PHP マニュアルに遷移します。</p> <p>※外部サイトへのリンクとなっており、提供していない機能の説明も含まれています。</p>
(2)	<p>PHP の詳細な設定が行えます。</p> <p>※PHP に詳しい方のみ設定してください。</p>

Apache と nginx の設定

(ご契約のサービスでは nginx のウェブサーバは提供していません)

(1) [Apache と nginx の設定] をクリックします。




ユーザーツール » ウェブサービス ◀ ホームに戻る




ウェブサイトとドメイン

ウェブサイトの設定と管理を行います。

サブドメインを追加

sample-domain.jp


ウェブサイト:  httpdocs/ IP アドレス: 219.118.68.254 システムユーザ: sample-domain


 ホスティング設定  開く  プレビュー  一時停止  無効化  説明

 ファイルマネージャ  データベース  データベースを追加  WordPress  Install



↑ 閉じる

 ウェブホスティングアクセス
  FTP アクセス
  ホスティング設定

 Let's Encrypt
  PHP 設定
PHP バージョン: 7.1.9
  Apache と nginx の設定

 アプリケーション
  ファイルマネージャ
  ウェブ統計

 ウェブ統計 SSL/TLS
  Whois 情報
  SSL/TLS 証明書

 ウェブアプリケーションファイアウォール
  パスワード保護ディレクトリ
  ウェブサイトコピー

 ログ


リソース利用状況 ^

ディスクスペース: 0%

100 GB 中、114.1 MB 使用

トラフィック: 0%

無制限 中、0 MB/月 使用

 詳細な統計情報を表示

(2) 「Apache と nginx の設定」画面は、以下の構成となります。

※ここでの設定は、「.htaccess」ではなく、httpd.conf 内に設定されます。

ユーザーツール » ウェブサービス
◀ ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン sample-domain.jp

sample-domain.jp ... の Apache および nginx の設定

このウェブサイトの Apache ウェブサーバ設定を指定することができます。カスタム Apache 構成は、ウェブサイトのインデックスファイルに新しいファイルタイプを使用したい場合や、特定のファイル名拡張子と特定の MIME タイプを関連付けたい場合に便利です。デフォルト値にすると、Apache はサーバ全体の構成に定義されたディレクティブを使用します。Apache のフロントエンドサーバとして nginx を使用している場合、このページで nginx 設定も指定することができます。

Apache 共通設定

MIME タイプ	<input checked="" type="radio"/> デフォルト <input type="radio"/> カスタム値を入力
ハンドラ	<input checked="" type="radio"/> デフォルト <input type="radio"/> カスタム値を入力
サイトへのアクセスを拒否	<input checked="" type="radio"/> デフォルト <input type="radio"/> カスタム値を入力
インデックスファイル	<input checked="" type="radio"/> デフォルト <input type="radio"/> カスタム値を入力
Expires	<input checked="" type="radio"/> デフォルト <input type="radio"/> カスタム値を入力
Additional headers	<input checked="" type="radio"/> デフォルト <input type="radio"/> カスタム値を入力

シンボリックリンクのフォローを制限する
このオプションをオンにすると、ユーザが FollowSymLink ディレクティブを .htaccess で使用することが禁止され、サーバのセキュリティが強化されます。

* 必須フィールド

OK
適用する
キャンセル

MIME タイプ	<p>ファイルの拡張子とファイルタイプを関連付ける機能です。通常は、一般的なファイルタイプ用にカスタムファイル拡張子を作成するために使用されます。</p> <p>[デフォルト値] 「付録 1 : MIME タイプのデフォルト設定」を参照</p> <p>[カスタム値の入力例] text/plain .txt image/jpeg .jpeg</p> <p>※ここに記載の入力例は既にデフォルト値で設定済み項目です。</p>
ハンドラ	<p>Apache ハンドラは、特定の拡張子のファイルが要求された場合にウェブサーバがファイルをどのように処理するかを定義するために使用します。</p> <p>[カスタム値の入力例] php-script .script</p> <p>※上記は*.script というファイルは php スクリプトとして処理する際の例です。</p>
サイトへのアクセスを拒否	<p>指定されたホストとネットワークに対して、このサイトへのアクセスを禁止できます。すべての接続を拒否するには「*」を使用します。</p> <p>※デフォルト値は空となります。</p>

	<p>[カスタム値の入力例]</p> <p>192.168.0.0/16</p> <p>10.1.1.21</p> <p>「除外」：指定したホストとネットワークは、サイトへのアクセスが許可されます。</p> <p>※その他のウェブサーバ設定と違い、[サイトへのアクセスを禁止] パラメータは、デフォルト構成で提供される IP アドレスのリストを上書きするのではなく、補足します。競合が発生する場合（デフォルト構成で禁止されているアドレスを許可する場合など）は、管理者が設定した値が優先されます。</p>
インデックスファイル	<p>サイトのインデックスページが要求された場合、ここで設定されたファイルを左から順に探して表示します。</p> <p>[デフォルト値]</p> <p>index.html index.cgi index.pl index.php index.xhtml index.htm index.shtml</p> <p>[カスタム値の入力例]</p> <p>index.htm default.htm top.html</p>
シンボリックリンクのフォローを制限する	<p>このオプションにチェックを入れた場合、ディレクトリリスティングを.htaccess で制御させないように設定し、セキュリティが強化されます。</p>

※カスタム値で入力した値はデフォルト値よりも優先されます。

アプリケーション

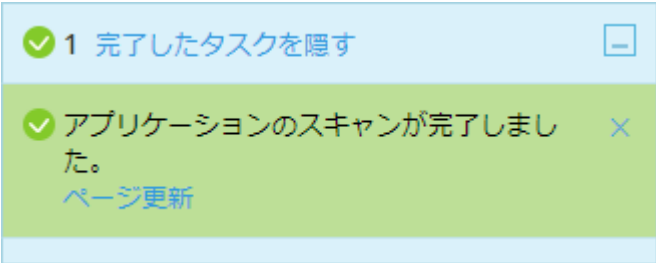


アプリケーションは、ウェブサイトインストールされたアプリケーションの管理や、アプリケーションのインストールができます。

(1) [アプリケーション]をクリックします。



(2) 「アプリケーション」画面は、以下2つの部分から構成されています。



(1)	<p>各コンテンツを表示するためのメニューです。</p> <p>[マイ・アプリケーションを管理]：ウェブサイトにインストールされたアプリケーションを管理します。</p> <p>[注目のアプリケーション]：推奨アプリケーションや人気のアプリケーションの表示、インストールができます。</p> <p>[すべてのアプリケーション]：提供しているすべてのアプリケーションの表示、インストールができます。</p>
(2)	<p>(1)のメニューで選択されたコンテンツを表示します。</p> <p>「マイ・アプリケーションを管理」画面では、インストールしたアプリケーションのスキャンが行えます。</p> <p>[スキャン]：「WordPress」等のアプリケーションを手動でインストール、または別サイトへコピーをした際には「マイ・アプリケーション」に表示されません。その際に「スキャン」を行う事によりここで一覧管理できる様になります。</p> <div data-bbox="252 786 911 1048" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  </div> <p>[完了したタスクを隠す] ポップアップ画面を閉じます。</p> <p>[ページ更新] ページを更新します。</p> <p>「」：ポップアップを縮小化します。</p> <p>「」：スキャン情報を閉じます。</p>

対応アプリケーションの種類

WordPress：オープンソースのブログ／CMSプラットフォームです。個人ブログ、企業サイト、公共機関のサイトなど、多方面にわたるウェブサイトで利用されています。

アプリケーションのインストール

ウェブアプリケーションをインストールしてサイトを作成します。

※WordPress のインストール方法につきましては、[WordPress のインストール]をご確認ください。

インストールは「注目のアプリケーション」から選んでインストールするか「すべてのアプリケーション」から選択してインストールしてください。

インストール方法には3通りあり、以下のいずれかの方法でアプリケーションをインストールします。

◆インストール：アプリケーションを簡単にインストールできます。

この方法を選択すると、選択したアプリケーションの最新バージョンが一般的な構成でサイトのトップコンテンツとしてインストールされます。アプリケーション設定はデフォルト値を使用し、インストールします。

◆カスタムインストール：全てのパラメータをカスタマイズして、最新バージョンのアプリケーションをインストールします。サイトのサブディレクトリにインストールしたい場合はこのカスタムインストールをお選び下さい。

◆インストールバージョン：特定のバージョンのアプリケーションをインストールしなければならない場合は、全てのパラメータをカスタマイズして、選択されたバージョンのアプリケーションをインストールします。

(1) インストール希望のアプリケーションが[注目のアプリケーション]に表示されていない場合は[すべてのアプリケーション]をクリックします。

ユーザーツール > ウェブサービス ホームに戻る

アプリケーション > sample-domain.jp

sample-domain.jp のアプリケーション

マイ・アプリケーションを管理
ウェブサイトにインストールされたアプリケーションを管理します。

注目のアプリケーション
お勧めのアプリケーションや人気のアプリケーションをご紹介します。

すべてのアプリケーション
無料アプリケーションと有料アプリケーションを参照してインストールすることができます。APS フォーマットでパッケージされたアプリケーションは数クリックで簡単にウェブサイトにインストールできます。

カテゴリを選択することも、検索ボックスでアプリケーションを検索することもできます。

アプリケーション パッケージャ ライセンスタイプ

すべて ▼ 検索 検索結果をリセット

ウェブ (3)
ブログ (1), E-コマース (2)

(2) 「すべてのアプリケーション」画面は、以下の3つの部分から構成されています。



(1)	検索ボックス：アプリケーションの検索ができます。
(2)	<p>インストールしたいアプリケーションの詳細検索ができます。</p> <p>「アプリケーション」：アプリケーションの名称で検索できます。</p> <p>「パッケージ」：パッケージ製作者の名称で検索できます。(例：parallels, plesk)</p> <p>「ライセンスタイプ」：無料もしくは有料アプリケーションを検索できます。</p> <p>[検索]：入力された内容で検索を行います。</p> <p>[検索結果をリセット]：検索内容をリセットします。</p>
(3)	インストール可能なアプリケーションを表示、インストールが行えます。

インストールしたいアプリケーションを、[インストール]を押してインストールを行うか、[インストール (カスタム)]を押してカスタムインストールを行うか、[インストールバージョン]で必要なバージョンを選びインストールを行います。

※WordPress のインストール方法につきましては、[WordPress のインストール]をご確認ください。

アプリケーションの削除

インストールしたアプリケーションの削除が行えます。

- (1) 「アプリケーション」の「マイ・アプリケーションを管理」画面を確認すると、インストールされているアプリケーションが表示されます。
削除したいアプリケーション横の[削除]をクリックします。

ユーザーツール » ウェブサービス « ホームに戻る

アプリケーション > sample-domain.jp

sample-domain.jp のアプリケーション

マイ・アプリケーションを管理
ウェブサイトにインストールされたアプリケーションを管理します。

注目のアプリケーション
お勧めのアプリケーションや人気のアプリケーションをご紹介します。

すべてのアプリケーション
無料アプリケーションと有料アプリケーションを参照してインストールすることができます。APS フォーマットでパッケージされたアプリケーションは数クリックで簡単にウェブサイトにインストールできます。

マイ・アプリケーション

以下のリストには、インストールされたすべてのアプリケーションに関する情報が含まれています。[インストールパス]列が「なし」になっている場合は外部アプリケーションを示します。外部アプリケーションをウェブサイトにインストールすることはできず、外部サービスへのリンクのみとなります。

🔍 スキャン

名前 ▲	インストールパス	削除
My CMS	http://sample-domain.jp	削除

名前	アプリケーション名を表示します。
インストールパス	インストールされているディレクトリを表示します。
削除	インストールしたアプリケーションを削除できます。

- (2) 確認メッセージが表示されます。
削除する場合は[はい]、削除をやめる場合は[いいえ]をクリックします。

アプリケーションを削除

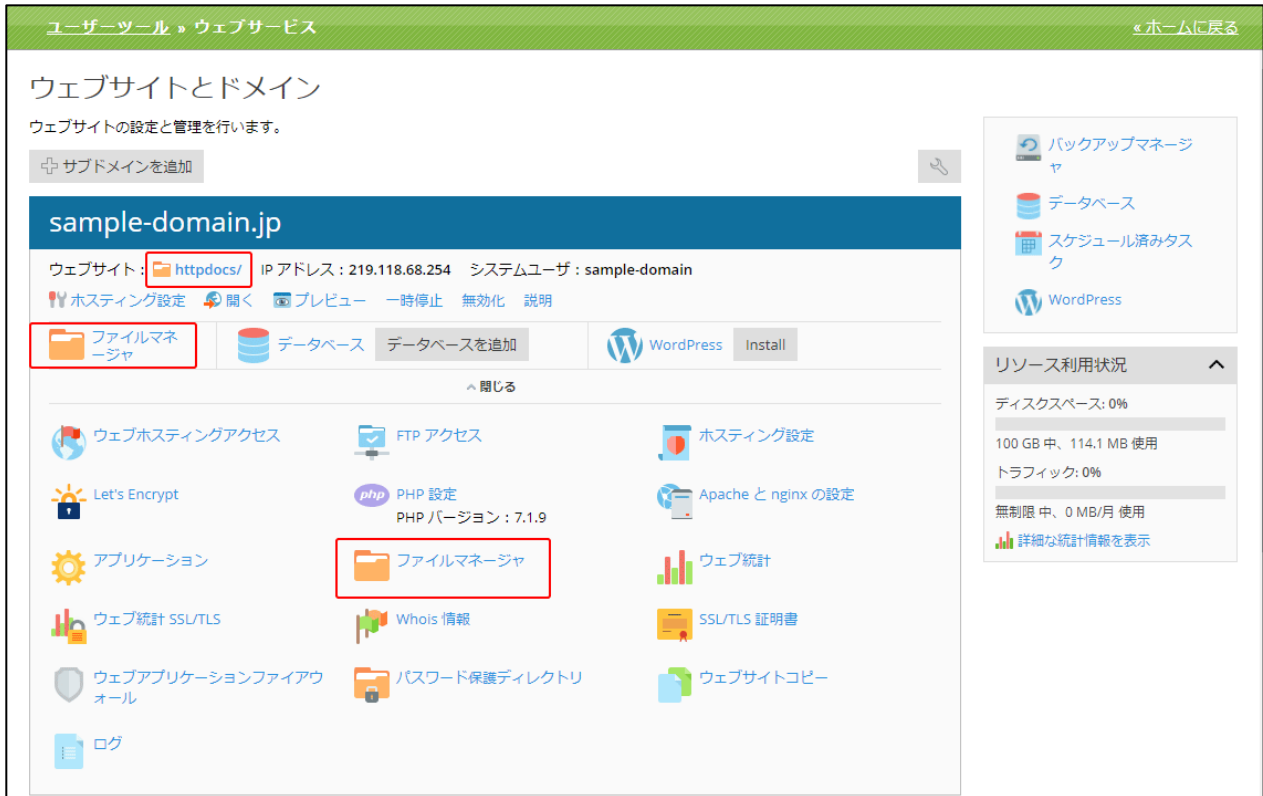
このアプリケーションを削除しますか？

はい いいえ

ファイルマネージャ

ファイル転送ソフト（FTP ソフト）を別途ご用意いただくことなく、新しいファイルの作成や削除、編集が行えます。


(1) [ファイルマネージャ]をクリックします。



※画面上部の「ウェブサイトの場所」からも、同様の操作が可能です。

(2) ファイルマネージャは、以下の3つの部分から構成されています。



(1)	<p>[httpdocs]ディレクトリには、主契約サイト(最初に登録されたドメイン)の外部公開されるファイルやディレクトリが格納されています。※公開されるウェブコンテンツはhttpdocs フォルダ内にアップロードしてください。</p> <p>[logs] ディレクトリには、エラーログやアクセスログなどが格納されます。</p> <p>※[sample01. sample-domain. jp]2 つ目に設定されたサブドメインは、こちらのサンプルの様に、ドメイン名のディレクトリが作成されます。</p> <p>※[httpdocs]ディレクトリと[logs]ディレクトリはデフォルトで設置されます。</p>
(2)	<p>[アップロード]：選択したディレクトリに対してファイルをアップロードします。</p> <p>[新規]：選択したディレクトリに[ファイルを作成]、または[ディレクトリを作成]します。</p> <p>[コピー]：選択したファイルを別のディレクトリにコピーします。</p> <p>[移動]：選択したファイルを別のディレクトリに移動します。</p> <p>[削除]：選択したファイルを削除します。</p> <p>[ファイルを展開]：選択したアーカイブ(zip ファイル)から、選択したディレクトリにファイルを展開します。</p> <p>[アーカイブに追加]：選択したファイルをアーカイブ化(zip ファイルに圧縮)します。</p> <p>[その他]：[サイズ計算]、または[タイムスタンプを変更]を選択できます。</p> <p>[設定]：ファイルマネージャの設定を変更します。</p>
(3)	<p>「名前」：ファイル名、ディレクトリ名が表示されます。</p> <p>「変更日」：それぞれのデータの変更日が表示されます。</p> <p>「サイズ」：ファイルのサイズが表示されます。</p> <p>「パーミッション」：ファイルやディレクトリごとにアクセス権の設定が変更できます。</p> <p>「ユーザ」：ディレクトリ、ファイルの所有者が表示されます。</p> <p>「グループ」：ディレクトリ、ファイルの所有グループが表示されます。</p> <p>「」：クリックすると、それぞれのデータに合わせたメニューが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ディレクトリの場合、[ブラウザで開く][名前変更][パーミッション変更]から選択できます。 ◆ソースの編集ができるファイルの場合、[コードエディタで編集][HTML エディタで編集][テキストエディタで編集] [ビュー] [ブラウザで開く][ダウンロード][名前変更] [パーミッション変更]から選択できます。 ◆ソースができないファイルの場合、[ブラウザで開く][名前変更][パーミッション変更]から選択できます。 <p>※各項目をクリックすると、それぞれクリックした項目順に並び替えを変更できます。</p>

ファイルのアップロード

選択したディレクトリにファイルのアップロードを行います。

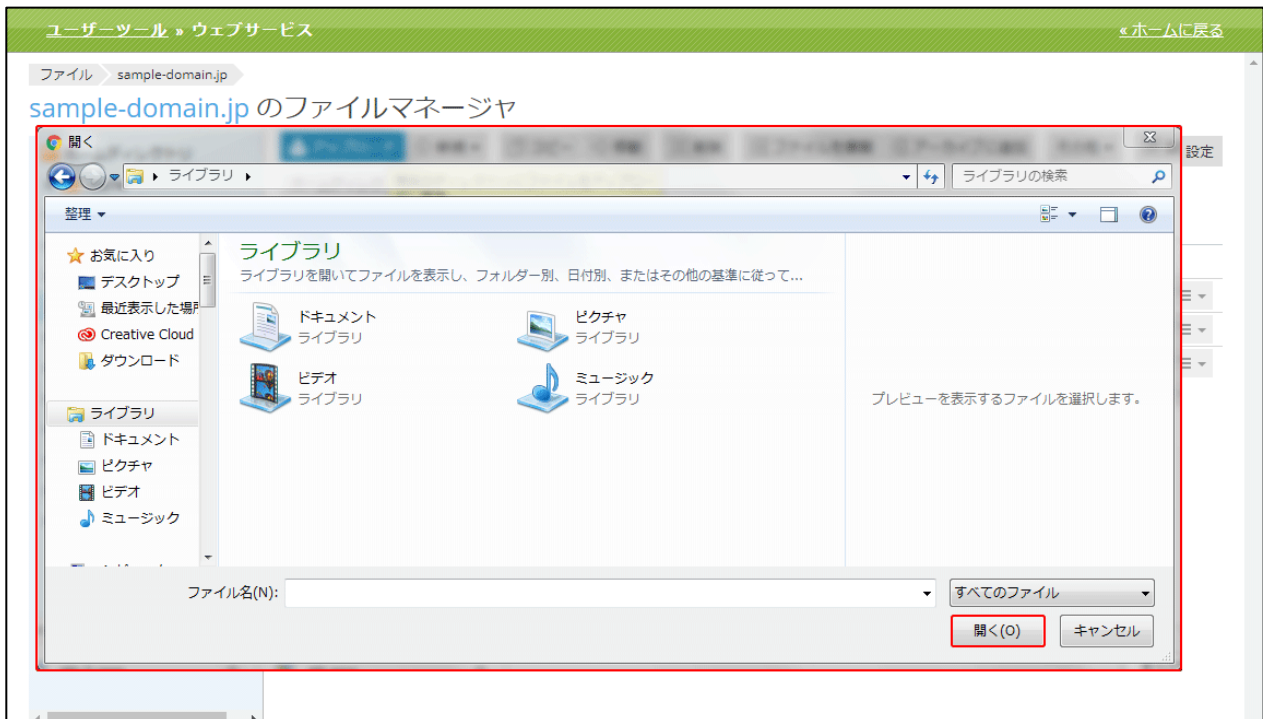
※同一名のファイルをアップロードすると確認画面の表示なくファイルが置き換わりますので、アップロードする際はご注意ください。

(1) ファイルをアップロードしたいディレクトリを選択して[アップロード]をクリックします。



(2) ファイルの選択画面が表示されます。

アップロードしたいファイルを選択し、[開く]をクリックします。



※ファイルを複数選択することも可能です。

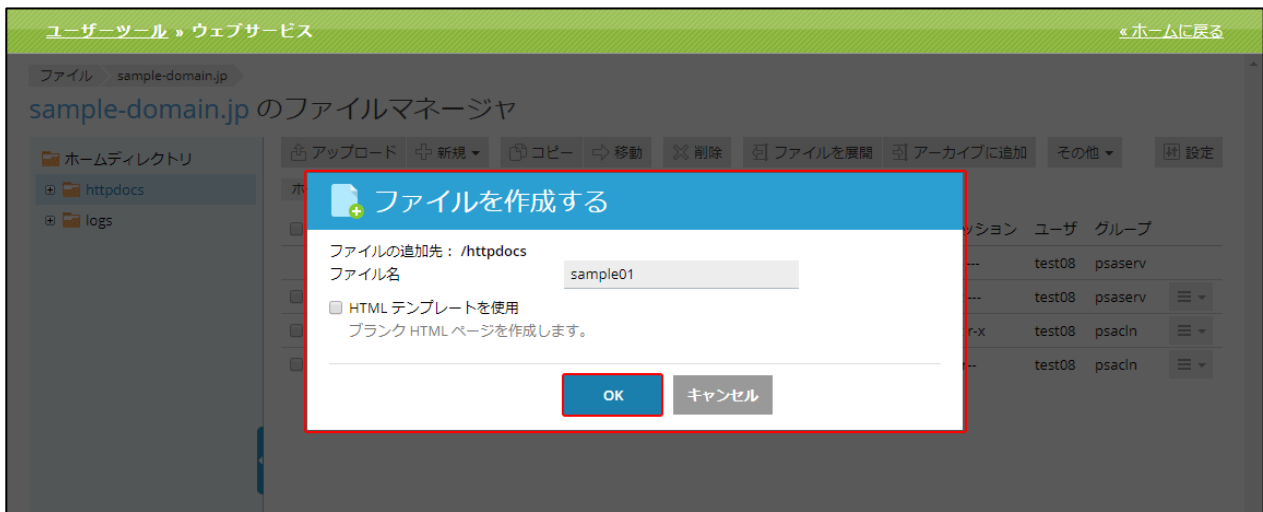
ファイルの作成

(1) ファイルマネージャ画面の[新規]より、[ファイルを作成]をクリックします。



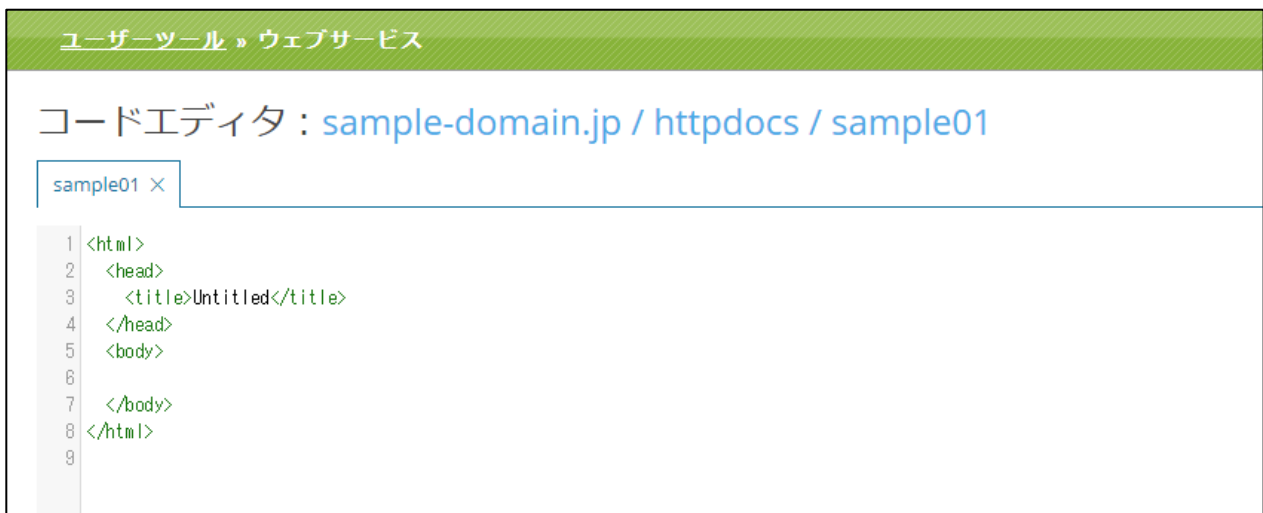
(2) ファイル名の欄に、追加したいファイル名を入力し、[OK]をクリックします。

作成をやめる場合は[キャンセル]をクリックします。



※既に同じ名前でファイルが作成されている場合は、エラーが表示されます。

「HTML テンプレートを使用」にチェックを入れると、下記のような最低限の HTML タグの入ったファイルが作成されます。



ディレクトリの作成

(1) ファイルマネージャ画面の[新規]より、[ディレクトリを作成]をクリックします。



(2) ディレクトリ名の欄に、追加したいディレクトリ名を入力し、[OK]をクリックします。
作成を取りやめる場合は[キャンセル]をクリックします。



※既に同じ名前ディレクトリが作成されている場合は、エラーが表示されます。

ファイルのコピー

選択したファイルを別のディレクトリにコピーできます。

(1) ファイルマネージャ画面でコピーしたいファイルにチェックを入れます。



(2) ファイルを選択後、[コピー]をクリックします。



(3) コピー先のディレクトリを指定し、[OK]をクリックしてください。

※コピー先に同一ファイル名のデータが存在し、既存のファイルと置換をする場合は、「既存ファイルを置換」にチェックを入れてください。



ファイルの移動

選択したファイルを別のディレクトリに移動できます。

(1) ファイルマネージャ画面で移動したいファイルにチェックを入れます。

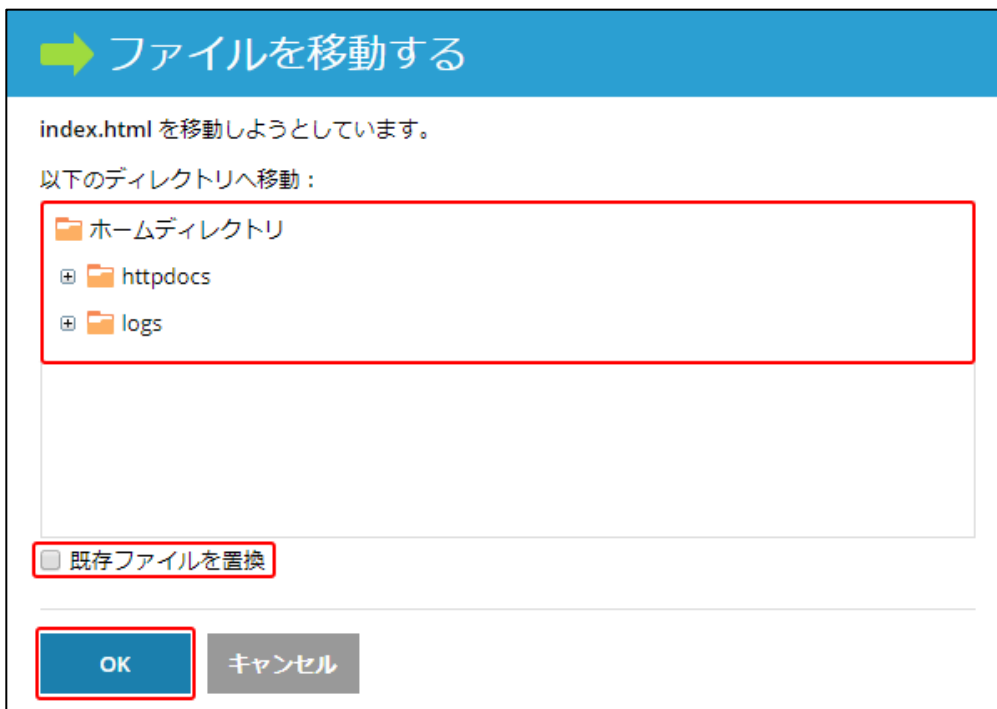


(2) ファイルを選択後、[移動]をクリックします。



(3) 移動先のディレクトリを指定し、[OK]をクリックしてください。

※移動先に同一ファイル名のデータが存在し、既存のファイルと置換をする場合は、「既存ファイルを置換」にチェックを入れてください。



ファイルの削除

選択したファイルを削除することができます。

(1) ファイルマネージャ画面で削除したいファイルにチェックを入れます。



(2) ファイルを選択後、[削除]をクリックします。



(3) ファイルを削除してよろしければ[はい]、
削除を行わない場合は[いいえ]ボタンをクリックします。

※一度削除しますと復元できませんのでご注意ください。



ファイルを展開

選択したアーカイブ(圧縮データ)を、現在のディレクトリに展開できます。

(1) ファイルマネージャ画面で展開したいファイルにチェックを入れます。



(2) ファイルを選択後、[ファイルを展開]をクリックします。



(3) ファイルを展開してよろしければ[OK]、

展開を行わない場合は[キャンセル]をクリックします。

※展開先に同一ファイル名のデータが存在し、既存のファイルと置換をする場合は、

「既存ファイルを置換」にチェックを入れてください。



アーカイブに追加

選択したファイルをアーカイブ（圧縮データ）にして同じディレクトリに追加することができます。

(1) ファイルマネージャ画面でアーカイブ（圧縮データ）にしたいファイルにチェックを入れます。



(2) ファイルを選択後、[アーカイブに追加]をクリックします。



(3) アーカイブファイル名の欄に、追加したいファイル名を入力し、[OK]をクリックします。
作成をやめる場合は[キャンセル]をクリックします。



ファイルとディレクトリのサイズ計算

選択したファイルやディレクトリのサイズを確認することができます。

(1) ファイルマネージャ画面でサイズを確認したいファイルにチェックを入れます。

1 つでも、複数でも選択可能です。



(2) ファイルを選択後、[その他]より、[サイズ計算]をクリックします。



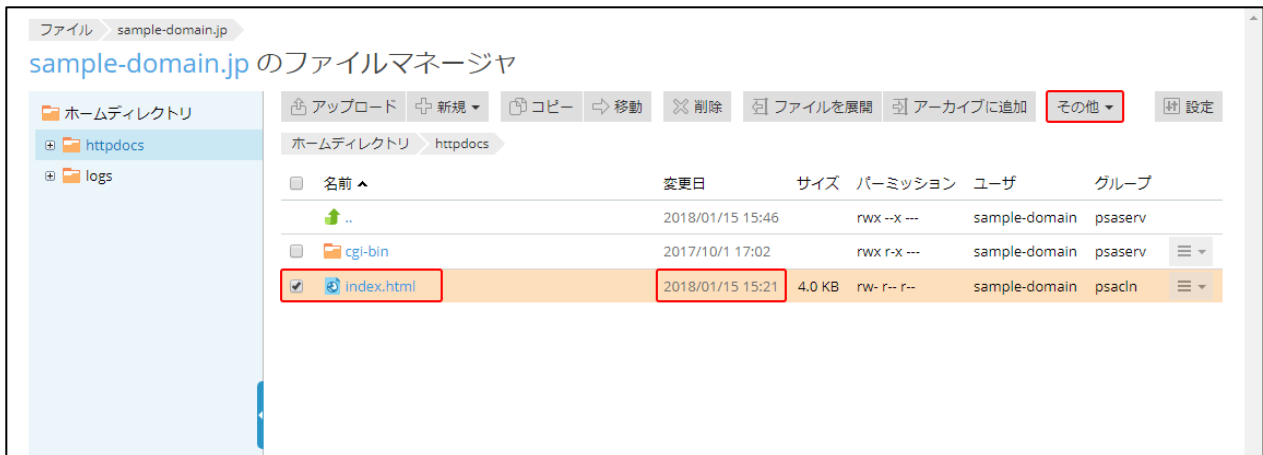
(3) サイズ計算後、選択したファイルのサイズ合計が表示されます。



ファイルのタイムスタンプを変更

ファイルの変更日を更新することができます。

(1) ファイルマネージャ画面でファイルの変更日を更新したいファイルにチェックを入れます。



(2) ファイルを選択後、[その他]より、[タイムスタンプを変更]をクリックします。



(3) クリックすると、変更日欄が現在の時刻に変更されます。



ファイルマネージャの設定

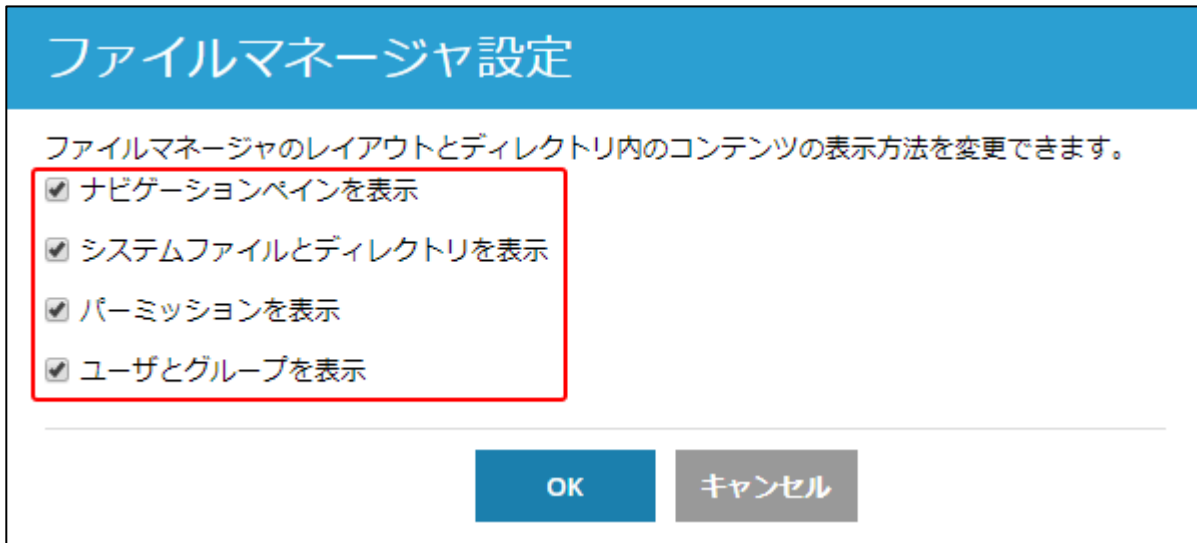
ファイルマネージャのレイアウトとディレクトリ内のコンテンツの表示方法を変更できます。

(1) ファイルマネージャ画面の**[設定]**をクリックします。



(2) 下記の設定画面が表示されます。

変更する場合は**[OK]**、変更をやめる場合は**[キャンセル]**ボタンをクリックします。



上記箇所はそれぞれ下記の通りです。



※「システムファイルとディレクトリを表示」:「.(ドット)」で始まるファイルとディレクトリの表示/非表示が切り替えられます。切り替えを反映させるには更新してください。

ウェブ統計

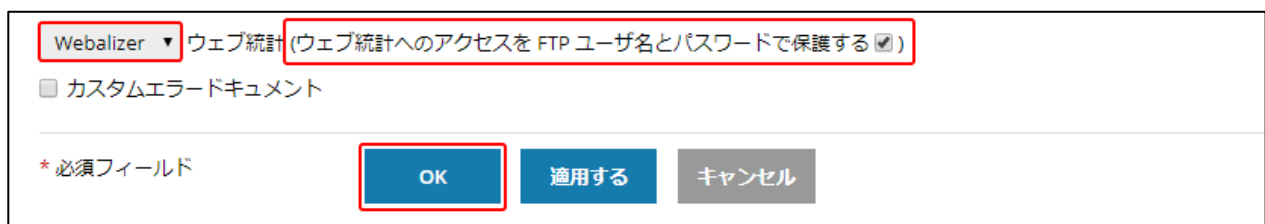
「AWstats」または「Webalizer」のウェブサイトのアクセスレポートを表示します。
レポートでは、サイトを訪問したユーザー数と閲覧されたウェブページが確認出来ます。

ウェブ統計の設定

(1) [ホスティング設定]をクリックします。



(2) 「ウェブ統計」のプルダウンから「AWstats」または「Webalizer」を選択し、[OK]をクリックします。※ウェブ統計画面へのアクセスをFTPユーザー名とパスワードで制限したい場合は、チェックボックスにチェックを入れてください。



【ご注意】

「AWstats」、「Webalizer」の切り替えは可能ですが、「AWstats」、「Webalizer」では、それぞれ別々に統計データを保持することになるため、別の種類に切り替えられていた間のデータは確認できませんのでご注意ください。

ウェブ統計の確認

(1) [ウェブ統計] をクリックします。



(2) 新しいブラウザウィンドウが開き、サイト訪問の統計が表示されます。

※SSL を使用しないページのウェブ統計が表示されます。

※「ホスティング設定」画面で「ウェブ統計へのアクセスを FTP ユーザ名とパスワードで保護する」にチェックを入れている場合、「ウェブホスティングアクセス」画面で設定したユーザー名とパスワードでログインする必要があります。

ウェブ統計 SSL/TLS

SSL/TLS 証明書や Let's Encrypt をインストールされており、ウェブサイトに SSL がかかっている場合は、[ウェブ統計 SSL/TLS]からご確認いただけます。

※「ホスティング設定」画面で「ウェブ統計へのアクセスを FTP ユーザ名とパスワードで保護する」にチェックを入れている場合、「ウェブホスティングアクセス」画面で設定したユーザー名とパスワードでログインする必要があります。

ユーザーツール > ウェブサービス ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン

ウェブサイトの設定と管理を行います。

サブドメインを追加

sample-domain.jp

ウェブサイト: [httpdocs/](#) IPアドレス: 219.118.68.254 システムユーザ: sample-domain

ホスティング設定 [開く](#) [プレビュー](#) [一時停止](#) [無効化](#) [説明](#)

ファイルマネージャ データベース [データベースを追加](#) WordPress [Install](#)

閉じる

- ウェブホスティングアクセス
- FTP アクセス
- ホスティング設定
- Let's Encrypt
- PHP 設定
PHP バージョン: 7.1.9
- Apache と nginx の設定
- アプリケーション
- ファイルマネージャ
- ウェブ統計
- ウェブ統計 SSL/TLS**
- Whois 情報
- SSL/TLS 証明書
- ウェブアプリケーションファイアウォール
- パスワード保護ディレクトリ
- ウェブサイトコピー
- ログ

リソース利用状況 ↑

ディスクスペース: 0%
100 GB 中、114.1 MB 使用

トラフィック: 0%
無制限 中、0 MB/月 使用

[詳細な統計情報を表示](#)

Whois 情報

ドメインの Whois 情報をご確認いただけます。

(1) [Whois 情報] をクリックします。

The screenshot shows the 'ユーザーツール > ウェブサービス' (User Tools > Web Services) interface. The main heading is 'ウェブサイトとドメイン' (Website and Domain) for 'sample-domain.jp'. Below the heading, there are navigation options like 'サブドメインを追加' (Add Subdomain) and a list of services including 'ファイルマネージャ', 'データベース', and 'WordPress'. A grid of service icons is displayed, with 'Whois 情報' (Whois Information) highlighted with a red box. Other icons include 'ウェブホスティングアクセス', 'FTP アクセス', 'ホスティング設定', 'Let's Encrypt', 'PHP 設定', 'Apache と nginx の設定', 'アプリケーション', 'ファイルマネージャ', 'ウェブ統計', 'ウェブ統計 SSL/TLS', 'SSL/TLS 証明書', 'ウェブアプリケーションファイアウォール', 'パスワード保護ディレクトリ', and 'ウェブサイトコピー'. On the right side, there is a 'リソース利用状況' (Resource Usage) section showing disk space and traffic usage.

(2) 「Whois 情報」が表示されます。

The screenshot shows the 'sample-domain.jp の Whois 情報' (Whois Information for sample-domain.jp) page. The page displays the Whois record for the domain, which is mostly blurred in the image. The breadcrumb navigation at the top shows 'ウェブサイトとドメイン > sample-domain.jp'.

SSL/TLS 証明書

SSL 証明書を使用すると、以下の 2 つのメリットが得られます。

- ・ ウェブサイトで入出力される情報が HTTPS 接続により暗号化され、保護されます。
- ・ ウェブサイト用に発行された SSL 証明書により、ウェブサイトが本物であることを示すことができます。これにより、ウェブサイト訪問者は、第三者が偽装した悪意あるウェブサイトではなく、正しいウェブサイトを開覧していることを確認できます。

(1) [SSL/TLS 証明書] をクリックします。

The screenshot shows the 'ユーザーツール > ウェブサービス' (User Tools > Web Services) interface. The main heading is 'ウェブサイトとドメイン' (Website and Domain) for 'sample-domain.jp'. Below the heading, there are options to 'サブドメインを追加' (Add subdomain) and a list of actions: 'ホスティング設定' (Hosting settings), '開く' (Open), 'プレビュー' (Preview), '一時停止' (Pause), '無効化' (Disable), and '説明' (Description). A row of tools includes 'ファイルマネージャ' (File manager), 'データベース' (Database), 'データベースを追加' (Add database), and 'WordPress Install'. A grid of service icons is displayed, with 'SSL/TLS 証明書' (SSL/TLS Certificate) highlighted by a red rectangular box. Other icons include 'ウェブホスティングアクセス', 'FTP アクセス', 'ホスティング設定', 'Let's Encrypt', 'PHP 設定 (PHP バージョン: 7.1.9)', 'Apache と nginx の設定', 'アプリケーション', 'ファイルマネージャ', 'ウェブ統計', 'ウェブ統計 SSL/TLS', 'Whois 情報', 'ウェブアプリケーションファイアウォール', 'パスワード保護ディレクトリ', and 'ウェブサイトコピー'. On the right side, there is a 'リソース利用状況' (Resource usage) section showing 'ディスクスペース: 0%' (Disk space: 0%) and 'トラフィック: 0%' (Traffic: 0%).

(2) 「SSL/TLS 証明書」画面は、以下の4つの部分から構成されています。

ユーザーツール » ウェブサービス ◀ ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン sample-domain.jp

sample-domain.jp の SSL/TLS 証明書

✓ 情報: SSL/TLS 証明書が追加されました。この証明書を機能させるためには、ウェブサイトホスティング設定（「ウェブサイトとドメイン」タブ）でこの証明書を選択します。

このサーバで証明書署名リクエストを作成した場合、証明書ファイルを受信したらここからアップロードします。別のサーバで生成された証明書と秘密キーのペアをアップロードしたい場合や、自己署名証明書を生成したい場合には、「SSL/TLS 証明書を追加」をクリックしてください。

SSL/TLS 証明書をドメインに追加した後で、SSL/TLS サポートを有効化して、ウェブサイトのホスティング設定で証明書を選択する必要があります（「ウェブサイトとドメイン」>このドメインの【ホスティング設定】>【セキュリティ】）。

証明書をアップロード

証明書 (*.crt) * (1)

(2) (3)

全 1 件 ページあたりのエントリ数: 10 25 100 すべて

<input type="checkbox"/>	R	K	C	A	名前 ▲	使用中
<input type="checkbox"/>					sample01	0 ↓

全 1 件 ページあたりのエントリ数: 10 25 100 すべて

(1)	SSL/TLS 証明書のアップロードが行えます。 ※証明書について詳しい方のみご利用ください。 通常は、(2)の[SSL/TLS 証明書を追加]をご利用ください。
(2)	[SSL/TLS 証明書を追加]：SSL/TLS 証明書の追加ができます。 ※通常はこちらより設定してください。 [削除]：設定された SSL/TLS 証明書を削除できます。
(3)	設定された SSL/TLS 証明書を検索できます。
(4)	設定された SSL/TLS 証明書を表示します。 「R」：証明書署名リクエスト（CSR）部分の提供状況を示すアイコンです。 「K」：秘密キー部分の提供状況を示すアイコンです。 「C」：証明書部分の提供状況を示すアイコンです。 「A」：CA 証明書部分の提供状況を示すアイコンです。 「名前」：証明書名を表示します。 「使用中」：ドメインに設定している使用数を表示します。 「↓」：すべての証明書コンポーネントをダウンロードできます。

SSL 証明書の追加

(1) SSL 証明書画面で[SSL/TLS 証明書を追加]をクリックします。

ユーザーツール » ウェブサービス < ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン > sample-domain.jp

sample-domain.jp の SSL/TLS 証明書

このサーバで証明書署名リクエストを作成した場合、証明書ファイルを受信したらここからアップロードします。別のサーバで生成された証明書と秘密キーのペアをアップロードしたい場合や、自己署名証明書を生成したい場合には、**【SSL/TLS 証明書を追加】**をクリックしてください。

SSL/TLS 証明書をドメインに追加した後で、SSL/TLS サポートを有効化して、ウェブサイトのホスティング設定で証明書を選択する必要があります（**【ウェブサイトとドメイン】** > このドメインの **【ホスティング設定】** > **【セキュリティ】**）。

証明書をアップロード

証明書 (*.cert) * 選択されていません

<input type="button" value="SSL/TLS 証明書を追加"/>	<input type="button" value="削除"/>	<input type="text"/>
---	-----------------------------------	----------------------

アイテムが見つかりません

(2) 「SSL/TLS 証明書を追加」画面で、下記赤枠(1)と(2)の項目を入力し [リクエスト]をクリックします。※下記の画面は、ブラウザによって表示が異なる場合がございます。

ユーザーツール » ウェブサービス ◀ ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン > sample-domain.jp > SSL/TLS 証明書

SSL/TLS 証明書を追加

証明書名 * (1)

設定

このフォームを使用して、証明書のリクエストの生成、プロバイダから証明書の購入、または自己署名証明書の生成を実行します。

リクエストとは、フォームで指定したドメインについての情報が含まれる CSR ファイルのことです。リクエストを認証局に送信し、証明書の発行を依頼することができます。次に、以下のいずれかのアップロードフォームを使用してアップロードします。

自己署名証明書とは、発行者自身が署名した身元証明書のことです。このような証明書を使用する場合、自らのサイトの身元を自ら証明することになります。自己署名証明書では SSL/TLS を使用できませんが、信頼性と安全性は低いと見なされます。

ビット *	<input type="text" value="4096"/>
国 *	<input type="text" value="Japan"/>
都道府県 *	<input type="text"/>
所在地 (市区町村) *	<input type="text"/>
組織名 (会社) *	<input type="text"/>
部/課名	<input type="text"/>
ドメイン名 *	<input type="text" value="www.sample-domain.jp"/>
メール *	<input type="text" value="root@sample-domain.jp"/>

リクエスト 自己署名 (2)

証明書ファイルをアップロード

証明書のコンポーネントをファイルとしてアップロードするには、このフォームを使用します。

秘密キー (*.key) *	<input type="button" value="ファイルを選択"/>	選択されていません
証明書 (*.crt) *	<input type="button" value="ファイルを選択"/>	選択されていません
CA 証明書 (*.ca.crt)	<input type="button" value="ファイルを選択"/>	選択されていません

証明書をテキスト形式でアップロード

証明書のコンポーネントをテキストとしてアップロードするには、このフォームを使用します。ファイルのコンテンツを該当フィールドにコピー&ペーストしてください。

秘密キー (*.key) *	<input type="text"/>
証明書 (*.crt) *	<input type="text"/>
CA 証明書 (*.ca.crt)	<input type="text"/>

* 必須フィールド

(1)	「証明書名」：他の証明書と区別するための証明書名を入力します。
(2)	<p>「ビット」：暗号化の強度（暗号化に利用される鍵の長さ）を表示しています。</p> <p>「国」：国を選択します。（※半角英字）</p> <p>「都道府県」：都道府県を入力します。（※半角英字）</p> <p>「所在地（市区町村）」：所在地（市区町村）を入力します。（※半角英字）</p> <p>「組織名（会社）」：組織名（会社）を入力します。（※半角英字）</p> <p>「部/課名」：部/課名を入力します。（※半角英字）</p> <p>「ドメイン名」：証明書で保護するドメイン名を入力します。</p> <p>※「www」あり/なしのどちらで取得するかは「ホスティング設定」の設定内容に応じてお選びください。</p> <p>「メール」：メールアドレスを入力します。</p> <p>※上記項目に入力する内容は、SSL 証明書申請者の正確な情報をご入力下さい。</p> <p>[リクエスト]：SSL 証明書を申請するための秘密キーと証明書署名リクエスト（CSR）を生成します。</p> <p>[自己署名]：自己署名証明書を生成したい場合に使用します。</p> <p>※自己署名証明書は証明書を購入せず、外部公開しないクローズドなサイトで暗号化通信を行いたい場合に任意で使用します。第三者機関による証明をしてもらう場合は、[リクエスト]よりお進みください。</p>

(3) [リクエスト]をクリックすると、SSL/TLS 証明画面に遷移し、作成した SSL/TLS 証明書がリストに追加されます。作成した証明書名をクリックし、生成された秘密キーと証明書署名リクエスト（CSR）を確認してください。

ユーザーツール » ウェブサービス ◀ ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン sample-domain.jp

sample-domain.jp の SSL/TLS 証明書

✓ 情報: SSL/TLS 証明書が追加されました。この証明書を機能させるためには、ウェブサイトホスティング設定（[ウェブサイトとドメイン] タブ）でこの証明書を選択します。

このサーバで証明書署名リクエストを作成した場合、証明書ファイルを受信したらここからアップロードします。別のサーバで生成された証明書と秘密キーのペアをアップロードしたい場合や、自己署名証明書を生成したい場合には、[SSL/TLS 証明書を追加]をクリックしてください。

SSL/TLS 証明書をドメインに追加した後で、SSL/TLS サポートを有効化して、ウェブサイトのホスティング設定で証明書を選択する必要があります（[ウェブサイトとドメイン] > このドメインの [ホスティング設定] > [セキュリティ]）。

証明書をアップロード

証明書 (*.crt) * 選択されていません

全 1 件 ページあたりのエントリ数: 10 25 100 すべて

名前	使用中
sample01	使用中

全 1 件 ページあたりのエントリ数: 10 25 100 すべて

(4) [リクエスト]をクリックすると、SSL/TLS 証明書画面に遷移します。

前過程で生成された CSR を任意の認証局（SSL/TLS 証明書発行機関）に提出し、証明書を購入してください。CSR を取得するには、生成した証明書の名前をクリックします。

証明書を購入するとき、CSR セクションまでスクロールして、テキストを「-----BEGIN CERTIFICATE REQUEST-----」から「-----END CERTIFICATE REQUEST-----」まで(下記の画面の赤枠内)をコピーして認証局に提出してください。

※具体的な手順は認証局によって異なるため、なんらかの問題が発生したときは該当の認証局（SSL 証明書発行機関）までお問い合わせください。購入完了後、証明局より拡張子「.crt」、または「.pem」ファイル、あるいはテキスト形式で証明書が提供されます。

ユーザーツール > ウェブサービス ホームに戻る

CSR

```
-----BEGIN CERTIFICATE REQUEST-----
MIICZDCCBqgG...
-----END CERTIFICATE REQUEST-----
```

秘密キー (*.key)

```
-----BEGIN PRIVATE KEY-----
MIICZDCCBqgG...
-----END PRIVATE KEY-----
```

(5) 認証局での証明書購入が完了したら、証明書をアップロードします。SSL/TLS 証明書画面から、設定する証明書の名前をクリックして、以下の①、もしくは②の方法でアップロードを行ってください。

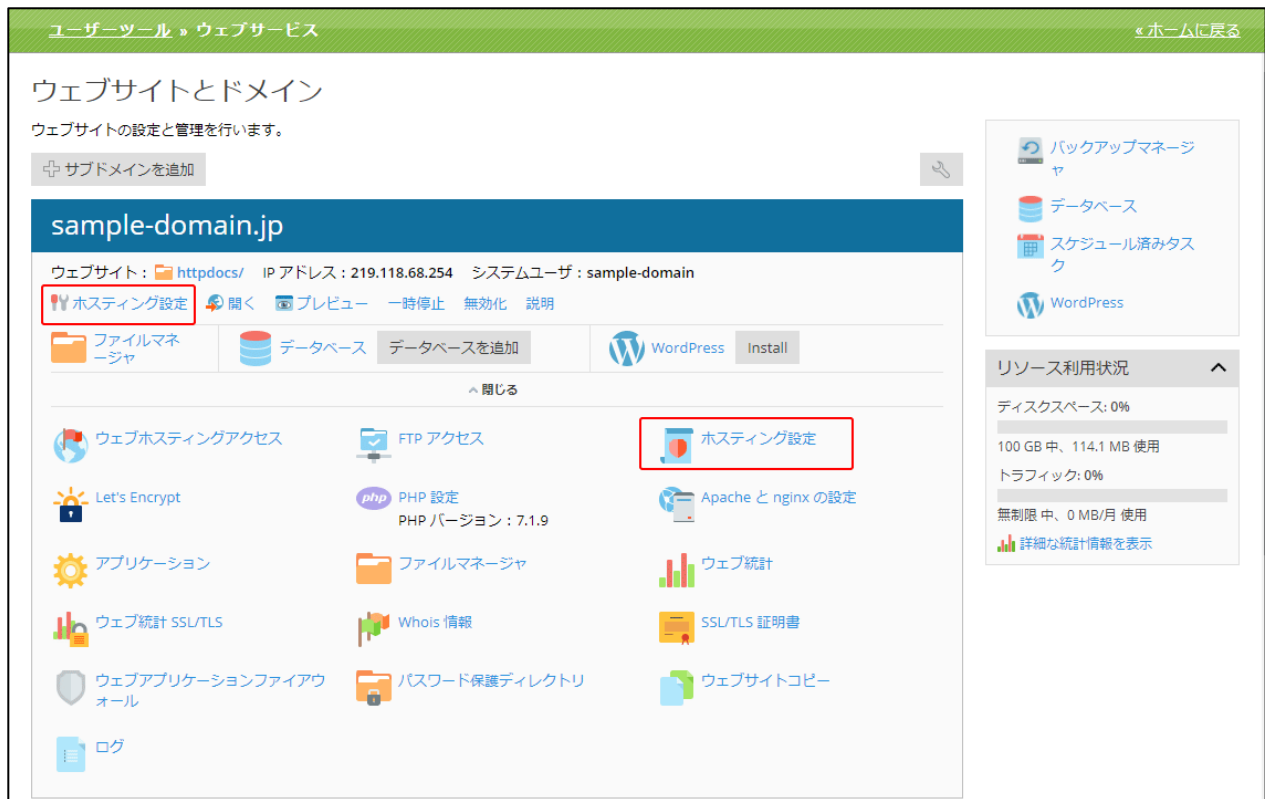
①拡張子「.crt」、または「.pem」ファイルの証明書の場合、「証明書ファイルをアップロード」セクションからファイルを選択ボタンより該当証明書を選択し、**[証明書をアップロード]** をクリックしてアップロードします。

②テキスト形式の証明書の場合、「証明書をテキスト形式でアップロード」セクションで証明書を該当フィールドに貼り付け、**[証明書をアップロード]** をクリックしてアップロードします。

The screenshot displays two sections for uploading certificates. The top section, titled "証明書ファイルをアップロード", contains a red-bordered box with the instruction "証明書のコンポーネントをファイルとしてアップロードするには、このフォームを使用します。" Below this are two rows: "証明書 (*.crt) *" with a "ファイルを選択" button and "選択されていません", and "CA 証明書 (*.ca.crt)" with a "ファイルを選択" button and "選択されていません". A red circle with the number "1" is placed to the right of these buttons. Below the text is a "証明書をアップロード" button. The bottom section, titled "証明書をテキスト形式でアップロード", contains a red-bordered box with the instruction "証明書のコンポーネントをテキストとしてアップロードするには、このフォームを使用します。ファイルのコンテンツを該当フィールドにコピー & ペーストしてください。" Below this are two large text input fields: "証明書 (*.crt) *" and "CA 証明書 (*.ca.crt)". A red circle with the number "2" is placed between these two fields. At the bottom left of this section is a "証明書をアップロード" button.

※ブラウザによって表示が異なる場合がございます。

(6) 「ウェブサイトとドメイン」画面から、[ホスティング設定]をクリックし、証明書をサイトにインストール(関連付け設定)します。



(7) 「セキュリティ」 SSI サポート セクションの「SSL/TLS サポート」にチェックを入れて、アップロードした証明書を「証明書」のプルダウンメニューより選択し、[OK]をクリックします。

ユーザーツール » ウェブサービス ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン sample-domain.jp

sample-domain.jp のホスティング設定

ウェブサイトホスティングの設定を行い、サイトで使用可能な機能を選択します。

ホスティングタイプ

ウェブサイトのステータス

ドキュメントルート*
ウェブサイトのホームディレクトリへのパス

優先ドメイン*
 www.sample-domain.jp
 sample-domain.jp
 なし
SEO に対応する HTTP 301 リダイレクトによってサイト訪問者をリダイレクトする URL (www. プレフィックスあり/なし) を選択します。

セキュリティ

サイトへのトランザクションをセキュリティ強化するには、SSL/TLS プロトコルを使用します。すべてのデータが暗号化され、セキュア接続経由で送信されます。SSL/TLS を導入するには、サイトに SSL/TLS 証明書をインストールし、以下でこの証明書を選択してください。

SSL/TLS サポート
 SEO に対応する HTTP から HTTPS への恒久的 301 リダイレクト

証明書

ウェブスクリプティングと統計

ウェブサーバで以下のどのプログラミング言語またはスクリプティング言語を割り込み、実行、または処理するのかを指定します。

SSI サポート

PHP サポート (PHP バージョン PHP ハンドラタイプを変更すると、このウェブサイト上の既存の PHP スクリプトの機能に障害が発生する可能性があります。
[最も適切な PHP 設定を選択する方法について](#)

CGI サポート

FastCGI サポート

ウェブ統計 (ウェブ統計へのアクセスを FTP ユーザー名とパスワードで保護する)

カスタムエラードキュメント

* 必須フィールド

Let's Encrypt

「Let's Encrypt」では、無料のSSL証明書(Let's Encrypt)をインストールいただけます。

Let's Encrypt のインストール

(1) [ホスティング設定]をクリックします。

ユーザーツール > ウェブサービス ◀ ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン

ウェブサイトの設定と管理を行います。

サブドメインを追加

sample-domain.jp

ウェブサイト: httpdocs/ IPアドレス: 219.118.68.254 システムユーザ: sample-domain

ホスティング設定 開く プレビュー 一時停止 無効化 説明

ファイルマネージャ データベース データベースを追加 WordPress Install

ホスティング設定

ウェブホスティングアクセス FTP アクセス Apache と nginx の設定

Let's Encrypt PHP 設定 PHP バージョン: 7.1.9

アプリケーション ファイルマネージャ ウェブ統計

ウェブ統計 SSL/TLS Whois 情報 SSL/TLS 証明書

ウェブアプリケーションファイアウォール パスワード保護ディレクトリ ウェブサイトコピー

ログ

リソース利用状況

ディスクスペース: 0%

100 GB 中、114.1 MB 使用

トラフィック: 0%

無制限 中、0 MB/月 使用

詳細な統計情報を表示

(2) セキュリティ内の「SSL/TLS サポート」にチェックを入れ、画面下部の「OK」ボタンをクリックします。

セキュリティ

サイトへのトランザクションをセキュリティ強化するには、SSL/TLS プロトコルを使用します。すべてのデータが暗号化され、セキュア接続経由で送信されます。SSL/TLS を導入するには、サイトに SSL/TLS 証明書をインストールし、以下でこの証明書を選択してください。

SSL/TLS サポート

SEO に対応する HTTP から HTTPS への恒久的 301 リダイレクト

証明書 未選択

(3) [Let's Encrypt]をクリックします。

(4) メールアドレスを入力し、チェックボックスにチェックを入れて、[インストール]ボタンをクリックします。「Let's Encrypt」画面は以下の構成となっております。

(1)	「メールアドレス」: Let's Encrypt の管理に使用するメールアドレスを入力します。
(2)	「Select what else can be secured」: ドメインと「www」のドメインを含める場合にチェックを入れます。 チェックを入れていただくことを推奨します。

(5) 以下のメッセージが表示されますと Let's Encrypt のインストールは完了です。

✓ 情報: Let's Encrypt SSL 証明書が sample-domain.jp に正常にインストールされました。

(6) 「ウェブサイトとドメイン」画面から、[ホスティング設定]をクリックし、証明書をサイトにインストール(関連付け設定)します。

The screenshot shows the 'ユーザーツール >> ウェブサービス' (User Tools >> Web Services) interface for the domain 'sample-domain.jp'. The page title is 'ウェブサイトとドメイン' (Website and Domain). Below the title, there's a sub-header 'ウェブサイトの設定と管理を行います。' (Manage and configure your website). A button 'サブドメインを追加' (Add subdomain) is visible. The main content area for 'sample-domain.jp' includes website details (httpdocs/, IP address: 219.118.68.254, system user: sample-domain) and a row of management actions: 'ホスティング設定' (Hosting Settings), '開く' (Open), 'プレビュー' (Preview), '一時停止' (Pause), '無効化' (Deactivate), and '説明' (Help). Below this, there are buttons for 'ファイルマネージャ' (File Manager), 'データベース' (Database), 'データベースを追加' (Add database), and 'WordPress Install'. A grid of service icons is displayed, with 'ホスティング設定' highlighted by a red box. Other icons include 'ウェブホスティングアクセス', 'FTP アクセス', 'Let's Encrypt', 'PHP 設定', 'Apache と nginx の設定', 'アプリケーション', 'ファイルマネージャ', 'ウェブ統計', 'ウェブ統計 SSL/TLS', 'Whois 情報', 'SSL/TLS 証明書', 'ウェブアプリケーションファイアウォール', 'パスワード保護ディレクトリ', 'ウェブサイトコピー', and 'ログ'. On the right side, there's a 'リソース利用状況' (Resource Usage) section showing disk space (0% used) and traffic (0% used).

- (7) 「セキュリティ」 SSI サポートセクションの「SSL/TLS サポート」にチェックが入っていることを確認し、Let's Encrypt(ドメイン名)を「証明書」のプルダウンメニューより選択し、[OK]をクリックします。

以上でインストールおよび設定が完了となります。

10分程度で https://の URL でアクセスが可能となります。

【ご注意】

サブドメインにも Let's Encrypt をインストールされている場合、その他のサブドメインの Let's Encrypt の選択肢もプルダウンに表示されますので、必ず該当のドメイン名のものを選択してください。その他のドメイン名のものを選択されても、反映されませんのでご注意ください。

ユーザーツール » ウェブサービス ◀ ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン sample-domain.jp

sample-domain.jp ... のホスティング設定

ウェブサイトホスティングの設定を行い、サイトで使用可能な機能を選択します。

ホスティングタイプ **ウェブサイト**

ウェブサイトのステータス **アクティブ [変更]**

ドキュメントルート* **🏠 / httpdocs**
ウェブサイトのホームディレクトリへのパス

優先ドメイン*
 www.sample-domain.jp
 sample-domain.jp
 なし
SEO に対応する HTTP 301 リダイレクトによってサイト訪問者をリダイレクトする URL (www. プレフィックスあり/なし) を選択します。

セキュリティ

サイトへのトラフィックをセキュリティ強化するには、SSL/TLS プロトコルを使用します。すべてのデータが暗号化され、セキュア接続経由で送信されます。SSL/TLS を導入するには、サイトに SSL/TLS 証明書をインストールし、以下でこの証明書を選択してください。

SSL/TLS サポート

SEO に対応する HTTP から HTTPS への恒久的 301 リダイレクト

証明書 **Lets Encrypt sample-domain.jp (sample-domain.jp)**

ウェブスクリプティングと統計

ウェブサーバで以下のどのプログラミング言語またはスクリプティング言語を割り込み、実行、または処理するのかを指定します。

SSI サポート

PHP サポート (PHP バージョン **7.1.9** , PHP の実行タイプ **FastCGI アプリケーション**)
PHP ハンドラタイプを変更すると、このウェブサイト上の既存の PHP スクリプトの機能に障害が発生する可能性があります。
[最も適切な PHP 設定を選択する方法について](#)

CGI サポート

FastCGI サポート

Webalizer ▼ ウェブ統計 (ウェブ統計へのアクセスを FTP ユーザー名とパスワードで保護する)

カスタムエラードキュメント

* 必須フィールド

OK 適用する キャンセル

ウェブアプリケーションファイアウォール

「ウェブアプリケーションファイアウォール」は、ウェブサイトで使用するウェブアプリケーションをさまざまな攻撃から保護するよう構成します。ウェブアプリケーションに対する攻撃を検出して防御するために、ウェブアプリケーションファイアウォール (ModSecurity) で、ウェブサーバへのすべての要求およびサーバからの関連する応答がルールセットに対してチェックされます。チェックに通過すると、HTTP 要求はウェブサイトコンテンツに渡されます。チェックに検知されると、定義済みのアクションが実行 (通常は遮断) されます。

(1) [ウェブアプリケーションファイアウォール] をクリックしてください。

The screenshot shows the 'ユーザーツール > ウェブサービス' (User Tools > Web Services) interface. The main heading is 'ウェブサイトとドメイン' (Websites and Domains). Below this, there's a section for 'sample-domain.jp' with details like 'ウェブサイト: https://', 'IP アドレス: 219.118.68.254', and 'システムユーザ: sample-domain'. A grid of management tools is displayed, including 'ウェブホスティングアクセス', 'FTP アクセス', 'ホスティング設定', 'Let's Encrypt', 'PHP 設定', 'Apache と nginx の設定', 'アプリケーション', 'ファイルマネージャ', 'ウェブ統計', 'ウェブ統計 SSL/TLS', 'Whois 情報', 'SSL/TLS 証明書', 'ウェブアプリケーションファイアウォール' (highlighted with a red box), 'パスワード保護ディレクトリ', and 'ウェブサイトコピー'. A 'ログ' (Log) button is also visible. On the right, there's a 'リソース利用状況' (Resource Usage) section showing disk space and traffic usage.

(2) 「ウェブアプリケーションファイアウォール」画面は、以下の3つの部分から構成されています。

ユーザーツール » ウェブサービス ◀ ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン sample-domain.jp

sample-domain.jp のウェブアプリケーションファイアウォール

ウェブアプリケーションファイアウォール (ModSecurity) を構成します。

ウェブアプリケーションファイアウォールのモード

- オフ
受信 HTTP 要求および関連する応答はチェックされません。
- 検出のみ
それぞれの受信 HTTP 要求および関連する応答は、ルールのセットに対してチェックされます。チェックが成功すると、HTTP 要求がウェブサイトコンテンツに渡されます。チェックが失敗すると、イベントはログに記録され、それ以外のアクションは実行されません。
- オン
それぞれの受信 HTTP 要求および関連する応答は、ルールのセットに対してチェックされます。チェックが成功すると、HTTP 要求がウェブサイトコンテンツに渡されます。チェックが失敗すると、イベントはログに記録され、通知が送信され、HTTP 応答にエラーコードが割り当てられます。

(1)

エラーログ

ウェブアプリケーションファイアウォールのモードを「オフ」または「検出のみ」から「オン」に変更した後で、ウェブサイトの機能が停止することがあります。この場合、エラーログを参照し、何が起きているのかを確認してください。厳格すぎるセキュリティルールをオフにしたり、ウェブサイトを調整することができます。

[エラーログファイル](#)

(2)

セキュリティルールをオフにする

セキュリティルールをオフにすることができます。セキュリティルールが一部のウェブサイトに対して厳格すぎると思われる場合に役に立ちます。セキュリティルールを無効にするには、ルールの ID (340003 など)、タグ (CVE-2011-4898 など)、またはルールメッセージで使用される正規表現 (XSS など) を指定してください。

セキュリティルール ID

(3)

タグ

アクティブ:

非アクティブ:

オブジェクトをクリックするか、そのメッセージを確認してください。

ご契約のサービスではセキュリティルールのタグはご提供していません。

ルールメッセージで使用される正規表現

* 必須フィールド

(1)	<p>ウェブアプリケーションファイアウォールのモードが、[オフ][検出のみ][オン]より選択できます。※デフォルトの設定は「オン」となります。</p> <p>[オフ]：ファイアウォール機能を無効化します。</p> <p>[検出のみ]：ファイアウォールの監視機能のみを有効化し、認知した脅威をログに記録します。</p> <p>[オン]：ファイアウォール機能を有効化し、脅威を認知した場合はログに記録を行い規定の応答を返します（通常は遮断）。</p>
(2)	<p>[エラーログファイル]：過去1ヵ月分のエラーログが確認できます。</p> <p>※「ウェブサイトとドメイン」画面の「ログ」画面と同様のページとなります。</p>
(3)	<p>[セキュリティルール ID]：無効化するセキュリティルールを指定できます。</p> <p>※「タグ」の項目に関しては、ご契約いただいているサービスでご指定いただく必要はございません。</p>

特定のセキュリティルールをオフにする

(1) 本機能が、ご利用のウェブアプリケーションの動作に干渉する場合、特定のセキュリティルールだけを無効にする事が出来ます。無効にしたいルール ID を[エラーログファイル]より確認します。

エラーログ

ウェブアプリケーションファイアウォールのモードを「オフ」または「検出のみ」から「オン」に変更した後で、ウェブサイトの機能が停止することがあります。この場合、エラーログを参照し、何が起きているのかを確認してください。厳格すぎるセキュリティルールをオフにしたり、ウェブサイトを調整することができます。

[エラーログファイル](#)

ユーザーツール » ウェブサービス < ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン > sample-domain.jp > ウェブアプリケーションファイアウォール

sample-domain.jp のログ

Apache エラー

From	すべて	IP	メッセージ
2018-02-08 12:15:04	Error	219.118.70.66	ModSecurity: Access denied with code 403 (phase 2). Match of "rx (?:/index/\.php/admin/catalog_category/save (?:/admin/stats/css/gallery-css)/\.php/\.php/\.php/admin/catalog_category/save/key/ /\.php/?p=admin_settings/\.php/?openpage= /admin/extra)" against "REQUEST_URI" required. [file "/etc/apache2/modsecurity.d/rules/tortix/modsec/50_plesk_basic_asl_rules.conf"] [line "88" [id "340145"] [rev "43"] [msg "Protected by Atomicorp.com Basic Non-Realtime WAF Rules: Possible SQL Injection probe"] [data "or '1' = '1'" [severity "CRITICAL"] [hostname "sample-domain.jp"] [uri "/index.php"] [unique_id "WnvAuH8AAEAAAF7DJRAAAAB5"]
2018-02-08 12:15:42	Error	219.118.70.66	ModSecurity: Access denied with code 403 (phase 2). Match of "rx (?:/index/\.php/admin/catalog_category/save (?:/admin/stats/css/gallery-css)/\.php/\.php/\.php/admin/catalog_category/save/key/ /\.php/?p=admin_settings/\.php/?openpage= /admin/extra)" against "REQUEST_URI" required. [file "/etc/apache2/modsecurity.d/rules/tortix/modsec/50_plesk_basic_asl_rules.conf"] [line "88" [id "340145"] [rev "43"] [msg "Protected by Atomicorp.com Basic Non-Realtime WAF Rules: Possible SQL Injection probe"] [data "or '1' = '1'" [severity "CRITICAL"] [hostname "sample-domain.jp"] [uri "/index.php"] [unique_id "WnvA3n8AAEAAAF7DJRAAAABV"]

※上記は意図的に SQL インジェクションの攻撃を起こした場合のサンプルログとなります。

この場合のルール ID は「340145」となっております。

(2) ウェブアプリケーションファイアウォール画面の

「セキュリティルール ID」に例示 [id "340145"]部分の""の間に記載の数字（この例の場合 340145）を入力して、**[OK]**をクリックします。

セキュリティルールをオフにする

セキュリティルールをオフにすることができます。セキュリティルールが一部のウェブサイトに対して厳格すぎると思われる場合に役に立ちます。セキュリティルールを無効にするには、ルールの ID（340003 など）、タグ（CVE-2011-4898 など）、またはルールメッセージで使用される正規表現（XSS など）を指定してください。

セキュリティルール ID

タグ

アクティブ：

非アクティブ：

使用可能なオブジェクトがありません

オブジェクトをクリックするか、チェックボックスを使用してください

選択されたオブジェクトがありません

ルールメッセージで使用される正規表現

* 必須フィールド

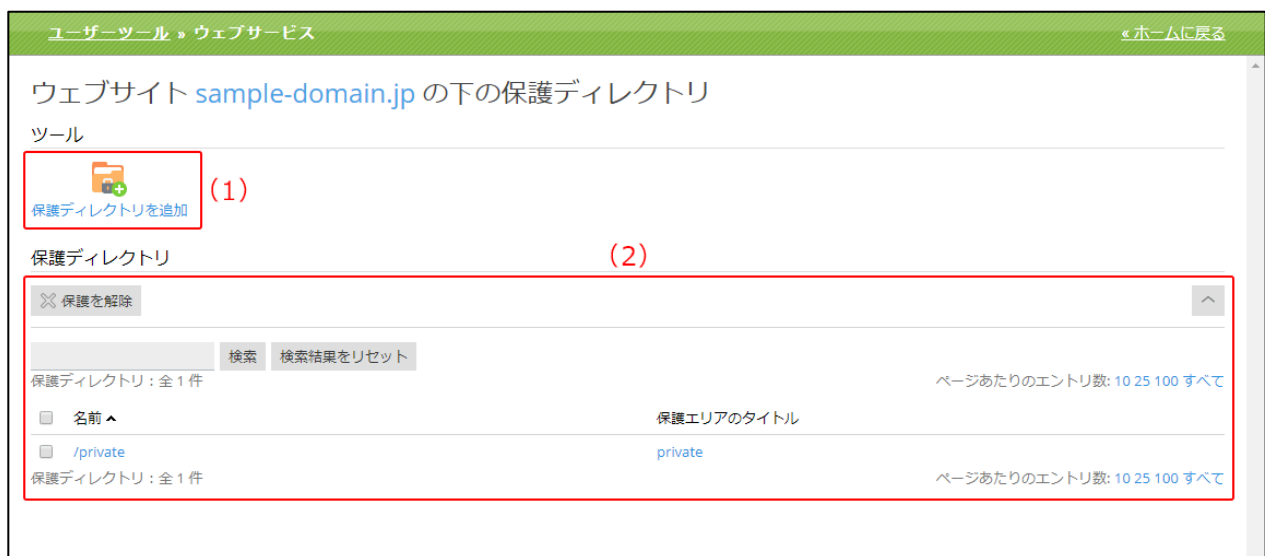
パスワード保護ディレクトリ

ウェブサイトの特定のディレクトリへのアクセスをパスワードで制限する事が出来ます。
サイトの一部のディレクトリに許可されたユーザーのみが閲覧できるように、パスワード保護を行い、これらのディレクトリへのアクセスを制限します。

(1) [パスワード保護ディレクトリ]をクリックします。



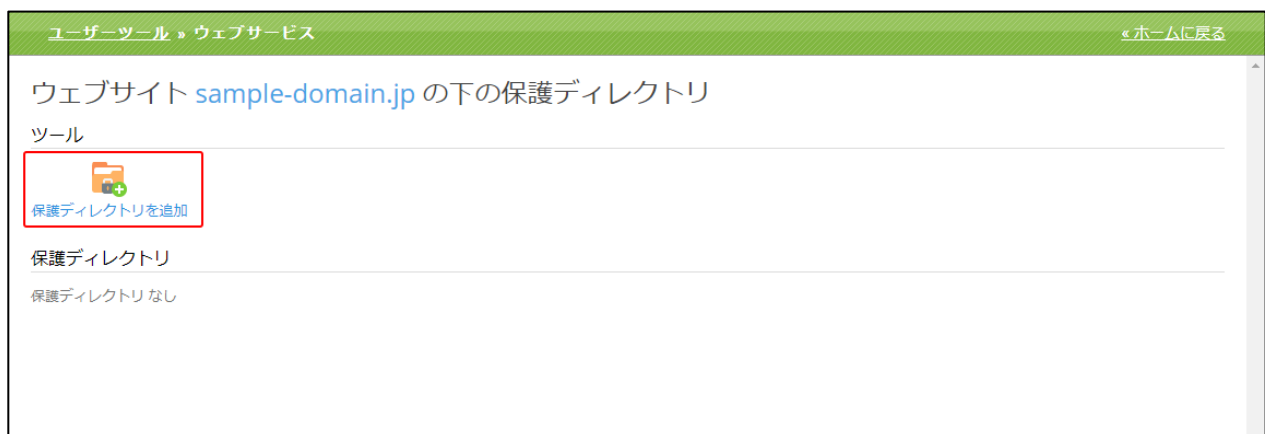
(2) 「パスワード保護ディレクトリ」画面は、以下の2つの部分で構成されています。



(1)	<p>[保護ディレクトリを追加]：保護ディレクトリの追加作成を行えます。</p>
(2)	<p>作成した保護ディレクトリを管理します。</p> <p>[保護を解除]：選択したディレクトリの保護を削除します。削除するディレクトリにチェックを入れて、[保護を解除]をクリックします。</p> <div data-bbox="252 347 1433 387" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <input checked="" type="checkbox"/> /private private </div> <p>[検索]：ディレクトリ名で保護されたディレクトリが検索されます。</p> <p>[検索結果をリセット]：検索結果をリセットし、すべての保護ディレクトリが表示されます。</p> <p>[名前]：保護ディレクトリ名を表示します。クリックすると、該当の保護ディレクトリの詳細設定が行えます。</p> <p>[保護エリアのタイトル]：設定した保護エリアのタイトルを表示します。クリックすると、該当の保護ディレクトリの詳細設定が行えます。</p>

保護ディレクトリの作成

(1) 「パスワード保護ディレクトリ」画面で、**[保護ディレクトリを追加]**をクリックします。



(2) 「保護ディレクトリを追加」画面は以下の構成となります。



ディレクトリ名	<p>パスワード保護するディレクトリのパスを指定します。 これは、たとえば /private など、サイト内に存在するディレクトリです。保護したいディレクトリがまだ作成されていない場合は、パスとディレクトリ名を指定すれば、自動的に作成します。</p> <p>※/private/のようにフォルダ名の末尾にスラッシュは入れないでください。</p>
保護エリアのタイトル	<p>入力欄に、管理用の説明を入力します。 ※ブラウザによってパスワード認証画面に表示される場合があります。</p>

(3) この設定で指定したディレクトリにパスワードがかかります。このページの認証に必要なユーザーアカウントは、後述の「保護ディレクトリのユーザーアカウント作成」で設定してください。



保護ディレクトリの設定変更

作成した保護ディレクトリの設定内容を変更できます。

保護ディレクトリの詳細設定は、ユーザーの追加/削除やディレクトリ設定などができます。

- (1) 「パスワード保護ディレクトリ」画面で、「保護ディレクトリ名」をクリックします。

ユーザーツール » ウェブサービス ◀ ホームに戻る

ウェブサイト **sample-domain.jp** の下の保護ディレクトリ

ツール

保護ディレクトリを追加

保護ディレクトリ

保護を解除 ↑

検索 検索結果をリセット

保護ディレクトリ: 全 1 件 ページあたりのエントリ数: 10 25 100 すべて

<input type="checkbox"/> 名前 ^	保護エリアのタイトル
<input type="checkbox"/> /private	private

保護ディレクトリ: 全 1 件 ページあたりのエントリ数: 10 25 100 すべて

- (2) 「保護ディレクトリの詳細設定」画面は、以下の 2 つの部分で構成されています。

ユーザーツール » ウェブサービス ◀ ホームに戻る

パスワード保護ディレクトリ

ドメイン **sample-domain.jp** の保護ディレクトリ **/private**

ツール

ユーザを追加 ディレクトリ設定 (1)

保護ディレクトリユーザ (2)

削除 ↑

検索 検索結果をリセット

保護ディレクトリユーザ: 全 1 件 ページあたりのエントリ数: 10 25 100 すべて

<input type="checkbox"/> 名前 ^
<input type="checkbox"/> sample

保護ディレクトリユーザ: 全 1 件 ページあたりのエントリ数: 10 25 100 すべて

(1)	<p>[ユーザを追加]：保護ディレクトリにアクセスできるユーザーを追加できます。</p> <p>[ディレクトリ設定]：保護ディレクトリの修正ができます。</p> <div data-bbox="317 255 1385 620" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">ユーザーツール » ウェブサービス « ホームに戻る</p> <p style="text-align: center;">パスワード保護ディレクトリ > /private</p> <p>設定</p> <p>設定</p> <p>ディレクトリ名 * <input type="text" value="/private"/></p> <p>保護エリアのタイトル <input type="text" value="private"/></p> <p>* 必須フィールド OK キャンセル</p> </div> <p>「ディレクトリ名」：パスワード保護するディレクトリのパスを指定します。入力したディレクトリが存在しない場合は自動的に作成されます。</p> <p>「保護エリアのタイトル」：入力欄に、管理用の説明を入力します。</p> <p>※ブラウザによってパスワード認証画面に表示される場合があります。</p>
(2)	<p>[削除]：選択した保護ディレクトリユーザーを削除します。削除する保護ディレクトリユーザーを先にチェックを入れ、[削除]ボタンを押してください。</p> <p>[<input type="text" value="検索"/>]：保護されたディレクトリユーザーを検索します。</p> <p>[<input type="text" value="検索結果をリセット"/>]：検索結果をリセットし、すべての保護ディレクトリユーザーを表示します。</p> <p>[名前]：クリックすると保護ディレクトリユーザーのパスワードの設定が行えます。</p> <div data-bbox="317 1173 1385 1568" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">ユーザーツール » ウェブサービス « ホームに戻る</p> <p style="text-align: center;">パスワード保護ディレクトリ > /private</p> <p>保護ディレクトリユーザのパスワード： sample</p> <p>保護ディレクトリユーザ</p> <p>旧パスワード <input type="text" value="*****"/></p> <p>新規パスワード * <input type="text"/></p> <p>パスワードの確認 * <input type="text"/></p> <p>* 必須フィールド OK キャンセル</p> </div> <p>「新規パスワード」：新規パスワードを入力します。</p> <p>「パスワードの確認」：確認のため、もう一度パスワードを入力してください。</p>

保護ディレクトリのユーザアカウント作成

作成した保護ディレクトリに認証するためのユーザアカウントを作成します。

- (1) 「パスワード保護ディレクトリ」画面で、ユーザアカウントを作成したい「保護ディレクトリ名」をクリックします。



- (2) 該当の「保護ディレクトリの詳細設定」画面が表示されますので、[ユーザを追加]をクリックします。



(3) 「ユーザを追加」画面は以下の構成となります。

ユーザーツール » ウェブサービス ◀ ホームに戻る

パスワード保護ディレクトリ

保護ディレクトリ /private のユーザ作成

保護ディレクトリユーザ

ユーザ名 *

旧パスワード *****

新規パスワード *

パスワードの確認 *

* 必須フィールド OK キャンセル

ユーザ名	保護されたエリアへのアクセスに設定するユーザー名を入力してください。
新規パスワード	保護されたエリアへのアクセスに設定するパスワードを入力してください。 ※ユーザー名に使用した文字列は入力できません。

ウェブサイトコピー

「ウェブサイトコピー」機能を利用し、サーバー上の別ドメインにサイトデータをコピーすることができます。稼働中のウェブサイトに対し大規模な変更を計画している場合など、事前検証用のテストサイト(ステージングサイト)を作成することができます。

※インターネットユーザがステージングサイトにアクセスできないようにするには、.htaccess ファイルの設置や、[\[パスワード保護ディレクトリ\]](#)を使用してアクセスを制限してください。

(1) [\[ウェブサイトコピー\]](#)をクリックします。

The screenshot shows the 'User Tools' interface for managing a website. The main heading is 'ウェブサイトとドメイン' (Websites and Domains). Below it, there's a section for 'sample-domain.jp' with details like 'ウェブサイト: https://', 'IP アドレス: 219.118.68.254', and 'システムユーザ: sample-domain'. There are several management options like 'ファイルマネージャ', 'データベース', and 'WordPress Install'. A grid of icons represents various tools, and the 'ウェブサイトコピー' (Website Copy) icon is highlighted with a red rectangular box. On the right side, there's a 'リソース利用状況' (Resource Usage) section showing disk space and traffic usage.

(2) 「ウェブサイトコピー」画面は、以下のように構成されています。

ユーザーツール » ウェブサービス
◀ ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン > sample-domain.jp

sample-domain.jp ... ファイルをコピーする

ウェブサイトファイルを、御社がこのアカウントでホストする別のサイトまたは FTP ストレージにコピーします。このようなコピー操作は、本稼働ウェブサイトの大規模な変更を計画している場合に便利です。このような場合、サイトをステージング環境に複製し、デザイナーとプログラマーが複製サイト上で作業できるため、本稼働サイトを中断する必要がありません。サイトファイルのコピーは、サイト複製作業の一部です。複製を完了するためには、サイトで使用するデータベースもコピーする必要があります。ステージング環境として使用するサイトが他にない場合、このために新しいドメインを追加することも、サブドメインを追加することもできます。

コピー先

サイトファイルのコピー先を選択します。

- Plesk 内のウェブサイト**
このアカウントでホスティングしている別のサイトにサイトファイルをコピーします。このサーバ上の他のアカウントへの FTP アクセスが可能である場合、[FTP ストレージ] オプションを使用してください。
 サイト名
- 既存ファイルに対して行う操作
 - 既存ファイルをコピー先サイトに残す
コピー先サイトにある名前の重複する既存ファイルを上書きします。
 - すべての既存ファイルを削除する
コピー先サイト内の全ファイルをコピー前に削除します。
- FTP ストレージ**
このサーバまたは外部サーバ上の FTP アカウントにウェブサイトファイルをコピーします。
 サーバホスト名
 ポート
 ディレクトリ
 ユーザ名
 パスワード
- FTP 接続方法
 - アクティブモード**
アクティブモードでは、Plesk は listen する IP アドレスとポート番号を外部サーバに送信し、そのサーバが TCP 接続を開始します。Plesk で管理するサーバがファイアウォールで保護されていない場合、このモードを推奨します。
 - パッシブモード**
パッシブモードは、Plesk で管理するサーバがファイアウォール内にあり、受信 TCP 接続を受け付けられない場合に使用可能です。

* 必須フィールド

OK
キャンセル

ステージングサイトの開発環境を準備する場所などを設定します。

[Plesk 内のウェブサイト]：同じサーバー上の別サイトにコピーを作成します。

「サイト名」：コピー作成先のドメインまたはサブドメインを選択します。

※あらかじめ別のサブドメインを追加しておく必要があります。

「既存ファイルに対して行う操作」を下記から選択します。

[既存ファイルをコピー先サイトに残す]では、コピー先サイトにある名前の重複する既存ファイルを上書きしてコピーします。

[すべての既存ファイルを削除する]では、コピー先サイト内の全ファイルをコピー前に削除します。

[FTP ストレージ]：外部サーバーに FTP にてウェブサイトファイルをコピーします。

「サーバホスト名」：コピー先のサーバホスト名を入力します。

「ポート」：ポート番号が表示されます。

「ディレクトリ」：コピー先のディレクトリを入力します。

「ユーザ名」：コピー先の FTP ユーザー名を入力します。

「パスワード」：コピー先の FTP パスワードを入力します。

「FTP 接続方法」：コピー先の FTP アカウントへの接続方法を[アクティブモード]または[パッシブモード]から選択できます。

※通常は [アクティブモード] オプションを選択します。

ログ

ウェブサーバの過去 1 ヶ月分のログを解析し、関連する警告とエラーメッセージを表示します。ユーザーツールでは、以下のログの情報が表示されます。

- Apache アクセス (access_log) :
このログは、ウェブサーバに処理されたすべての HTTP 要求を記録します。
- Apache SSL アクセス (access_ssl_log) :
このログは、ウェブサーバに処理されたすべての HTTPS 要求を記録します。
- Apache エラー (error_log) :
要求の処理中にウェブサーバに発生したすべてのエラーが記録されます。また、このログには、「ウェブアプリケーションファイアウォール」の診断情報も含まれます。

ログを確認

(1) [ログ]をクリックします。

The screenshot shows the 'User Tools' interface for a website named 'sample-domain.jp'. The interface is in Japanese and includes various management tools. A red box highlights the 'ログ' (Logs) icon in the bottom left corner of the main content area. The interface also shows resource usage statistics on the right side, such as disk space and traffic usage.

(2) 「ログ」画面は、以下の3つの部分で構成されています。

※「ログ」をクリックした時点までの「スナップショット」が表示されます。

新たにログインされるメッセージは表示されません。

ユーザーツール » ウェブサービス ◀ ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン sample-domain.jp

sample-domain.jp のログ

すべてのログ ▼

From ▼ すべて ▼ IP コード メッセージ

日付	タイプ	IP	コード	メッセージ	R	エージェント	サイズ	ソース
2017-12-27 11:42:49	Error	207.46.13.76	404	GET /robots.txt HTTP/1.1		👤	475	Apache アクセス
2017-12-27 11:42:52	Access	207.46.13.141	200	GET / HTTP/1.1		👤	780	Apache アクセス
2017-12-28 04:26:54	Error	66.249.64.220	404	GET /robots.txt HTTP/1.1		👤	479	Apache アクセス

(1)

[リアルタイム更新を開始] : 新しいログを継続的にリストに追加できます。
 ※[リアルタイム更新を開始]をクリックすると、[リアルタイム更新を停止]に変わります。
 リアルタイム更新を停止する場合は、ここをクリックします。

[更新] : ログイン済みメッセージのリストは、[更新] をクリックして更新できます。

[すべてのログ] : ログの種類ごとに絞り込みを行えます。また、ログファイル管理が行えます。

(2)

「From」 : ログの日時を指定し、検索したい日時のログを表示します。
 ●(時) : ●(分) ●(日)●(月) ●●●●(年)と入力します。






00 : 00 01 1月 2000 適用 クリア
[時間前](#) [前日](#)

[適用] : 入力した日時以降を検索します。
[クリア] : 検索をキャンセルします。
[時間前] : 現在の約1時間前の日付時間が設定されます。
[前日] ボタン : を押すと、現在の1日前の日時が設定されます。

「すべて」 : ログの状態から検索します。
 ログの状態は「Access」「Warning」「Error」から絞り込み検索できます。
 検索したい項目にチェックを入れてください。

Access
 Warning
 Error

「IP」 : IPアドレスから検索します。

	<p>「」：ステータスコードから検索します。</p> <p>「」：ログメッセージから検索します。</p>
(3)	<p>「日付」：ログの日時を表示します。</p> <p>「タイプ」：ログの状態「Access」「Warning」「Error」を表示します。 ※ログの状態によりログの表示色が変わります。 「Access」：黒色、「Warning」：オレンジ色、「Error」：赤色で表示されます。</p> <p>「IP」：IP アドレスを表示します。</p> <p>「コード」：ステータスコードを表示します。</p> <p>「メッセージ」：ログメッセージを表示します。</p> <p>「R」：どこのリンクからページが表示されたのかを表示します。 ※  オンマウスで URL を確認できます。</p> <p>「エージェント」：ファイルにアクセスした際のパソコン情報、及びブラウザ情報を表示します。 ※  : エージェント情報を取得している場合のアイコンです。 ※  : エージェント情報を取得していない場合のアイコンです。</p> <p>「サイズ」：ログサイズを表示します。</p> <p>「ソース」：対象ログの種類を表示します。</p>

バックアップマネージャ

データバックアップ機能と復元機能を使用して、以下の操作を実行できます。

- ・個別ユーザアカウントのバックアップ（ウェブサイトを含む）。
- ・個別契約（ウェブスペース）をバックアップする
- ・バックアップをスケジュールする。
- ・バックアップアーカイブからデータを復元する。

【ご注意】

バックアップはウェブ使用容量として計算されます。

頻繁にバックアップを取られる場合やスケジュールバックアップを取られる際は、定期的に不要なバックアップファイルを削除していただくことをおすすめいたします。

[バックアップマネージャ] をクリックします。

データベース画面からもバックアップマネージャに遷移することが可能です。

「バックアップマネージャ」画面は、以下の構成になります。

ユーザーツール » ウェブサービス < ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン

バックアップマネージャ

(1)

バックアップ アップロード 削除 スケジュール FTPストレージ設定

(2)

合計バックアップ数: 27, サイズ: 119 M ページ: 最初 << 1 2 3 >> 最後 ページあたりのエントリ数: 10 25 100 すべて

<input type="checkbox"/>	S	作成日	コメント	システムノート	サイズ
<input type="checkbox"/>	✓	2018/01/31 00:06	Scheduled Backup. All configuration and content.	増分	+190 KB ↓
<input type="checkbox"/>	✓	2018/01/30 00:06	Scheduled Backup. All configuration and content.	増分	+191 KB ↓
<input type="checkbox"/>	✓	2018/01/29 00:06	Scheduled Backup. All configuration and content.	増分	+191 KB ↓
<input type="checkbox"/>	✓	2018/01/28 00:06	Scheduled Backup. All configuration and content.	増分	+190 KB ↓
<input type="checkbox"/>	✓	2018/01/27 00:06	Scheduled Backup. All configuration and content.	増分	+225 KB ↓
<input type="checkbox"/>	✓	2018/01/26 00:06	Scheduled Backup. All configuration and content.		29.8 MB ↓
<input type="checkbox"/>	✓	2018/01/25 00:06	Scheduled Backup. All configuration and content.	増分	+226 KB ↓
<input type="checkbox"/>	✓	2018/01/24 00:06	Scheduled Backup. All configuration and content.	増分	+226 KB ↓
<input type="checkbox"/>	✓	2018/01/23 00:06	Scheduled Backup. All configuration and content.	増分	+227 KB ↓
<input type="checkbox"/>	✓	2018/01/22 00:06	Scheduled Backup. All configuration and content.	増分	+227 KB ↓

合計バックアップ数: 27, サイズ: 119 M ページ: 最初 << 1 2 3 >> 最後 ページあたりのエントリ数: 10 25 100 すべて

(3)

(1)	<p>[バックアップ]: バックアップを作成します。</p> <p>[アップロード]: ローカルコンピュータからサーババックアップストレージにバックアップファイルをアップロードします。</p> <p>[削除]: 選択したバックアップをサーバストレージから削除します。</p> <p>[スケジュール]: スケジュールしたバックアップタスクの設定を指定します。</p> <p>[FTPストレージ設定]: バックアップファイルを保存するリモートFTPストレージの設定を指定します。</p>
(2)	<p>検索ボックス: バックアップの検索ができます。</p>
(3)	<p>バックアップした情報を表示します。</p> <p>「S」: 有効なバックアップで、データの復元が可能な場合、緑のチェックマークが表示されます。</p> <p>「作成日」: バックアップの作成日を表示します。</p> <p>※バックアップから復元を行う際には復元したいバックアップの作成日をクリックし、復元する事が出来ます。</p> <p>「コメント」: バックアップ作成時に設定した任意のコメントが表示されます。</p> <p>「システムノート」: バックアップの種類が表示されます。</p> <p>「サイズ」: バックアップの容量が表示されます。</p>

バックアップを作成

以下のデータをバックアップできます。

- ・「ドメイン構成」：このバックアップはサイズが小さく、構成に問題がある場合にサイト設定を復元するのに便利です。
- ・「ドメインの構成とコンテンツ」：このタイプのバックアップでは、データベースを含め、すべてのウェブサイトのコンテンツも保存されるため、ディスクスペースが余分に必要となります。このバックアップは、データの損失を防ぐために最適です。

- (1) バックアップマネージャ画面の[バックアップ]をクリックします。
- (2) 「契約のバックアップ」画面は、以下の2つの部分から構成されています。

ユーザーツール » ウェブサービス ◀ ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン > バックアップマネージャ

契約のバックアップ

バックアップのコンテンツ

バックアップ ドメイン構成
 メールの構成とコンテンツ
 ユーザファイルおよびデータベース

保存場所 サーバストレージ
 FTP ストレージ [sample.com/httpdocs/sampledomain-backup/ 変更を設定](#)

タイプ フル
 増分
前回のバックアップ後に変更されたウェブホスティングデータをバックアップします (データベースデータは常にフルバックアップされます)。

バックアップ設定

コメント

ログファイルを除外
 バックアップから特定のファイルを除外
 バックアップタスクの完了時に、次の宛先に通知メールを送信
 バックアップ作業が完了するまでドメインを一時停止
バックアッププロセス中、ウェブサイトへの訪問者はカスタムエラードキュメントページに、検索エンジンフレンドリーな HTTP コード 503 でリダイレクトされます。

- | | |
|-----|---|
| (1) | <p>「バックアップ」： [ユーザファイルおよびデータベース]を選択してください。</p> <p>※[ドメイン構成]のバックアップ内容： サイト構成、データベースの設定および構成、SSL 証明書</p> <p>※[メールの構成とコンテンツ]： こちらはご利用いただけません。チェックをいれていただいてもメールのバックアップは取ることができませんので、ご了承ください。</p> <p>※[ユーザファイルおよびデータベース]のバックアップ内容：</p> <p>上記[ドメイン構成]に加え、データベースのデータ、サイトのコンテンツデータ、ログおよび統計情報、カスタムエラーページ</p> <p>「保存場所」： [サーバストレージ]または[FTP ストレージ]から選択できます。</p> <p>※FTP ストレージ設定が完了していない場合は、FTP ストレージ設定リンク[構成]が表示されます。</p> <p>「タイプ」： [フル]または[増分]から選択できます。</p> <p>「フル」： バックアップを作成するたびに、データの最終更新日時を問わずすべてのデー</p> |
|-----|---|

	<p>タがバックアップに含まれます。</p> <p>「増分」: 増分バックアップには、前回バックアップを作成した日時以降に変更されたデータのみが含まれます。</p> <p>※増分バックアップを使用すると、バックアップの処理時間が飛躍的に短縮され、バックアップファイルが占有するディスク容量を抑えることができます。</p> <p>※バックアップの種類が[ドメイン構成]で選択している場合は、タイプは[フル]のみとなります。</p>
(2)	<p>「コメント」: バックアップの内容について任意でコメントを残せます。</p> <p>「バックアップタスクの完了時に、次の宛先に通知メールを送信」: 送信する場合、項目にチェックを入れ、受信可能なメールアドレスを入力してください。</p> <p>「バックアップ作業が完了するまでドメインを一時停止」: バックアッププロセス中、ウェブサイトへの訪問者はカスタムエラーメッセージページに、検索エンジンに対応する HTTP コード 503 でリダイレクトされます。</p>

バックアップを作成された際、サーバーの仕様上、以下のようなエラーが発生する場合がありますが、バックアップファイルに問題はありませぬ。このエラーが発生しても、正常に復元が可能となります。

The screenshot shows the 'Backup Manager' interface. At the top, there is a navigation bar with 'ユーザーツール' and 'ウェブサービス'. Below it, the page title is 'バックアップマネージャ'. A green information message states: '情報: バックアッププロセスが開始されました。' Below this, a yellow warning message is highlighted with a red box: '警告: バックアップ 2018/01/31 17:34 が作成され、復元可能になっていますが、軽微な問題が発生しました。 ログファイルをダウンロード ログを表示 このメッセージを閉じる'. The interface includes buttons for 'バックアップ', 'アップロード', '削除', 'スケジュール', and 'FTPストレージ設定'. A table lists backup tasks with columns for '作成日', 'コメント', 'システムノート', and 'サイズ'. One task is listed with a yellow warning icon in the '作成日' column: '2018/01/31 17:34 全ての構成とコンテンツ' with a size of '9.21 MB'.

バックアップファイルのアップロード

ローカルコンピュータにダウンロードし、保存していたバックアップデータをサーバーへアップロードする際に本機能を利用します。

- (1) バックアップマネージャ画面で[アップロード]をクリックします。
- (2) 「アップロード」画面は、以下の2つの部分から構成されています。

ユーザーツール » ウェブサービス ← ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン > バックアップマネージャ

ローカルコンピュータからサーバストレージへのバックアップファイルのアップロード

ここで Plesk ストレージにバックアップファイルをアップロードできます。最大ファイルサイズは 2 GB に制限されています。

バックアップファイル 選択されていません

(1)

バックアップのセキュリティ設定

このバックアップに対してパスワード保護を使用した場合、下のフィールドにパスワードを入力してください。パスワードを誤入力すると、警告が表示されますが、サーバへのバックアップファイルのアップロードは実行されます。バックアップを復元するときに、このパスワードの入力が再び要求されます。

パスワード保護を使用する (推奨)

パスワード* (2)

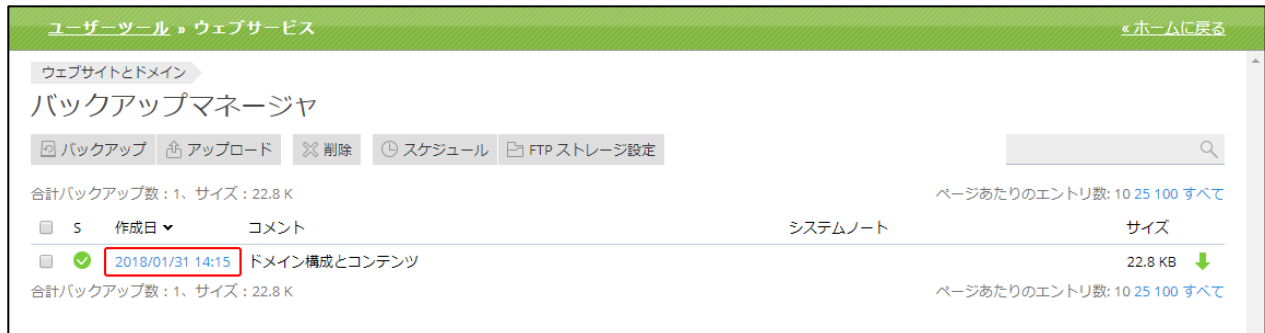
* 必須フィールド

(1)	<p>「バックアップファイル」：アップロードするバックアップファイルを選択できます。</p> <p>[追加ファイルをアップロード]：バックアップファイルが複数ある場合に追加できます。</p> <p>[削除]：をクリックすると、追加した欄やファイルが削除できます。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>バックアップファイル <input type="button" value="参照..."/> ファイルが選択されていません。</p> <p><input type="button" value="参照..."/> ファイルが選択されていません。 <input type="button" value="削除"/></p> <p><input type="button" value="追加ファイルをアップロード"/></p> </div> <p>※ブラウザによって表示が異なる場合がございます。</p>
(2)	<p>「パスワード保護を使用する」：バックアップがパスワードで保護されている場合は、チェックを入れます。</p> <p>「パスワード」：パスワードを入力してください。</p>

バックアップを復元

(1) 復元したいバックアップデータの選択。

バックアップからデータを復元したい場合は、バックアップマネージャのバックアップ一覧画面から、復元したいバックアップの「作成日」をクリックします。



ここでは作業例として、「ドメイン構成とコンテンツ」を含むフルバックアップデータを選択します。

(2) 復元したいデータを選択します。

※補足：ここで選択したバックアップデータをローカルにダウンロードしたい場合は、「ダウンロード」のリンクをクリックして頂くと、「バックアップファイルのダウンロード」画面が開き、ダウンロードが出来ます。

ユーザーツール » ウェブサービス < ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン > バックアップマネージャ

2018/01/31 17:45 に作成されたバックアップを復元

説明

作成日: 2018/01/31 17:45
 コメント: ドメイン構成とコンテンツ
 システムノート: 顧客が作成
 バックアップサイズ: 9.21 MB
[ダウンロード](#)

バックアップのコンテンツ

バックアップの内容: **ドメインの構成とコンテンツ**

復元対象範囲: 選択したオブジェクト
 すべてのオブジェクト (システム全体)

復元対象オブジェクトのタイプ: データベース

データベース

使用可能:

-
- sample-domain_wordpress_u (localhost:3306)
- sample-domain_test001 (localhost:3306)

選択済み:

選択されたオブジェクトがありません

オブジェクトをクリックするか、チェックボックスを使用してください

復元オプション

復元: 選択したオブジェクトの構成とコンテンツ
 選択したオブジェクトの構成のみ

復元が完了するまでドメインを一時停止
 復元プロセス中はドメインを使用できません。

復元作業の完了時に通知を送信

* 必須フィールド

バックアップの内容	バックアップの内容に応じて「ドメインの構成とコンテンツ」か「ドメイン構成」が表示されます。
復元対象範囲	「選択したオブジェクト」「すべてのオブジェクト (システム全体)」のどちらかを選択出来ます。「選択したオブジェクト」を選択する場合は、「復元対象オブジェクトのタイプ」の選択項目が表示されます。
復元対象オブジェクトのタイプ	上記の「復元対象範囲」で「選択したオブジェクト」を選択した場合、「データベース」「SSL 証明書」「サイト」「ドメインのファイル」から復元項目を選択する事ができます。 データベース：データベース定義及び、データベースのデータ SSL 証明書：サイトで利用している独自ドメインの SSL 証明書 サイト：各サイトのウェブサーバの設定情報及びコンテンツデータ ドメインのファイル：ウェブサイトのコンテンツデータ

復元オプション	<p>「選択したオブジェクトの構成とコンテンツ」「選択したオブジェクトの構成のみ」のどちらかを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 選択したオブジェクトの構成とコンテンツ データベース：データベース定義及び、データベースのデータ SSL 証明書：サイトで利用している独自ドメインの SSL 証明書 サイト：各サイトのウェブサーバの設定情報及びコンテンツデータ ドメインのファイル：ウェブサイトのコンテンツデータ • 選択したオブジェクトの構成のみ データベース：データベース定義のみ SSL 証明書：サイトで利用している独自ドメインの SSL 証明書 サイト：各サイトのウェブサーバの設定情報のみ ドメインのファイル：ウェブサイトのコンテンツデータ
復元が完了するまでドメインを一時停止	復元処理中は、検索エンジンに対応する HTTP コード 503 が表示されます。
復元作業の完了時に通知を送信	復元作業が完了した際に、メールで結果を報告する事が出来ます。

復元対象オブジェクトのタイプで「SSL 証明書」を選択した際の画面表示例。

※復元可能な SSL 証明書を選択できる画面が表示されます。



復元対象オブジェクトのタイプで「サイト」を選択した際の画面表示例。

※復元可能なサイトを選択できる画面が表示されます。

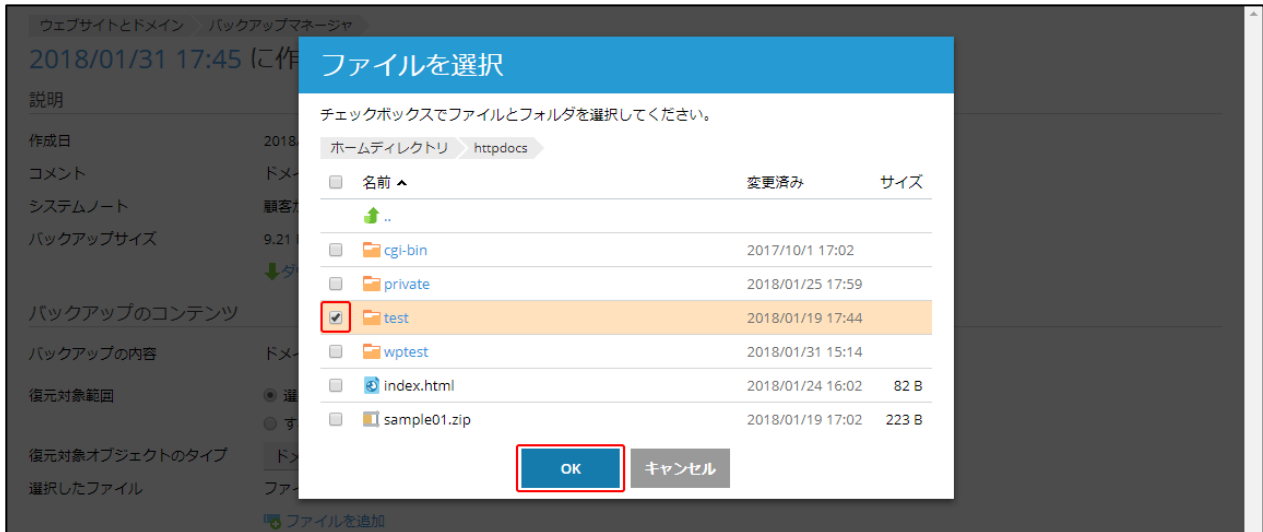


復元対象オブジェクトのタイプで「ドメインのファイル」を選択した際の画面表示例。

※「ファイルを追加」のリンクが表示されるので、クリックし、復元したいファイルを選択します。

復元対象オブジェクトのタイプ	ドメインのファイル ▼
選択したファイル	ファイルが選択されていません
	ファイルを追加

ファイル選択画面の表示例



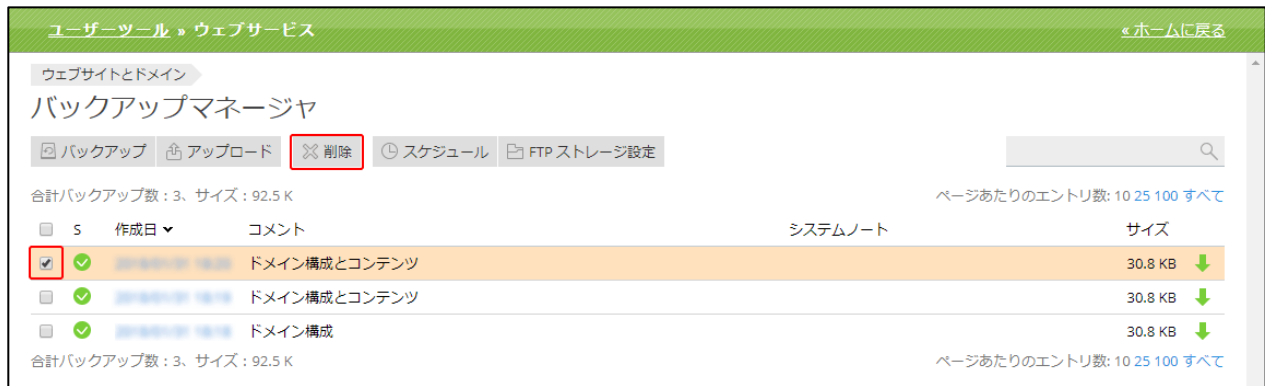
復元したいファイルやディレクトリを選択し「OK」ボタンを押します。

バックアップファイルの削除

バックアップストレージからバックアップファイルを削除することができます。

不要なバックアップを削除、またはディスクスペースを確保したい際に行います。

(1) 削除対象のバックアップファイルにチェックを入れて、**[削除]**をクリックします。



ユーザーツール » ウェブサービス < ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン

バックアップマネージャ

バックアップ アップロード **削除** スケジュール FTP ストレージ設定

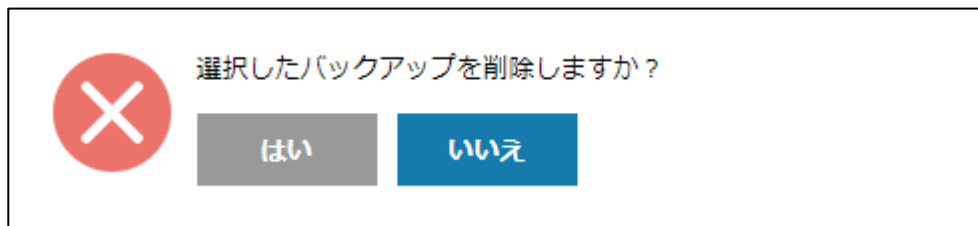
合計バックアップ数: 3、サイズ: 92.5 K ページあたりのエントリ数: 10 25 100 [すべて](#)

<input type="checkbox"/>	S	作成日	コメント	システムノート	サイズ
<input checked="" type="checkbox"/>	✓	2024/01/01 10:00	ドメイン構成とコンテンツ		30.8 KB ↓
<input type="checkbox"/>	✓	2024/01/01 10:00	ドメイン構成とコンテンツ		30.8 KB ↓
<input type="checkbox"/>	✓	2024/01/01 10:00	ドメイン構成		30.8 KB ↓

合計バックアップ数: 3、サイズ: 92.5 K ページあたりのエントリ数: 10 25 100 [すべて](#)

(2) 確認メッセージが表示されます。

削除する場合は**[はい]**、削除をやめる場合は**[いいえ]**をクリックします。



× 選択したバックアップを削除しますか？

はい いいえ

バックアップのスケジュール

バックアップタスクをスケジュール化して自動実行できるようにすることができます。

- (1) バックアップマネージャ画面で[スケジュール]をクリックします。
- (2) 「スケジュール」画面は、以下の2つの部分から構成されています。

ユーザーツール » ウェブサービス ◀ ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン > バックアップマネージャ

スケジュール済みバックアップの設定

スケジュール

このバックアップタスクをアクティブにする

バックアップタスクの実行スケジュール at :
タイムゾーン: +09:00 GMT

増分バックアップを使用

フルバックアップを実行

バックアップファイルの保存期間
フルバックアップを自動削除しない場合、このフィールドは空欄にしてください。

バックアップ設定

バックアップ ドメイン構成
 メールの構成とコンテンツ
 ユーザファイルおよびデータベース

保存場所 サーバストレージ
 FTP ストレージ `sample.com/httpdocs/sampledomain-backup/` [変更を設定](#)

このバックアップタスクを実行中にエラーが発生したときに、次の宛先に通知メールを送信

バックアップ作業が完了するまでドメインを一時停止
バックアッププロセス中、ウェブサイトへの訪問者はカスタムエラードキュメントページに、検索エンジンフレンドリーな HTTP コード 503 でリダイレクトされます。

OK 適用する キャンセル

(1)	<p>「このバックアップタスクをアクティブにする」：設定したバックアップスケジュールを有効にする際にチェックを入れます。</p> <p>「バックアップタスクの実行スケジュール」：バックアップをいつ、どのような頻度で実行するかを指定します。</p> <p>「増分バックアップを使用」：ディスクスペース使用量を抑え、バックアッププロセスの実行時間を短縮する場合にチェックを入れます。</p> <p>「フルバックアップを実行」：フルバックアップを実行する頻度を指定します。</p> <p>※「増分バックアップを実行」にチェックが入っている場合に表示。</p> <p>「バックアップファイルの保存期間」：古いバックアップを自動削除する場合は、バックアップファイルの保存期間を指定します。フルバックアップを自動削除しない場合、このフィールドは空欄にしてください。</p> <p>※バックアップはご契約のディスク容量を気づかない内に圧迫しますので、長くても2週間程度で削除される事をお勧め致します。</p>
(2)	<p>「バックアップ」：ドメイン構成、ユーザファイルおよびデータベースより選択できます。</p> <p>※メールの構成とコンテンツが選択肢にございますが、この項目はご利用いただけません。</p> <p>「保存場所」：[サーバストレージ]または[FTP ストレージ]から選択できます。</p> <p>※FTP ストレージ設定が完了していない場合は、FTP ストレージ設定リンク[構成]が表示されます。</p> <p>「このバックアップタスクを実行中にエラーが発生したときに、次の宛先に通知メールを送信」：バックアップエラー発生時のメール通知。バックアップでエラーが発生した場合にメール通知を送信するには、メールアドレスを入力します。</p> <p>「バックアップ作業が完了するまでドメインを一時停止」：このオプションを選択すると、ウェブサイトのバックアップ中にコンテンツや設定を変更すること禁止されます。</p>

FTP ストレージ設定

バックアップを外部の FTP サーバーに保存する際に有効な機能となります。

※弊社のサービスとは別に外部サーバーをお持ちの場合にご利用頂ける機能となります。

- (1) バックアップマネージャ画面の[FTP ストレージ設定]をクリックします。
- (2) FTP ストレージ設定画面は、以下の 2 つの部分から構成されています。

ユーザーツール » ウェブサービス < ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン > バックアップマネージャ

FTP ストレージ設定

FTP ストレージを使用

FTP サーバのホスト名または IP *

バックアップファイルストレージのディレクトリ
例: /myfolder/mybackups/

FTP ユーザ名 *

FTP パスワード

パッシブモードを使用

FTPS を使用

(1)

バックアップのセキュリティ設定

パスワードによって Plesk バックアップをセキュリティ強化できます。Plesk データベースに保存されたユーザパスワードが暗号化されます。パスワードを指定せずにパスワード保護されたバックアップを復元すると、Plesk がユーザパスワードをランダムに生成します。

パスワード保護を使用する (推奨)

パスワード *

パスワード再入力 *

(2)

* 必須フィールド

OK 適用する キャンセル

(1)	<p>「FTP ストレージを使用」: バックアップファイルの保存に FTP サーバーを使用する場合は、チェックを入れます。</p> <p>「FTP サーバーのホスト名または IP」: FTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力します。</p> <p>「バックアップファイルストレージのディレクトリ」: バックアップファイルの保存先サーバーのディレクトリを入力します。</p> <p>「FTP ユーザー名」: FTP サーバーにアクセスするユーザー名を入力します。</p> <p>「FTP パスワード」: FTP サーバーにアクセスするユーザー名のパスワードを入力します。</p> <p>「パッシブモードを使用」: FTP パッシブモードの使用の有無となります。指定した FTP サーバーへの接続が失敗する場合、このオプションをオンにしてお試しください。「FTP ストレージ設定」画面で[OK]をクリックすると接続をテストが実行されます。</p> <p>「FTPS を使用」: FTPS の使用の有無となります。FTP サーバーがこのプロトコルをサポートする場合、これを使用してセキュリティを強化することができます。</p>
(2)	<p>「パスワード保護を使用する」: バックアップデータをパスワードで保護する場合は、チェックを入れます。</p> <p>「パスワード」: パスワードを入力してください。</p> <p>「パスワード再入力」: 確認のため、もう一度パスワードを入力してください。</p> <p>※セキュリティ上の理由から、バックアップに含まれる機密情報はパスワードで保護することをお勧めします。バックアップにパスワードが含まれている場合、特に注意が必要です。このような保護によって、バックアップストレージにセキュリティ侵害が発生しても、機密情報が攻撃者の手に渡りません。バックアップの保護に使用したパスワードは、忘れても確認することができます。パスワードとバックアップファイル名のリストは、安全な場所に保管してください。</p>

データベース

ウェブサイトにデータベースを参照するアプリケーションを組み込む、またはウェブページを動的に生成するには、ほとんどの場合、データの保存や取得のためのデータベースが必要になります。

ユーザーツールでは、以下を実行することができます。

- 手動でサイトのデータベースを作成する。
- データベースのコピーを作成する。
- データベースユーザアカウントの管理とアクセスルールのセットアップを行う。
- 接続情報を表示する（ホスト名、データベース名、ユーザ名）。
- データベースに問題がないかチェックし、データベースを修復する。
- データベースダンプをエクスポート/インポート、またはバックアップする。
- phpMyAdmin または phpPgAdmin でデータを管理する。

これらの作業は、[データベース] から行います。

The screenshot displays the 'User Tools' interface for website management. At the top, it shows 'sample-domain.jp' and various site settings like IP address and system user. A navigation bar includes 'File Manager', 'Database' (highlighted with a red box), and 'WordPress Install'. Below this, a grid of service icons is visible, including 'Web Hosting Access', 'FTP Access', 'Let's Encrypt', 'PHP Settings', 'Applications', 'File Manager', 'Web Statistics', 'Whois Information', 'SSL/TLS Certificates', 'Web Application Firewall', 'Password Protection Directory', and 'Log'. On the right side, there is a sidebar with 'Backup Management', 'Database' (highlighted with a red box), 'Scheduler Tasks', and 'WordPress'. Below the sidebar, a 'Resource Usage' section shows disk space and traffic statistics.

データベースの画面構成

データベース画面は、以下の5つの部分から構成されています。

※データベースがまだ作成されていない場合は、(2)～(4)は表示されません。



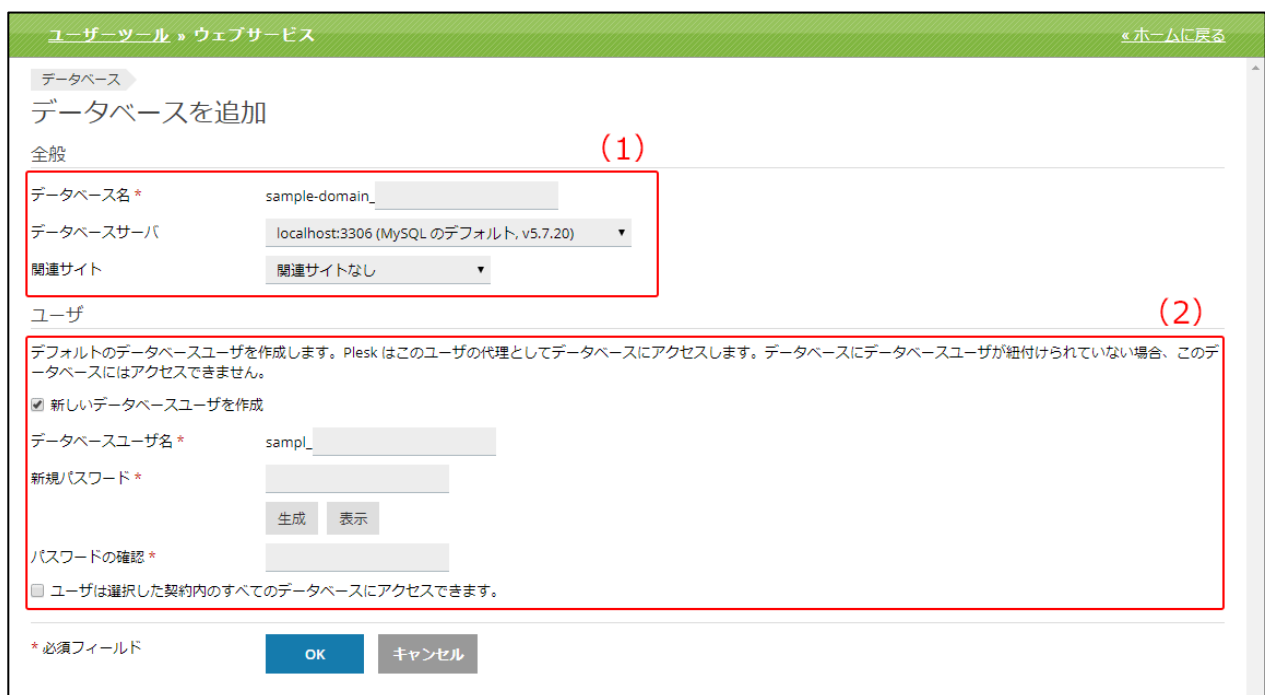
(1)	データベースの追加や、表示内容の設定項目です。 [データベースを追加] ボタンを押すと、データベースの新規作成が行えます。 [ドメインリスト設定ボタン] : データベースの並び替えや表示順の変更が行えます。
(2)	データベース名と関連付けされた管理画面が表示されます。 MySQL の場合は[phpMyAdmin]、PostgreSQL の場合は[phpPgAdmin]へのリンクボタンがあります。
(3)	ホスト名、ユーザー情報、容量などが表示されます。
(4)	データベースに関わる様々なツールアイコンが表示されます。 [phpMyAdmin] / [phpPgAdmin] : このリンクからデータベース管理画面にアクセスすることができます。 ※データベースのタイプに応じてリンクは異なります。 [接続情報] : ホスト名やデータベースユーザーのアカウント情報など、データベースの接続に必要な情報が確認できます。 [コピー] : データベースの完全なコピーの作成を行う、またはデータベースのコンテンツを既存データベースにコピーすることができます。 [ダンプをエクスポート] : データベースのコピーをエクスポートできます。 [ダンプをインポート] : データベースのコピーをインポートできます。 [チェックして修復] : テーブル構造の破損などの問題をチェックし、修復できます。 [データベースを削除] : データベースを削除できます。
(5)	データベースユーザーを作成、更新、削除できます。

データベースの作成

- (1) 「データベース」画面の[データベースを追加]をクリックします。



- (2) 「データベースを追加」画面は、以下の2つの部分から構成されています。



(1)	<p>データベース全般の設定ができます。</p> <p>「データベース名」: データベースの名前を指定します。</p> <p>「データベースサーバ」: 作成するデータベースサーバーを MySQL または PostgreSQL から選択できます。</p> <p>「関連サイト」: データベースを使用するウェブサイトを選択できます。</p>
(2)	<p>新しいデータベースユーザを作成するための設定ができます。</p> <p>「新しいデータベースユーザを作成」: データベースユーザの新規作成をする場合はチェックを入れてください。</p> <p>※データベースには、ユーザーが 1 人以上紐付けられている必要があります。ユーザーが紐付けられていない場合、データベースにアクセスできません。データベースの作成中にデータベースユーザを作成するには、[新しいデータベースユーザを作成] にチェックを入れてください。あるいは、既存のユーザアカウントを使用したい場合などは、後で「データベースユーザ」画面からユーザーを選択することもできます。</p> <p>「データベースユーザ名」: 任意のデータベースユーザ名を入力してください。</p> <p>「新規パスワード」: 新しいパスワードを入力してください。</p> <p>[生成]: パスワードを自動で生成します。</p> <p>[表示]: 入力したパスワードを表示したい時に使用します。</p> <p>「パスワードの確認」: 確認のため、もう一度パスワードを入力してください。</p> <p>「ユーザは選択した契約内のすべてのデータベースにアクセスできます」: データベースへのアクセスにデータベースユーザを使用する場合はチェックを入れてください。</p>

データベースの削除

インストールされたアプリケーションで使用されていないデータベースやデータベースユーザを削除することができます。

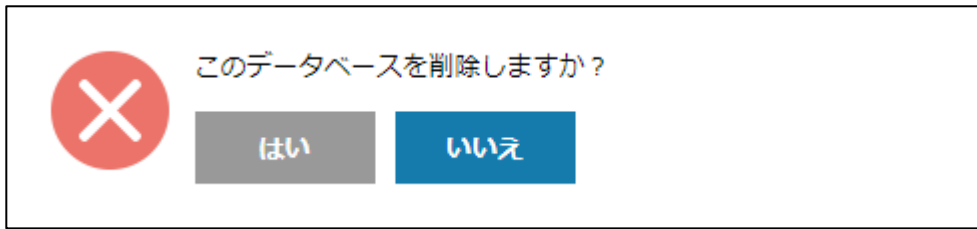
※アプリケーションで使用中のデータベースは削除できません。先に該当アプリケーションを削除してください。

- (1) データベースを削除する場合、「データベース」画面の[データベースを削除]をクリックします。



(2) 確認メッセージが表示されます。

削除する場合は[はい]、削除をやめる場合は[いいえ]をクリックします。



データベースにアクセスする

データベースを作成し、データベースユーザーの割り当てを行うと、データベース管理画面へアクセスできるようになります。以下の通り、データベースのタイプに応じてリンクの名称が異なります。

- phpMyAdmin : MySQL データベース用
- phpPgAdmin : PostgreSQL データベース用

データベースにアクセスする場合、[phpMyAdmin]／[phpPgAdmin]をクリックします。



データベースをコピーする

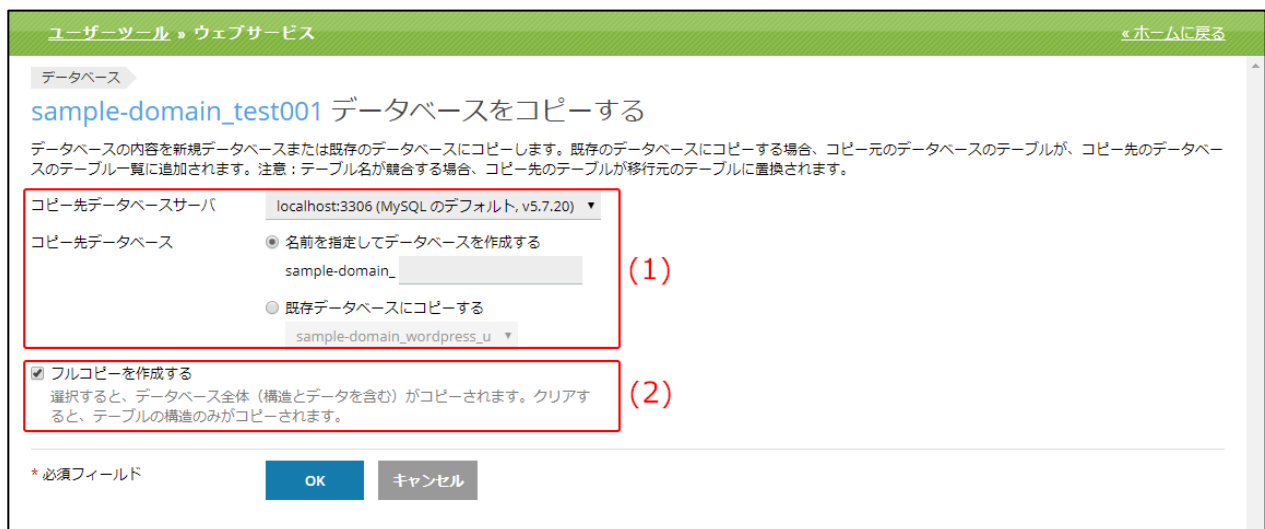
使用しているデータベースが MySQL の場合、ユーザーツールに登録されているデータベースサーバーから、別のデータベースサーバーやリモートサーバにデータベースをコピーすることができます。

※ただし、コピー元とコピー先のサーバーのタイプがともに MySQL でなければなりません。

- (1) 「データベース」画面の [コピー] をクリックします。



- (2) 「データベースをコピー」画面は、以下の2つの部分から構成されています。



<p>(1)</p>	<p>コピー先のサーバー、データベース名を指定します。</p> <p>「コピー先データベースサーバ」：ユーザーツール内のデータベースまたは、[その他]のデータベースを選択することができます。</p> <p>※既存のデータベースをコピー先として選択した場合、コピー先データベースのテーブルのうち、コピー元データベースのテーブルと名前が同じものはすべて上書きされます。</p> <p>「コピー先データベース」：「名前を指定してデータベースを作成する」または、「既存データベースにコピーする」を選択できます。</p>
<p>(2)</p>	<p>「フルコピーを作成する」：テーブルの構造に加え、データを含めたデータベース全体のコピーを行いたい場合にチェックを入れます。</p>

データベースユーザーのアカウント管理

サーバー上のデータベースにアクセスするために使用するユーザアカウントを管理します。

(1) データベースユーザーの管理は、データベース画面の[ユーザ管理]から行います。



特定のデータベースに対して、任意のデータベースユーザーを設定することができます。ユーザーツールでは、「すべてのデータベース」のアクセス権があるデフォルトユーザが存在する場合は、その他のユーザーが紐付けられている場合でも、常にこのデフォルトユーザを使用してデータベースへのアクセスが実行されます。

データベースに複数のユーザアカウントが紐付けられており、いずれもデフォルトに設定されていない場合は、リストの1番目のアカウントが使用されます。

(2) 「データベースユーザ」画面は、以下の3つの部分から構成されています。

The screenshot shows the 'データベースユーザ' (Database Users) management interface. It includes a toolbar with 'データベースユーザを追加' and '削除' buttons, a search box, and a table listing database users. The table has columns for '名前', 'データベース', and 'データベースサーバ'. The table contains two entries: 'sampl_domain' and 'sampl_wordpres_2'. The interface also shows a pagination bar at the bottom with '全 2 件' and 'ページあたりのエントリ数: 10 25 100 すべて'.

(1)	<p>[データベースユーザを追加]：データベースユーザの追加が行えます。</p> <p>[削除]：選択したデータベースユーザを削除できます。</p>
(2)	<p>検索ボックス：データベースユーザの検索ができます。</p>
(3)	<p>「名前」：データベースユーザー名を表示します。ユーザー名をクリックするとデータベースユーザの設定画面に遷移します。</p> <p>※「名前」をクリックすると名前で並び替えを変更できます。</p> <p>「データベース」：データベース名を表示します。</p> <p>「データベースサーバ」：データベースサーバー情報を表示します</p>

データベースユーザーのアカウント追加

- (1) データベース画面の[データベースユーザを追加]をクリックします。
- (2) 「データベースサーバーの追加」画面は、以下のように構成されています。

The screenshot shows a web interface for adding a database server. The page title is 'データベースサーバーの追加' (Add Database Server). The form includes the following fields and controls:

- データベースサーバ**: A dropdown menu with the selected value 'localhost:3306 (MySQL のデフォルト, v5.7.20)'.
- データベースユーザ名 ***: A text input field containing 'sampl_'. The asterisk indicates it is a required field.
- 新規パスワード ***: A text input field for a new password. Below it are two buttons: '生成' (Generate) and '表示' (Show).
- パスワードの確認 ***: A text input field for password confirmation. The asterisk indicates it is a required field.
- データベース**: A dropdown menu with the selected value 'すべて' (All).

At the bottom of the form, there is a legend: '* 必須フィールド' (Required field). Below the legend are two buttons: 'OK' and 'キャンセル' (Cancel).

追加するデータベースユーザーの設定ができます。

「データベースサーバ」：データベースサーバーを選択してください。

「データベースユーザ名」：任意のデータベースユーザー名を入力してください。

「新規パスワード」：新しいパスワードを入力してください

[生成]：パスワードを自動で生成します。

[表示]：入力したパスワードを表示したい時に使用します。

「パスワードの確認」：確認のため、もう一度パスワードを入力してください。

「データベース」：このユーザーがアクセス可能なデータベースの名前を指定します。全てのデータベースへのアクセスを許可する場合は[すべて]を選択します。

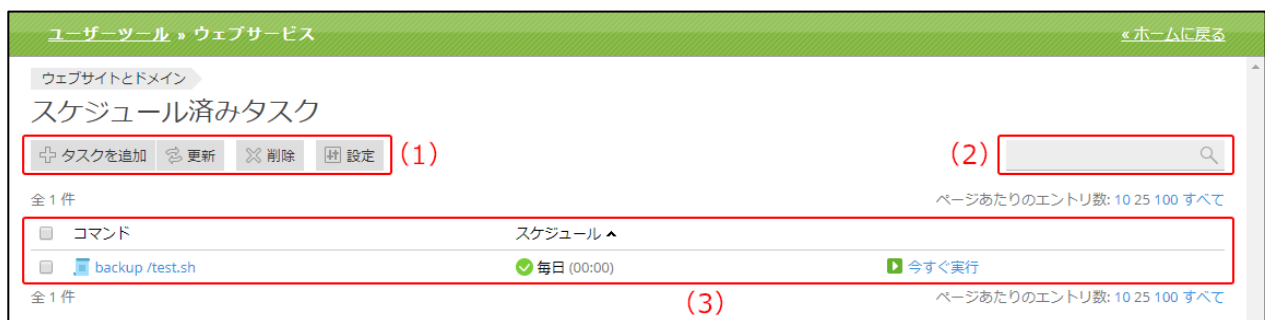
スケジュール済みタスク

サーバーのタスクスケジューラ(cron)機能を有効化して、システムでスクリプトを特定の時間に自動実行することができます。

(1) [スケジュール済みタスク]をクリックします。



(2) 「スケジュール済みタスク」画面は以下の構成となります。

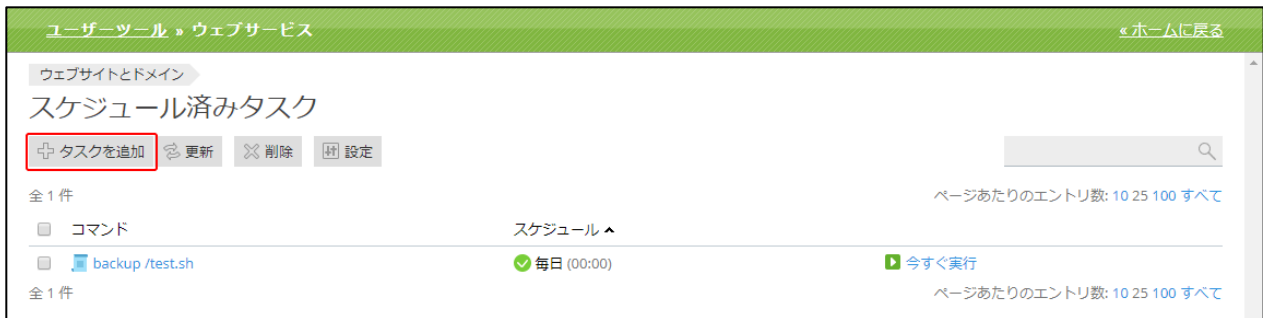


(1)	<p>[タスクを追加]：新規タスクが作成できます。</p> <p>[更新]：タスクのリストを読み込み直しできます。</p> <p>[削除]：設定されたタスクを削除できます。</p> <p>[設定]：スケジュール済みタスクの設定を編集します。</p>
(2)	<p>設定されたタスクを検索できます。</p>
(3)	<p>設定されたタスクを表示します。</p> <p>「コマンド」：タスク名を表示します。クリックするとタスクのプロパティを変更できます。</p> <p>「スケジュール」：タスクのスケジュールを表示します。</p> <p>※非アクティブ状態は「●」アイコンで、アクティブ状態は「✔」アイコンで表示されます。</p> <p>また、アイコンをクリックすると状態が変更できます。</p> <p>「今すぐ実行」：タスクを即時実行できます。</p>

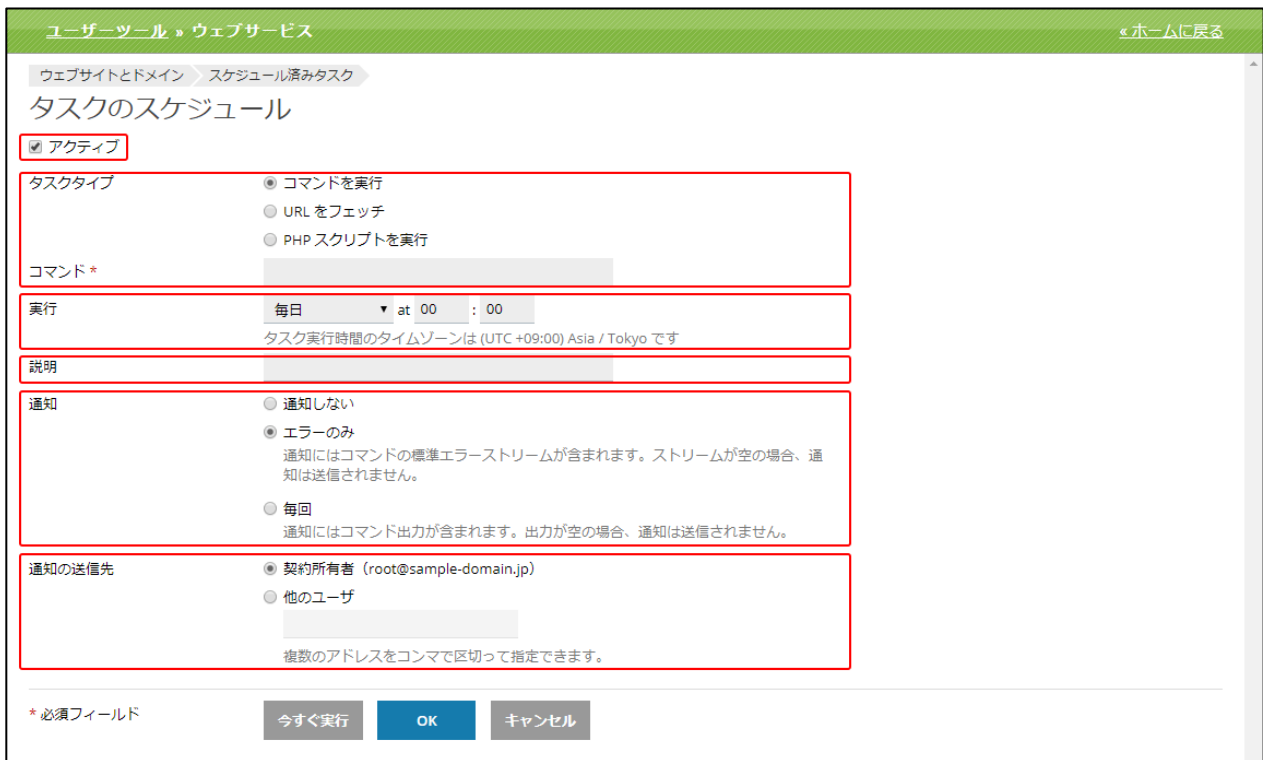
タスクを追加

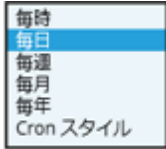
新規タスクを作成できます。

(1) 「スケジュール済みタスク」画面の[タスクを追加]をクリックします。



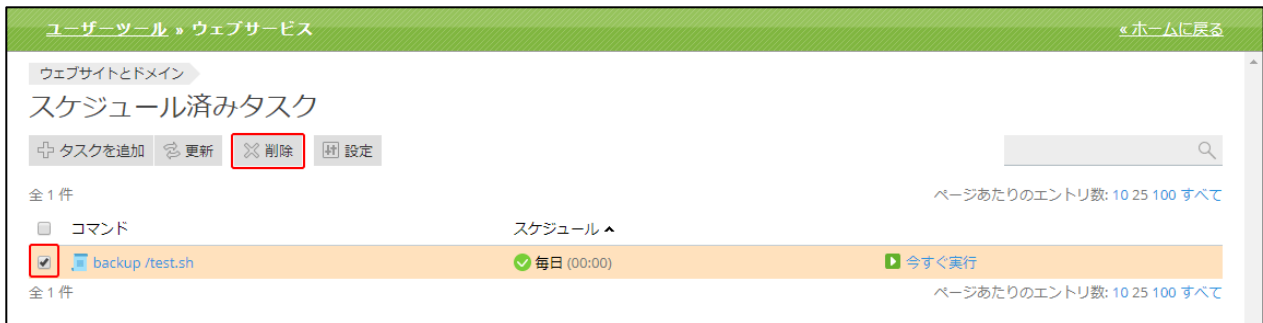
(2) 「タスクを追加」画面は以下の構成となります。



アクティブ	作成後すぐに有効にしたい場合はチェックを入れます。
タスクタイプ	<p>[コマンドを実行]：実行するコマンドファイルをフルパスで指定します。これには、バイナリファイル、シェルスクリプト、およびバッチファイルが含まれます。</p> <p>[URL をフェッチ]：URL のみを指定します。curl や wget など、コマンドを入力する必要はありません。</p> <p>[PHP スクリプトを実行]：仮想ホストディレクトリを基準に、スクリプトの相対パスと引数を指定します。「📄」アイコンをクリックして、スクリプトファイルを簡単に探すことができます。</p> <p>※入力欄は、選択したタスクタイプによって異なります。</p>
実行	<p>実行するコマンドの頻度（毎時/毎日/毎週/毎月/毎年/Cron スタイル）と時間を指定できます。</p>  <p>The image shows a dropdown menu with the following options: 毎時 (highlighted), 毎日, 毎週, 毎月, 毎年, and Cron スタイル.</p>
説明	タスクに説明を設定します。
通知	<p>スケジューラがタスク実行時に通知を送信するかどうかを指定します。</p> <p>「通知しない」：送信されません。</p> <p>「エラーのみ」：タスクがエラー終了した場合のみ送信されます。通知にはコマンドの標準エラー streams が含まれます。</p> <p>※ streams が空の場合、通知は送信されません。</p> <p>「毎回」：タスク実行時に毎回送信されます。通知にはコマンド出力が含まれます。</p> <p>※出力が空の場合、通知は送信されません。</p>
通知の送信先	<p>通知設定を「エラーのみ」または「毎回」を選択した場合に表示します。</p> <p>「契約オーナー」：()内に記載のメールアドレスに送信されます。</p> <p>「他のユーザ」：任意のメールアドレスを指定して送信できます。</p> <p>メールアドレスをコンマ(,)で区切って複数のメールアドレスを指定することもできます。</p>

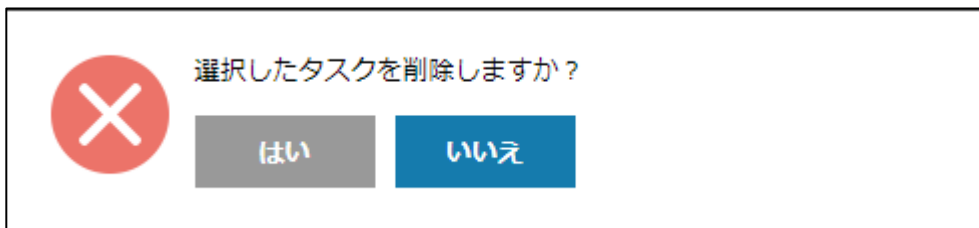
タスクをキャンセル

(1) 「スケジュール済みタスク」画面でキャンセルするタスクにチェックを入れて、[削除]をクリックします。



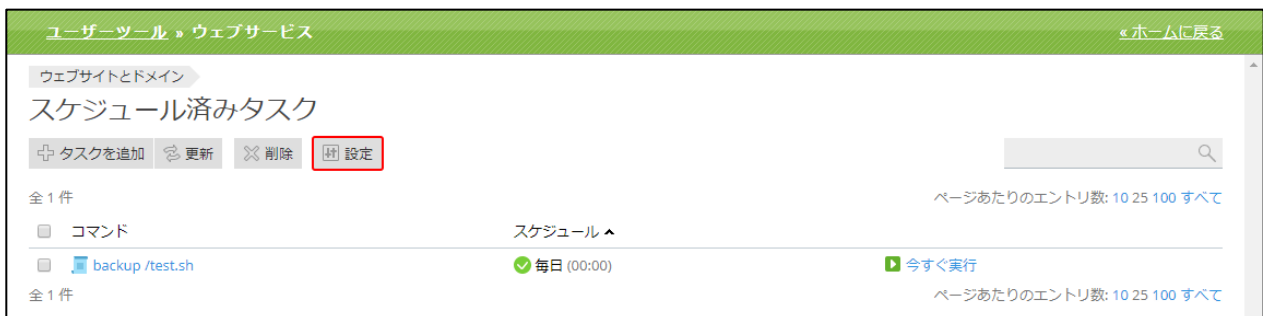
(2) 確認メッセージが表示されます。

削除する場合は[はい]、削除をやめる場合は[いいえ]をクリックします。



スケジュール済みタスクの設定

(1) 「スケジュール済みタスク」画面の[設定]をクリックします。



(2) 「スケジュール済みタスクの設定」画面は以下の構成となります。



タスクスケジュールの表示に使用するタイムゾーン	タスクスケジュールを実行する際の基準となるタイムゾーンを指定します。 「システムのデフォルトタイムゾーンを使用」：日本時刻を指定します。 「使用するタイムゾーンを指定」：日本以外の時刻を指定します。
-------------------------	---

WordPress

ご契約サイト内にインストールされた WordPress をリストで確認できます。

※インストールされた WordPress は「ウェブサイトとドメイン」画面からも情報を確認できます。

【ご注意】

- WordPress をインストールされたディレクトリ内にある index ファイルは自動削除または WordPress の index.php に自動置き換えとなります。
必ず事前にバックアップを取っていただいでからインストールを行ってください。
- 「WordPress」画面の[インストール]から WordPress をインストールされた場合、WordPress の言語が英語となり、インストール後にダッシュボード (WordPress の管理画面) から言語の変更を行っていただく必要がございます。

(1) [WordPress] をクリックします。



(2) インストールされている WordPress のリストを表示します。

「WordPress」の[インストール]タブ画面は、以下の4つの部分から構成されています。

ユーザーツール » ウェブサービス ◀ ホームに戻る

ウェブサイトとドメイン

sample-domain.jp 用 WordPress

インストール プラグイン テーマ (1)

WordPressを手動でインストールした場合、【スキャン】をクリックしてリストに追加してください。 (2) (3)

インストール インポート スキャン セキュリティチェック プラグイン テーマ 更新 自動更新

全1件 ページあたりのエントリ数: 10 25 100 すべて

名前	URL	バージョン	プラグイン	テーマ
My CMS	https://sample-domain.jp	4.9.2	3合計 (2非アクティブ)	Twenty Seventeen

全1件 ページあたりのエントリ数: 10 25 100 すべて

(4)

(1)	<p>[インストール] : インストールされている WordPress のリストを表示します。</p> <p>[プラグイン] : WordPress にインストールされているプラグインリストを表示します。</p> <p>[テーマ] : WordPress にインストールされているテーマのリストを表示します。</p>
(2)	<p>[インストール] : 契約に新しい WordPress をインストールします。※こちらからインストールされた場合、言語が英語となりますのでご注意ください。</p> <p>[スキャン] : サイト内のディレクトリをスキャンして、手動インストールした WordPress を探し、リストに追加します。</p> <p>[セキュリティチェック] : 選択した WordPress のセキュリティをチェック、強化します。</p> <p>[プラグイン] : 選択した WordPress にインストールしているプラグイン数とアクティブ化状態を表示します。</p> <p>[テーマ] : 選択した WordPress テーマを管理します。</p> <p>[更新] : 選択した WordPress を更新します。</p> <p>[自動更新] : WordPress の自動更新をセットアップします。</p>
(3)	アプリケーション名で検索できます。
(4)	<p>インストールした WordPress をリストで表示します。</p> <p>「S」: セキュリティレベルをアイコンで表示します。クリックするとセキュリティチェックの結果を表示し、セキュリティ強化できます。</p> <p>❗: 必須セキュリティ改良が適用されていません。</p> <p>⚠: 必須セキュリティ改良がすべて適用されています。更にセキュリティ改良が可能です。</p> <p>✅: 必須セキュリティ改良がすべて適用されています。</p> <p>「名前」: インストール名を表示します。</p> <p>クリックするとインストールの詳細情報を表示します。</p> <p>「URL」: インストールされた WordPress の URL を表示します。</p> <p>クリックするとサイトを確認できます。</p> <p>「バージョン」: WordPress のバージョンを表示します。</p> <p>「プラグイン」: WordPress にインストールされているプラグインの合計数を表示します。</p> <p>クリックするとプラグインを管理する設定画面が表示されます。</p> <p>「テーマ」: WordPress にインストールされているテーマを管理します。</p> <p>「ログイン」: WordPress にログインします。</p>

WordPress のインストール

ここでは[アプリケーション]画面からの WordPress のインストール方法をご案内します。

【ご注意】

WordPress をインストールされたディレクトリ内にある index ファイルは、自動削除または、WordPress の index.php に自動置き換えとなります。

必ず事前にバックアップを取っていただいでからインストールを行ってください。

(1) [アプリケーション]をクリックします。



(2) [すべてのアプリケーション]をクリックし、[ウェブ]をクリックします。



(3)WordPress の「インストール」右横の「▼」をクリックし、「インストール(カスタム)」をクリックします。



ユーザーツール » ウェブサービス « ホームに戻る

アプリケーション > sample-domain.jp

sample-domain.jp のアプリケーション

マイ・アプリケーションを管理
ウェブサイトにインストールされたアプリケーションを管理します。

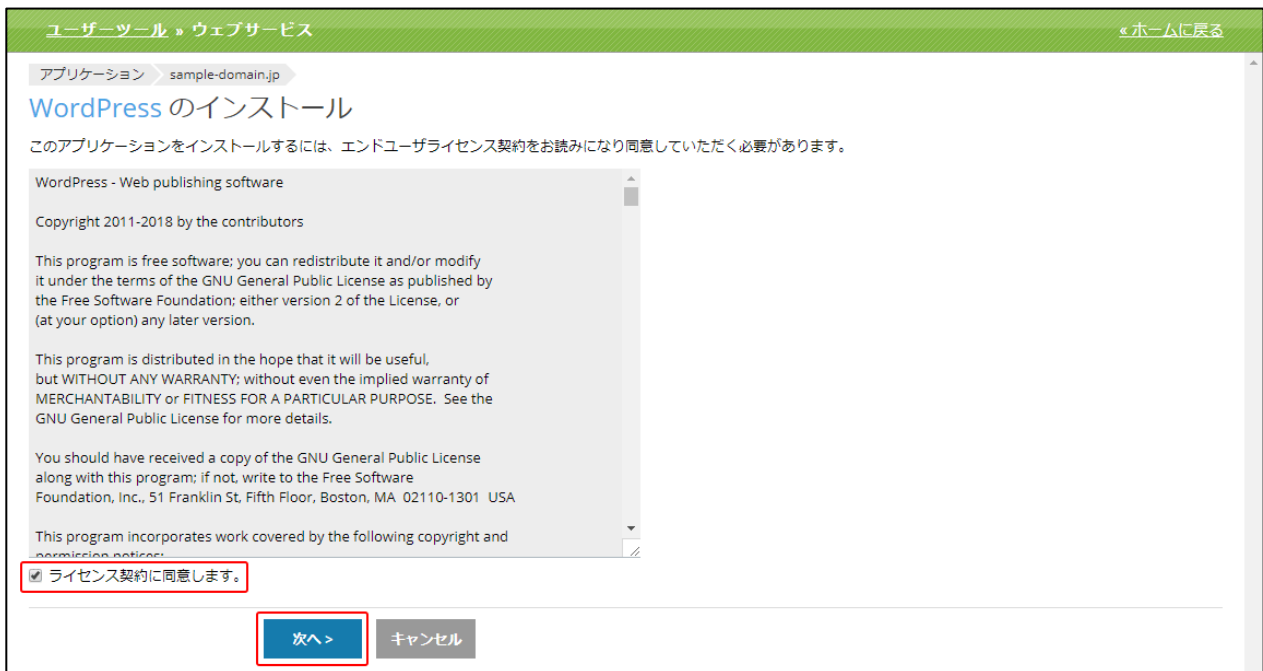
注目のアプリケーション
お勧めのアプリケーションや人気のアプリケーションをご紹介します。

すべてのアプリケーション
無料アプリケーションと有料アプリケーションを参照してインストールすることができます。APS フォーマットでパッケージされたアプリケーションは数クリックで簡単にウェブサイトにインストールできます。

ホーム > ウェブ > すべて ▼ 検索 検索結果をリセット

アプリケーション	パッケージ	ライセンスタイプ	
 EC-CUBE (PLESK ONLY) v2.13.1 EC-CUBE (Japanese version) is the number one ecommerce system in Japan.		すべて ▼	インストール ▼
 osCommerce v2.3.4 osCommerce is an online shop e-commerce solution.			インストール ▼
 WordPress v4.9.4 WordPress (ワードプレス) は、オープンソースのブログ/CMS プラットフォームです。セマンティック Web、コードやデザインの美しさ、Web 標準、ユーザビリティなどを意識して開発されており、無料でダウンロードして使うことができます。			インストール ▼ インストール (カスタム) インストールバージョン ▶

(4) 「ライセンスに同意します」にチェックを入れ、[次へ]をクリックします。



ユーザーツール » ウェブサービス « ホームに戻る

アプリケーション > sample-domain.jp

WordPress のインストール

このアプリケーションをインストールするには、エンドユーザライセンス契約をお読みになり同意していただく必要があります。

WordPress - Web publishing software

Copyright 2011-2018 by the contributors

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

This program incorporates work covered by the following copyright and permission notices:

ライセンス契約に同意します。

次へ > キャンセル

(5) 各項目を設定します。画面構成は以下の4つとなっております。

設定が完了しましたら、画面下部の[インストール]をクリックしますとインストールが始まります。

ユーザーツール » ウェブサービス
◀ ホームに戻る

アプリケーション > sample-domain.jp > sample-domain.jp のアプリケーション

WordPress のインストール

このウェブアプリケーションのインストール先を指定します。

https ▾ // sample-domain.jp ▾ /

このアプリケーションへのセキュアなアクセスを実現するためには、SSL/TLS 対応のウェブサイトにアプリケーションをインストールしてください。このようなウェブサイトは、先頭に「https」と付いています。アプリケーションをウェブサイトのルート以外のディレクトリにインストールするには、ディレクトリ名を指定してください。

アップデート設定

アップデートの公開後、このアプリケーションを自動更新

このアプリケーションは新しいバージョンに自動更新されます。注意：このオプションを使用する場合、更新によってアプリケーションの機能が著しく影響を受ける可能性があるため、注意が必要です。例えば、別バージョンのアプリケーションでは、アプリケーション拡張が機能しなくなる場合があります。

管理者アクセス

アプリケーションへの管理アクセス

特定のユーザに紐付けられていない管理者クレデンシャルを使用

これらのクレデンシャルは、このアプリケーションに管理者としてアクセスするために使用されます。特定のユーザと紐付けられていないため、[マイサービス] ページにショートカットが作成されません。

管理ユーザ名

管理パスワード

パスワードの確認

既存のユーザに管理アクセス権を付与

アプリケーションへの管理アクセスのショートカットが、選択したユーザの [マイサービス] ページに作成されます。アプリケーションへの管理アクセスには、ユーザのクレデンシャルが使用されます。

sample-domain ▾

メール構成

管理者のメールアドレス *

サイト名 *

インターフェース言語 *

データベースサーバ

データベース名 *

テーブルのプレフィックス

データベースユーザ名 *

データベースのユーザパスワード

パスワードの確認

* 必須フィールド

(1)	WordPress をインストールするディレクトリを指定できます。該当のディレクトリが自動作成されるため、その時点では存在しないディレクトリを入力しても構いません。 ディレクトリを指定しない(何も入力しない)場合はドメイン直下にインストールされます。WordPress をインストールされたディレクトリ内にある index ファイルは、自動削除または、WordPress の index.php ファイルに置き換わりますのでご注意ください。
(2)	WordPress の新しいバージョンがリリースされた際に自動で更新を行う場合は、チェックボックスにチェックを入れてください。
(3)	WordPress の管理画面へのアクセス権を選択できます。 [特定のユーザに紐付けられていない管理者クレデンシャルを使用]: ユーザーツールと WordPress の管理を切り離す場合に選択します。ユーザーツールから WordPress の管理画面へのログインができません。 [既存のユーザに管理アクセス権を付与]: ユーザーツールに WordPress の管理画面へのショートカットが作成されます。※こちらを選択していただくことをおすすめします。
(4)	「管理者のメールアドレス」: WordPress を管理される方のメールアドレスを入力してください。 「サイト名」: サイトのタイトルを入力してください。 「インターフェース言語」: 「Japanese」を選択してください。 「データベース名」: データベース名の指定が可能です。指定する必要がなければそのまま構いません。 「テーブルのプレフィックス」: 空欄で構いません。指定される方のみ入力してください。 「データベースユーザ名」: データベースユーザ一名の指定が可能です。指定する必要がなければそのまま構いません。 「データベースのユーザパスワード」、「パスワードの確認」: パスワードをかける際は入力してください。指定する必要がなければそのまま構いません。

(6) 画面が下記のように切り替われば WordPress のインストールは完了となります。

The screenshot shows the 'WordPress' configuration page within the 'User Tools' interface. The page is titled 'WordPress' and includes a breadcrumb trail: 'アプリケーション > sample-domain.jp > アプリケーション'. Below the title, there is a brief description of the application management functions. The main content is organized into two columns: '全般' (General) and '設定' (Settings).

全般		管理アクセス エントリポイント	
インストール場所	/wpwpwp	Administrative interface	
管理者	sample-domain.jp	パブリックアクセス エントリポイント	
自動更新	🔴 オフ オンにする (推奨)	Blog	
設定			
管理者のメールアドレス	root@sample-domain.jp		
Administrator's login	sample-domain		
パスワード	表示する		
インターフェース言語	ja-JP		
サイト名	My CMS		

WordPress の削除

(1) [アプリケーション]をクリックします。

The screenshot shows the 'User Tools' website management interface. The main heading is 'ウェブサイトとドメイン' (Website and Domain). Below it, there's a section for 'sample-domain.jp' with details like 'ウェブサイト: https://', 'IP アドレス: 219.118.68.254', and 'システムユーザ: sample-domain'. There are buttons for 'ファイルマネージャ', 'データベース', and 'WordPress Install'. A grid of application icons is displayed, with the 'アプリケーション' (Applications) icon highlighted by a red box. Other icons include 'ウェブホスティングアクセス', 'FTP アクセス', 'ホスティング設定', 'Let's Encrypt', 'PHP 設定', 'Apache と nginx の設定', 'ウェブ統計', 'SSL/TLS 証明書', 'ウェブアプリケーションファイアウォール', 'Whois 情報', 'パスワード保護ディレクトリ', 'ウェブサイトコピー', and 'ログ'. On the right, there's a 'リソース利用状況' (Resource Usage) section showing disk space and traffic usage.

(2) [すべてのアプリケーション]をクリックし、[ウェブ]をクリックします。

The screenshot shows the 'Applications' page for 'sample-domain.jp'. The heading is 'sample-domain.jp のアプリケーション'. There are three sections on the left: 'マイ・アプリケーションを管理' (Manage My Applications), '注目のアプリケーション' (Featured Applications), and 'すべてのアプリケーション' (All Applications), with the last one highlighted by a red box. The main content area shows a search bar and a table of applications. The table has columns for 'アプリケーション' (Application), 'パッケージャ' (Packager), and 'ライセンスタイプ' (License Type). The 'ウェブ (3)' (Web (3)) category is highlighted by a red box, with sub-items 'ブログ (1)' (Blog (1)) and 'E-コマース (2)' (E-commerce (2)).

(3) 削除したい WordPress の [削除] をクリックします。



ユーザーツール » ウェブサービス << ホームに戻る

アプリケーション > sample-domain.jp

sample-domain.jp のアプリケーション

マイ・アプリケーションを管理
ウェブサイトにインストールされたアプリケーションを管理します。

注目のアプリケーション
お勧めのアプリケーションや人気のアプリケーションをご紹介します。

すべてのアプリケーション
無料アプリケーションと有料アプリケーションを参照してインストールすることができます。APS フォーマットでパッケージされたアプリケーションは数クリックで簡単にウェブサイトにインストールできます。

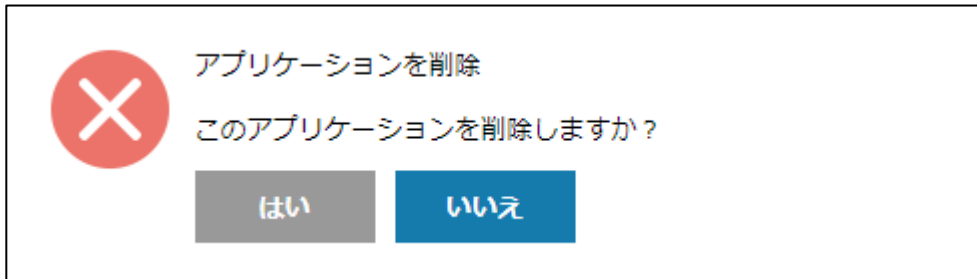
マイ・アプリケーション


以下のリストには、インストールされたすべてのアプリケーションに関する情報が含まれています。[インストールパス] 列が「なし」になっている場合は外部アプリケーションを示します。外部アプリケーションをウェブサイトにインストールすることはできず、外部サービスへのリンクのみとなります。

🔍 スキャン

名前 ▲	インストールパス	
My CMS	https://sample-domain.jp	削除

(4) 削除する場合は [はい]、削除をやめる場合は [いいえ] をクリックしてください。



 **アプリケーションを削除**

このアプリケーションを削除しますか？

リソース利用状況


ディスクスペースなどのリソースの利用状況が確認できます。

The screenshot shows the 'ユーザーツール > ウェブサービス' (User Tools > Web Services) interface. The main heading is 'ウェブサイトとドメイン' (Website and Domain) for 'sample-domain.jp'. Below this, there are various management tools like 'バックアップマネージャ' (Backup Manager), 'データベース' (Database), 'スケジュール済みタスク' (Scheduled Tasks), and 'WordPress'. A red box highlights the 'リソース利用状況' (Resource Usage) section, which displays the following information:

- ディスクスペース: 0% (Disk Space: 0%)
- 100 GB 中、114.1 MB 使用 (100 GB total, 114.1 MB used)
- トラフィック: 0% (Traffic: 0%)
- 無制限 中、0 MB/月 使用 (Unlimited, 0 MB/month used)
- 詳細な統計情報を表示 (Show detailed statistics)

「ディスクスペース」：契約に割り当てられているディスクスペースの使用量と使用率を確認できます。

「トラフィック」：すべてのウェブサイトを合計した今月の転送量（メガバイト単位）を確認できます。

[ 詳細な統計情報を表示]：リソースの使用状況に関する詳細なレポートを表示します。

統計情報の詳細を表示

アカウントのディスク容量とトラフィック使用量に関するレポート、グラフを表示します。

(1) [詳細な統計情報を表示]をクリックします。

リソース利用状況

ディスクスペース: 0%

100 GB 中、1.4 MB 使用

トラフィック: 0%

無制限 中、0 MB/月 使用

[詳細な統計情報を表示](#)

(2) 「統計」画面は、以下の2つの部分から構成されています。

ユーザーツール » ウェブサービス [ホームに戻る](#)

統計

契約で提供されているリソースの使用状況が詳細なレポートに表示されます。複数のプランを契約している場合、ページ右上隅に必要な契約を選択することにより、契約別のレポートを参照できます。

ディスクスペース 100 GB

36.4 MB (0%) 100 GB

サービスによる使用状況:

- ウェブ: 33.2 MB
- データベース: 1.76 MB
- ログ: 1.39 MB
- バックアップ: 81.6 KB
- Chroot ディレクトリ: 24.0 KB
- 構成ファイル: 12.0 KB
- 匿名 FTP ディレクトリ: 0 B

トラフィック 無制限

0.6 MB/月

サービスによる使用状況:

- FTP: 0 B
- HTTP: 662 KB

(1)

追加情報:

FTP 統計

FTP 経由でサイトに転送された/サイトから転送したデータ量に関する詳細なレポートを表示します。

データ転送統計

ウェブサイト (HTTP) 使用量に関する月 (2) によるトラフィックのレポートを表示します。

ウェブ統計

ウェブサイトの訪問状況に関するレポートを表示します。サイト訪問者数や参照されたウェブページを確認できます。

(1)	<p>「ディスクスペース」：サービスによる使用量の内訳を確認できます。</p> <p>「トラフィック」：FTP、ウェブで使用された転送データの合計データ量内訳を確認できます。</p> <p>※「メール」の使用量は表示されません。</p> <p> 使用量や使用率のご確認は[メールサービス]タブよりご確認ください。</p> <p>※「FTP」は、FTP プロトコル経由で送受信されたファイルの合計サイズを示します。</p> <p>※「HTTP」は、HTTP プロトコル経由ですべてのウェブサイトから送受信されたデータの合計量を示します。</p>
(2)	<p>[FTP 統計]：FTP プロトコルでサイトにアップロードしたデータ量とダウンロードしたデータ量に関する詳細なレポートを表示します。</p> <p>※「ホスティング設定」画面で「ウェブ統計へのアクセスを FTP ユーザー名とパスワードで保護する」にチェックを入れている場合、レポート表示前に認証画面が表示されます。FTP ユーザー名とパスワードでログインしてください。</p> <p>[データ転送統計]：ウェブサイト（HTTP、FTP）によるトラフィックの使用量に関する月次レポートを表示します。</p> <p>※「メール」の使用量は表示されません。</p> <p> 使用量や使用率のご確認は[メールサービス]タブよりご確認ください。</p> <p>[ウェブ統計]：サイト訪問者及び訪問者が参照したページについて、ウェブサイト訪問情報を表示します。</p>

付録1：MIME タイプのデフォルト設定

application/activemessage	
application/andrew-inset	ez
application/annodex	anx
application/applefile	
application/atom+xml	atom
application/atomcat+xml	atomcat
application/atomicmail	
application/atomserv+xml	atomsrv
application/batch-SMTP	
application/bbolin	lin
application/beep+xml	
application/cals-1840	
application/commonground	
application/cu-seeme	cu
application/cybercash	
application/davmount+xml	davmount
application/dca-rft	
application/dec-dx	
application/dicom	dcm
application/docbook+xml	
application/dsptype	tsp
application/dvcs	
application/ecmascript	es
application/edi-consent	
application/edi-x12	
application/edifact	
application/eshop	
application/font-tdpfr	
application/futuresplash	spl
application/ghostview	
application/hta	hta
application/http	
application/hyperstudio	
application/iges	
application/index	
application/index.cmd	
application/index.obj	
application/index.response	
application/index.vnd	
application/iotp	
application/ipp	
application/isup	
application/java-archive	jar
application/java-serialized-object	ser
application/java-vm	class
application/javascript	js
application/json	json
application/m3g	m3g
application/mac-binhex40	hqx
application/mac-compactpro	cpt
application/macwriteii	
application/marc	
application/mathematica	nb nbp
application/mbox	mbox
application/ms-tnef	
application/msaccess	mdb
application/msword	doc dot
application/mxf	mxf
application/news-message-id	

application/news-transmission	
application/ocsp-request	
application/ocsp-response	
application/octet-stream	bin
application/oda	oda
application/ogg	ogx
application/onenote	one onetoc2 onetmp onepkg
application/parityfec	
application/pdf	pdf
application/pgp-encrypted	pgp
application/pgp-keys	key
application/pgp-signature	sig
application/pics-rules	prf
application/pkcs10	
application/pkcs7-mime	
application/pkcs7-signature	
application/pkix-cert	
application/pkix-crl	
application/pkixcmp	
application/postscript	ps ai eps epsi epsf eps2 eps3
application/prs.alvestrand.titraw-sheet	
application/prs.cww	
application/prs.nprend	
application/qsig	
application/rar	rar
application/rdf+xml	rdf
application/remote-printing	
application/riscos	
application/rtf	rtf
application/sdp	
application/set-payment	
application/set-payment-initiation	
application/set-registration	
application/set-registration-initiation	
application/sgml	
application/sgml-open-catalog	
application/sieve	
application/sla	stl
application/slate	
application/smil+xml	smi smil
application/timestamp-query	
application/timestamp-reply	
application/vemmi	
application/whoispp-query	
application/whoispp-response	
application/wita	
application/x400-bp	
application/xhtml+xml	xhtml xht
application/xml	xml xsd
application/xml-dtd	
application/xml-external-parsed-entity	
application/xslt+xml	xsl xslt
application/xspf+xml	xspf
application/zip	zip
application/vnd.3M.Post-it-Notes	
application/vnd.accpac.simply.aso	
application/vnd.accpac.simply.imp	
application/vnd.acucobol	
application/vnd.aether.imp	
application/vnd.android.package-archive	apk

application/vnd.anser-web-certificate-issue-initiation	
application/vnd.anser-web-funds-transfer-initiation	
application/vnd.audiograph	
application/vnd.bmi	
application/vnd.businessobjects	
application/vnd.canon-cpdl	
application/vnd.canon-lips	
application/vnd.cinderella	cdy
application/vnd.claymore	
application/vnd.commerce-battelle	
application/vnd.commonspace	
application/vnd.comsocaller	
application/vnd.contact.cmsg	
application/vnd.cosmocaller	
application/vnd.ctc-posml	
application/vnd.cups-postscript	
application/vnd.cups-raster	
application/vnd.cups-raw	
application/vnd.cybank	
application/vnd.dna	
application/vnd.dpgraph	
application/vnd.dxr	
application/vnd.ecdis-update	
application/vnd.ecowin.chart	
application/vnd.ecowin.filerequest	
application/vnd.ecowin.fileupdate	
application/vnd.ecowin.series	
application/vnd.ecowin.seriesrequest	
application/vnd.ecowin.seriesupdate	
application/vnd.enliven	
application/vnd.epson.esf	
application/vnd.epson.msf	
application/vnd.epson.quickanime	
application/vnd.epson.salt	
application/vnd.epson.ssf	
application/vnd.ericsson.quickcall	
application/vnd.eudora.data	
application/vnd.fdf	
application/vnd.ffsns	
application/vnd.flographit	
application/vnd.framemaker	
application/vnd.fsc.weblaunch	
application/vnd.fujitsu.oasys	
application/vnd.fujitsu.oasys2	
application/vnd.fujitsu.oasys3	
application/vnd.fujitsu.oasysgp	
application/vnd.fujitsu.oasysprs	
application/vnd.fujixerox.ddd	
application/vnd.fujixerox.docuworks	
application/vnd.fujixerox.docuworks.binder	
application/vnd.fut-misnet	
application/vnd.google-earth.kml+xml	kml
application/vnd.google-earth.kmz	kmz
application/vnd.grafeq	
application/vnd.groove-account	
application/vnd.groove-identity-message	
application/vnd.groove-injector	
application/vnd.groove-tool-message	
application/vnd.groove-tool-template	
application/vnd.groove-vcard	

application/vnd.hhe.lesson-player	
application/vnd.hp-HPGL	
application/vnd.hp-PCL	
application/vnd.hp-PCLXL	
application/vnd.hp-hpid	
application/vnd.hp-hps	
application/vnd.httpphone	
application/vnd.hzn-3d-crossword	
application/vnd.ibm.Minipay	
application/vnd.ibm.afplinedata	
application/vnd.ibm.modcap	
application/vnd.informix-visionary	
application/vnd.intercon.formnet	
application/vnd.intertrust.digibox	
application/vnd.intertrust.nncp	
application/vnd.intu.qbo	
application/vnd.intu.qfx	
application/vnd.irepository.package+xml	
application/vnd.is-xpr	
application/vnd.japannet-directory-service	
application/vnd.japannet-jpnstore-wakeup	
application/vnd.japannet-payment-wakeup	
application/vnd.japannet-registration	
application/vnd.japannet-registration-wakeup	
application/vnd.japannet-setstore-wakeup	
application/vnd.japannet-verification	
application/vnd.japannet-verification-wakeup	
application/vnd.koan	
application/vnd.lotus-1-2-3	
application/vnd.lotus-approach	
application/vnd.lotus-freelance	
application/vnd.lotus-notes	
application/vnd.lotus-organizer	
application/vnd.lotus-screencam	
application/vnd.lotus-wordpro	
application/vnd.mcd	
application/vnd.mediastation.cdkey	
application/vnd.meridian-slingshot	
application/vnd.mif	
application/vnd.minisoft-hp3000-save	
application/vnd.mitsubishi.misty-guard.trustweb	
application/vnd.mobius.daf	
application/vnd.mobius.dis	
application/vnd.mobius.msl	
application/vnd.mobius.plc	
application/vnd.mobius.txf	
application/vnd.motorola.flexsuite	
application/vnd.motorola.flexsuite.adsi	
application/vnd.motorola.flexsuite.fis	
application/vnd.motorola.flexsuite.gotap	
application/vnd.motorola.flexsuite.kmr	
application/vnd.motorola.flexsuite.ttc	
application/vnd.motorola.flexsuite.wem	
application/vnd.mozilla.xul+xml	xul
application/vnd.ms-artgalry	
application/vnd.ms-asf	
application/vnd.ms-excel	xls xlb xlt
application/vnd.ms-excel.addin.macroEnabled.12	xlam
application/vnd.ms-excel.sheet.binary.macroEnabled.12	xlsb
application/vnd.ms-excel.sheet.macroEnabled.12	xlsm

application/vnd.ms-excel.template.macroEnabled.12	xltm
application/vnd.ms-fontobject	eot
application/vnd.ms-lrm	
application/vnd.ms-officetheme	thmx
application/vnd.ms-pki.seccat	cat
#application/vnd.ms-pki.stl	stl
application/vnd.ms-powerpoint	ppt pps
application/vnd.ms-powerpoint.addin.macroEnabled.12	ppam
application/vnd.ms-powerpoint.presentation.macroEnabled.12	pptm
application/vnd.ms-powerpoint.slide.macroEnabled.12	sldm
application/vnd.ms-powerpoint.slideshow.macroEnabled.12	ppsm
application/vnd.ms-powerpoint.template.macroEnabled.12	potm
application/vnd.ms-project	
application/vnd.ms-tnef	
application/vnd.ms-word.document.macroEnabled.12	docm
application/vnd.ms-word.template.macroEnabled.12	dotm
application/vnd.ms-works	
application/vnd.mseq	
application/vnd.msign	
application/vnd.music-niff	
application/vnd.musician	
application/vnd.netfpx	
application/vnd.noblenet-directory	
application/vnd.noblenet-sealer	
application/vnd.noblenet-web	
application/vnd.novadigm.EDM	
application/vnd.novadigm.EDX	
application/vnd.novadigm.EXT	
application/vnd.oasis.opendocument.chart	odc
application/vnd.oasis.opendocument.database	odb
application/vnd.oasis.opendocument.formula	odf
application/vnd.oasis.opendocument.graphics	odg
application/vnd.oasis.opendocument.graphics-template	otg
application/vnd.oasis.opendocument.image	odi
application/vnd.oasis.opendocument.presentation	odp
application/vnd.oasis.opendocument.presentation-template	otp
application/vnd.oasis.opendocument.spreadsheet	ods
application/vnd.oasis.opendocument.spreadsheet-template	ots
application/vnd.oasis.opendocument.text	odt
application/vnd.oasis.opendocument.text-master	odm
application/vnd.oasis.opendocument.text-template	ott
application/vnd.oasis.opendocument.text-web	oth
application/vnd.openxmlformats-officedocument.presentationml.presentation	pptx
application/vnd.openxmlformats-officedocument.presentationml.slide	sldx
application/vnd.openxmlformats-officedocument.presentationml.slideshow	ppsx
application/vnd.openxmlformats-officedocument.presentationml.template	potx
application/vnd.openxmlformats-officedocument.spreadsheetml.sheet	xlsx
application/vnd.openxmlformats-officedocument.spreadsheetml.template	xltx
application/vnd.openxmlformats-officedocument.wordprocessingml.document	docx
application/vnd.openxmlformats-officedocument.wordprocessingml.template	dotx
application/vnd.osa.netdeploy	
application/vnd.palm	
application/vnd.pg.format	
application/vnd.pg.asasli	
application/vnd.powerbuilder6	
application/vnd.powerbuilder6-s	
application/vnd.powerbuilder7	
application/vnd.powerbuilder7-s	
application/vnd.powerbuilder75	
application/vnd.powerbuilder75-s	

application/vnd.previewsystems.box	
application/vnd.publishare-delta-tree	
application/vnd.pvi.ptidl	
application/vnd.pwg-xml-print+xml	
application/vnd.rapid	
application/vnd.rim.cod	cod
application/vnd.s3sms	
application/vnd.seemail	
application/vnd.shana.informed.formdata	
application/vnd.shana.informed.formtemplate	
application/vnd.shana.informed.interchange	
application/vnd.shana.informed.package	
application/vnd.smaf	mmf
application/vnd.sss-cod	
application/vnd.sss-dtf	
application/vnd.sss-ntf	
application/vnd.stardivision.calc	sdc
application/vnd.stardivision.chart	sds
application/vnd.stardivision.draw	sda
application/vnd.stardivision.impress	sdd
application/vnd.stardivision.math	sdf
application/vnd.stardivision.writer	sdw
application/vnd.stardivision.writer-global	sgl
application/vnd.street-stream	
application/vnd.sun.xml.calc	sxc
application/vnd.sun.xml.calc.template	stc
application/vnd.sun.xml.draw	sxd
application/vnd.sun.xml.draw.template	std
application/vnd.sun.xml.impress	sxi
application/vnd.sun.xml.impress.template	sti
application/vnd.sun.xml.math	sxm
application/vnd.sun.xml.writer	sxw
application/vnd.sun.xml.writer.global	sxg
application/vnd.sun.xml.writer.template	stw
application/vnd.svd	
application/vnd.swiftview-ics	
application/vnd.symbian.install	sis
application/vnd.tcpdump.pcap	cap pcap
application/vnd.triscape.mxs	
application/vnd.trueapp	
application/vnd.truedoc	
application/vnd.tve-trigger	
application/vnd.ufdl	
application/vnd.uplanet.alert	
application/vnd.uplanet.alert-wbxml	
application/vnd.uplanet.bearer-choice	
application/vnd.uplanet.bearer-choice-wbxml	
application/vnd.uplanet.cacheop	
application/vnd.uplanet.cacheop-wbxml	
application/vnd.uplanet.channel	
application/vnd.uplanet.channel-wbxml	
application/vnd.uplanet.list	
application/vnd.uplanet.list-wbxml	
application/vnd.uplanet.listcmd	
application/vnd.uplanet.listcmd-wbxml	
application/vnd.uplanet.signal	
application/vnd.vcx	
application/vnd.vectorworks	
application/vnd.vidsoft.vidconference	
application/vnd.visio	vsd

application/vnd.vividence.scriptfile	
application/vnd.wap.sic	
application/vnd.wap.slc	
application/vnd.wap.wbxml	wbxml
application/vnd.wap.wmlc	wmlc
application/vnd.wap.wmlscriptc	wmlsc
application/vnd.webturbo	
application/vnd.wordperfect	wpd
application/vnd.wordperfect5.1	wp5
application/vnd.wrq-hp3000-labelled	
application/vnd.wt.stf	
application/vnd.xara	
application/vnd.xfdl	
application/vnd.yellowriver-custom-menu	
application/x-123	wk
application/x-7z-compressed	7z
application/x-abiword	abw
application/x-apple-diskimage	dmg
application/x-bcpio	bcpio
application/x-bittorrent	torrent
application/x-cab	cab
application/x-cbr	cbr
application/x-cbz	cbz
application/x-cdf	cdf cda
application/x-cdlink	vcd
application/x-chess-pgn	pgn
application/x-comsol	mph
application/x-core	
application/x-cpio	cpio
application/x-csh	csh
application/x-debian-package	deb udeb
application/x-director	dcr dir dxr
application/x-dms	dms
application/x-doom	wad
application/x-dvi	dvi
application/x-executable	
application/x-font	pfa pfb gsf pcf pcf.Z
application/x-font-woff	woff
application/x-freemind	mm
application/x-futuresplash	spl
application/x-ganttproject	gan
application/x-gnumeric	gnumeric
application/x-go-sgf	sgf
application/x-graphing-calculator	gcf
application/x-gtar	gtar
application/x-gtar-compressed	tgz taz
application/x-hdf	hdf
#application/x-httpd-eruby	rhtml
#application/x-httpd-php	phtml pht php
#application/x-httpd-php-source	phps
#application/x-httpd-php3	php3
#application/x-httpd-php3-preprocessed	php3p
#application/x-httpd-php4	php4
#application/x-httpd-php5	php5
application/x-hwp	hwp
application/x-ica	ica
application/x-info	info
application/x-internet-signup	ins isp
application/x-iphone	iii
application/x-iso9660-image	iso

application/x-jam	jam
application/x-java-applet	
application/x-java-bean	
application/x-java-jnlp-file	jnlp
application/x-jmol	jmz
application/x-kchart	chrt
application/x-kdelnk	
application/x-killustrator	kil
application/x-koan	skp skd skt skm
application/x-kpresenter	kpr kpt
application/x-kspread	ksp
application/x-kword	kwd kwt
application/x-latex	latex
application/x-lha	lha
application/x-lyx	lyx
application/x-lzh	lzh
application/x-lzx	lzx
application/x-maker	frm maker frame fm fb book fbdoc
application/x-md5	md5
application/x-mif	mif
application/x-mpegURL	m3u8
application/x-ms-wmd	wmd
application/x-ms-wmz	wmz
application/x-msdos-program	com exe bat dll
application/x-msi	msi
application/x-netcdf	nc
application/x-ns-proxy-autoconfig	pac dat
application/x-nwc	nwc
application/x-object	o
application/x-oz-application	oza
application/x-pkcs7-certreqresp	p7r
application/x-pkcs7-crl	crl
application/x-python-code	pyc pyo
application/x-qgis	qgs shp shx
application/x-quicktimeplayer	qtl
application/x-rdp	rdp
application/x-redhat-package-manager	rpm
application/x-rss+xml	rss
application/x-ruby	rb
application/x-rx	
application/x-scilab	sci sce
application/x-scilab-xcos	xcos
application/x-sh	sh
application/x-sha1	sha1
application/x-shar	shar
application/x-shellscript	
application/x-shockwave-flash	swf swfl
application/x-silverlight	scr
application/x-sql	sql
application/x-stuffit	sit sitx
application/x-sv4cpio	sv4cpio
application/x-sv4crc	sv4crc
application/x-tar	tar
application/x-tcl	tcl
application/x-tex-gf	gf
application/x-tex-pk	pk
application/x-texinfo	texinfo texi
application/x-trash	~ % bak old sik
application/x-troff	t tr roff
application/x-troff-man	man

application/x-troff-me	me
application/x-troff-ms	ms
application/x-ustar	ustar
application/x-videolan	
application/x-wais-source	src
application/x-wingz	wz
application/x-x509-ca-cert	crt
application/x-xcf	xcf
application/x-xfig	fig
application/x-xpinstall	xpi
audio/32kadpcm	
audio/3gpp	
audio/amr	amr
audio/amr-wb	awb
audio/annodex	axa
audio/basic	au snd
audio/csound	csd orc sco
audio/flac	flac
audio/g. 722. 1	
audio/l16	
audio/midi	mid midi kar
audio/mp4a-latm	
audio/mpa-robust	
audio/mpeg	mpga mpega mp2 mp3 m4a
audio/mpegurl	m3u
audio/ogg	oga ogg opus spx
audio/parityfec	
audio/prs.sid	sid
audio/telephone-event	
audio/tone	
audio/vnd.cisco.nse	
audio/vnd.cns.anpl	
audio/vnd.cns.infl	
audio/vnd.digital-winds	
audio/vnd.everad.plj	
audio/vnd.lucent.voice	
audio/vnd.nortel.vbk	
audio/vnd.nuera.ecelp4800	
audio/vnd.nuera.ecelp7470	
audio/vnd.nuera.ecelp9600	
audio/vnd.octel.sbc	
audio/vnd.qcelp	
audio/vnd.rhetorex.32kadpcm	
audio/vnd.vmx.csvs	
audio/x-aiff	aif aiff aifc
audio/x-gsm	gsm
audio/x-mpegurl	m3u
audio/x-ms-wma	wma
audio/x-ms-wax	wax
audio/x-pn-realaudio-plugin	
audio/x-pn-realaudio	ra rm ram
audio/x-realaudio	ra
audio/x-scpls	pls
audio/x-sd2	sd2
audio/x-wav	wav
chemical/x-alchemy	alc
chemical/x-cache	cac cache
chemical/x-cache-csf	csf

chemical/x-cactvs-binary	cbin cascii ctab
chemical/x-cdx	cdx
chemical/x-cerius	cer
chemical/x-chem3d	c3d
chemical/x-chemdraw	chm
chemical/x-cif	cif
chemical/x-cmdf	cmdf
chemical/x-cml	cml
chemical/x-compass	cpa
chemical/x-crossfire	bsd
chemical/x-csml	csml csm
chemical/x-ctx	ctx
chemical/x-cxf	cxf cef
#chemical/x-daylight-smiles	smi
chemical/x-embl-dl-nucleotide	emb embl
chemical/x-galactic-spc	spc
chemical/x-gamess-input	inp gam gamin
chemical/x-gaussian-checkpoint	fch fchk
chemical/x-gaussian-cube	cub
chemical/x-gaussian-input	gau gjc gjf
chemical/x-gaussian-log	gal
chemical/x-gcg8-sequence	gcg
chemical/x-genbank	gen
chemical/x-hin	hin
chemical/x-isostar	istr ist
chemical/x-jcamp-dx	jdx dx
chemical/x-kinemage	kin
chemical/x-macmolecule	mcm
chemical/x-macromodel-input	mmd mmod
chemical/x-mdl-molfile	mol
chemical/x-mdl-rdfile	rd
chemical/x-mdl-rxnfile	rxn
chemical/x-mdl-sdfile	sd sdf
chemical/x-mdl-tgf	tgf
#chemical/x-mif	mif
chemical/x-mmCIF	mcif
chemical/x-mol2	mol2
chemical/x-molconn-Z	b
chemical/x-mopac-graph	gpt
chemical/x-mopac-input	mop mopert mpc zmt
chemical/x-mopac-out	moo
chemical/x-mopac-vib	mvb
chemical/x-ncbi-asn1	asn
chemical/x-ncbi-asn1-ascii	prt ent
chemical/x-ncbi-asn1-binary	val aso
chemical/x-ncbi-asn1-spec	asn
chemical/x-pdb	pdb ent
chemical/x-rostdal	ros
chemical/x-swissprot	sw
chemical/x-vamas-iso14976	vms
chemical/x-vmd	vmd
chemical/x-xtel	xtel
chemical/x-xyz	xyz
image/cgm	
image/g3fax	
image/gif	gif
image/ief	ief
image/jp2	jp2 jpg2
image/jpeg	jpeg jpg jpe

image/jpm	jpm
image/jpx	jpx jpf
image/naplps	
image/pcx	pcx
image/png	png
image/prs.btif	
image/prs.pti	
image/svg+xml	svg svgz
image/tiff	tiff tif
image/vnd.cns.inf2	
image/vnd.djvu	djvu djv
image/vnd.dwg	
image/vnd.dxf	
image/vnd.fastbidsheet	
image/vnd.fpx	
image/vnd.fst	
image/vnd.fujixerox.edmics-mmr	
image/vnd.fujixerox.edmics-rlc	
image/vnd.microsoft.icon	ico
image/vnd.mix	
image/vnd.net-fpx	
image/vnd.svf	
image/vnd.wap.wbmp	wbmp
image/vnd.xiff	
image/x-canon-cr2	cr2
image/x-canon-crw	crw
image/x-cmu-raster	ras
image/x-coreldraw	cdr
image/x-coreldrawpattern	pat
image/x-coreldrawtemplate	cdt
image/x-corelphotopaint	cpt
image/x-epson-erf	erf
image/x-icon	
image/x-jg	art
image/x-jng	jng
image/x-ms-bmp	bmp
image/x-nikon-nef	nef
image/x-olympus-orf	orf
image/x-photoshop	psd
image/x-portable-anymap	pnm
image/x-portable-bitmap	pbm
image/x-portable-graymap	pgm
image/x-portable-pixmap	ppm
image/x-rgb	rgb
image/x-xbitmap	xbm
image/x-xpixmap	xpm
image/x-xwindowdump	xwd
inode/chardevice	
inode/blockdevice	
inode/directory-locked	
inode/directory	
inode/fifo	
inode/socket	
message/delivery-status	
message/disposition-notification	
message/external-body	
message/http	
message/s-http	

message/news	
message/partial	
message/rfc822	eml
model/iges	igs iges
model/mesh	msh mesh silo
model/vnd.dwf	
model/vnd.flatland.3dml	
model/vnd.gdl	
model/vnd.gs-gdl	
model/vnd.gtw	
model/vnd.mts	
model/vnd.vtu	
model/vrml	wrl vrml
model/x3d+vrml	x3dv
model/x3d+xml	x3d
model/x3d+binary	x3db
multipart/alternative	
multipart/appledouble	
multipart/byteranges	
multipart/digest	
multipart/encrypted	
multipart/form-data	
multipart/header-set	
multipart/mixed	
multipart/parallel	
multipart/related	
multipart/report	
multipart/signed	
multipart/voice-message	
text/cache-manifest	appcache
text/calendar	ics icz
text/css	css
text/csv	csv
text/directory	
text/english	
text/enriched	
text/h323	323
text/html	html htm shtml
text/iuls	uls
text/mathml	mml
text/parityfec	
text/plain	asc txt text pot brf srt
text/prs.lines.tag	
text/rfc822-headers	
text/richtext	rtx
text/rtf	
text/scriptlet	sct wsc
text/t140	
text/texmacs	tm
text/tab-separated-values	tsv
text/turtle	ttl
text/uri-list	
text/vnd.abc	
text/vnd.curl	
text/vnd.debian.copyright	
text/vnd.DMClientScript	
text/vnd.flatland.3dml	

text/vnd.fly	
text/vnd.fmi.flexstor	
text/vnd.in3d.3dml	
text/vnd.in3d.spot	
text/vnd.IPTC.NewsML	
text/vnd.IPTC.NITF	
text/vnd.latex-z	
text/vnd.motorola.reflex	
text/vnd.ms-mediapackage	
text/vnd.sun.j2me.app-descriptor	jad
text/vnd.wap.si	
text/vnd.wap.sl	
text/vnd.wap.wml	wml
text/vnd.wap.wmlscript	wmls
text/x-bibtex	bib
text/x-boo	boo
text/x-c++hdr	h++ hpp hxx hh
text/x-c++src	c++ cpp cxx cc
text/x-chdr	h
text/x-component	htc
text/x-crontab	
text/x-csh	csh
text/x-csrc	c
text/x-dsrc	d
text/x-diff	diff patch
text/x-haskell	hs
text/x-java	java
text/x-lilypond	ly
text/x-literate-haskell	lhs
text/x-makefile	
text/x-moc	moc
text/x-pascal	p pas
text/x-pcs-gcd	gcd
text/x-perl	p1 pm
text/x-python	py
text/x-scala	scala
text/x-server-parsed-html	
text/x-setext	etx
text/x-sfv	sfv
text/x-sh	sh
text/x-tcl	tcl tk
text/x-tex	tex ltx sty cls
text/x-vcalendar	vcs
text/x-vcard	vcf
video/3gpp	3gp
video/annodex	axv
video/dl	dl
video/dv	dif dv
video/fli	fli
video/gl	gl
video/mpeg	mpeg mpg mpe
video/MP2T	ts
video/mp4	mp4
video/quicktime	qt mov
video/mp4v-es	
video/ogg	ogv
video/parityfec	
video/pointer	
video/webm	webm

video/vnd.fvt	
video/vnd.motorola.video	
video/vnd.motorola.videop	
video/vnd.mpegurl	mxu
video/vnd.mts	
video/vnd.nokia.interleaved-multimedia	
video/vnd.vivo	
video/x-flv	flv
video/x-la-asf	lsf lsf
video/x-mng	mng
video/x-ms-asf	asf asx
video/x-ms-wm	wm
video/x-ms-wmv	wmv
video/x-ms-wmx	wmx
video/x-ms-wvx	wvx
video/x-msvideo	avi
video/x-sgi-movie	movie
video/x-matroska	mpv mkv
x-conference/x-cooltalk	ice
x-epoc/x-sisx-app	sisx
x-world/x-vrml	vrm vrml wrl